| 科目名 | 哲学 | | |
|--------|-------------|---------|----|
| 担当教員名 | 田子山 和歌子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

1.科目の性格

哲学独自の発想方法を、教科書的な参考文献に依拠せず、哲学者自身が書いた著述(テキスト)の精読を通して学びます。

2.科目の概要

「個」の問題をめぐり、アリストテレス、トマス・アクイナス、スアレス、デカルト、スピノザ、ライプニッツの著述の講読をおこないます。ただし時間内で扱うことが出来る範囲は限られますので、私の関心であるライプニッツの個理解と関連付けた形で各回授業したいと思います。「個」の問題は、倫理、宗教、認識論(心理学)に関するさまざまな論点を含んだ興味深い哲学の研究テーマといえます。上記の哲学者が個に向けたの関心と探求は、現代に生きる私たちの関心にもこたえてくれるに違いありません。このために哲学のテキストの精読を徹底したいとおもいます。また、毎時間論文指導をおこない、各回論述レポートを出していただきます。

3.学修目標

哲学のテキストを、教科書などに依拠せず自分で読む訓練をします。同時に論述指導を行い、哲学の各テーマについて自分の力で考える訓練をします。

内容

- 第1回:ガイダンス
- 第2回:アリストテレス 1「形而上学」、「カテゴリー論」、論述の指導
- 第3回:アリストテレス 2「形而上学」、「カテゴリー論」、論述の指導
- 第4回:トマス・アクイナス 1「神学大全」、論述の指導
- 第5回:トマス・アクイナス 2「有と存在」論述の指導
- 第6回:スアレス 「形而上学論考」第1、第5巻、論述の指導
- 第7回:デカルト 1「省察」第1、第2省察、論述の指導
- 第8回:デカルト 2 続き、論述の指導
- 第9回:スピノザ 1「エチカ」第1巻、論述の指導
- 第10回:スピノザ 2 「エチカ」第3巻、論述の指導
- 第11回:ライプニッツ「モナドロジー」第1~第9節、論述の指導
- 第12回:ライプニッツ 「モナドロジー」第10節~第30節、論述の指導
- 第13回:ライプニッツ「モナドロジー」第31節~第50節、論述の指導
- 第14回:まとめ1(個と私について考える)、論述の指導
- 第15回;まとめ2(個と普遍について考える)、論述指導

評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:毎時プリントを配布します。

参考書(授業では使いませんが、参考に):中川純男、田子山和歌子、金子善彦編『西洋思想における「個の概念」』(慶 應義塾大学出版会)(2011年4月出版予定)

| 科目名 | 論理学 | | |
|--------|-------------|---------|----|
| 担当教員名 | 橋本 克己 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

1 科目の性格

本科目は「共通科目」に位置づけられている。

2 科目の概要

現代の我々は、膨大で多様な情報の適切な処理のため、その構造や意味、連関などを分析・解明して、それらが厳密な論理的表現形式へと置換し、そこから新たな情報を導出するといった能力が求められるが、その能力とは、言うまでもなく論理の力である。

本科目では、論理学の基本的な考え方を学び、人間の持つこの論理的思考の本当のあり方を正しく評価するとともに、経験的事実に関する論理計算を実際に行い論理的能力の向上をはかることを目的とする。

3 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 記号論理学の基礎を理解することができる。 文章命題を記号命題に変換することができる。 記号命題を用いて論題を解明することができる。

内容

論理学とは、数学的色彩の強いものであるという一般的な印象があり、難しいものと思われがちであるが、我々は実際には日々いろいろな種類の推論や論証を行っているのである。本授業では、知的ゲームとしての論理パズルを解いてゆき、そうした推論や論証の力を伸ばし、秩序立てて論理的に事物を考える習慣を身につけていく。

1.真偽の探求

- 1回 記号の原則
- 2回 真理表
- 3回 命題と条件文
- 4回 記号による推論
- 5回 論理尺
- 6回 背理法
- 7回 ダイヤグラム
- 8回 論理的等值
- 9回 論理法則

2.存在と無

- 10回 ヴェン図の基本
- 11回 ヴェン図による論証

3.個体と属性

- 12回 個体領域
- 13回 属性の検証
- 14回 限量式と個体領域
- 4.まとめ

評価

小テスト50:筆記試験50の比率で評価(100点満点)し、合計60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 内井惣七著 『いかにして推理するか、いかにして証明するか』 ミネルヴァ書房

【参考図書】 本学図書館の蔵書の中から、授業中に随時紹介する。

| 科目名 | 心理学 | | |
|--------|-----------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 加藤 陽子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/社会福祉士受験資格 | | |

【科目の性格】

人間生活学部の共通科目である。心理学をはじめて学ぶ人をターゲットに、心理学全般の基本的知見を概観し、心理学が どのような学問であるかについての理解を深める。

【科目の概要】

心理学史から感覚・知覚の心理学、記憶と思考、知能の構造と発達、学習の基礎過程、行動のメカニズム、感情・情緒、 人格、対人関係、人間の成長と発達、カウンセリングなどについて取り上げる。

講義は、適宜ビデオ視聴などを取り入れる進行する予定である。

なお、授業中もしくは授業後に、トピックに関する意見や感想などの提出を求めることもある。

【学修目標】

講義を通して、人間の心理を理解するための基本的知識と理解の方法・枠組みを身につけ、さまざまな心理学領域を学ぶための土台を形成する。

内容

予定する講義内容は以下の通りである。

| $\overline{}$ | |
|---------------|-------------------------|
| 1 | オリエンテーション~心はどこにあるのか? |
| 2 | 見えないものが見えるのはなぜか?(知覚) |
| 3 | 人は悲しいから泣くのか?(情動) |
| 4 | 人は何に動かされるのか?(欲求・動機) |
| 5 | 頭がよいとはどういうことか?(学習) |
| 6 | 人はなぜ忘れるのか?(記憶) |
| 7 | その人らしさとは何か?(性格) |
| 8 | 心の奥には何があるのか?(無意識) |
| 9 | 人間の成長 - 子どもの心 - (発達) |
| 10 | 人間の成長 - 青年の心 - (発達) |
| 11 | 人間の成長-大人の心 - (発達) |
| 12 | どうして人を好きなるのか?(恋愛) |
| 13 | 意見が合わないのはなぜか?(社会) |
| 14 | 心理的援助(カウンセリング)とは何か?(臨床) |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを 課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】長谷川勇一[ほか]著 『はじめて出会う心理学』 有斐閣アルマ 2000 梅本暁夫[ほか]著 『心理学・心のはたらきを知る』 サイエンス 1999

【参考図書】授業中に適宜紹介する。

| 科目名 | 心理学 | | |
|--------|-------------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 加藤 陽子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 社会福祉士受験資格 | | |

【科目の性格】

人間生活学部の共通科目である。心理学をはじめて学ぶ人をターゲットに、心理学全般の基本的知見を概観し、心理学が どのような学問であるかについての理解を深める。

【科目の概要】

心理学史から感覚・知覚の心理学、記憶と思考、知能の構造と発達、学習の基礎過程、行動のメカニズム、感情・情緒、 人格、対人関係、人間の成長と発達、カウンセリングなどについて取り上げる。

講義は、適宜ビデオ視聴などを取り入れる進行する予定である。

なお、授業中もしくは授業後に、トピックに関する意見や感想などの提出を求めることもある。

【学修目標】

講義を通して、人間の心理を理解するための基本的知識と理解の方法・枠組みを身につけ、さまざまな心理学領域を学ぶための土台を形成する。

内容

予定する講義内容は以下の通りである。

| 15 | まとめ |
|----|-------------------------|
| 14 | 心理的援助(カウンセリング)とは何か?(臨床) |
| 13 | 意見が合わないのはなぜか?(社会) |
| 12 | どうして人を好きなるのか?(恋愛) |
| 11 | 人間の成長-大人の心 - (発達) |
| 10 | 人間の成長 - 青年の心 - (発達) |
| 9 | 人間の成長 - 子どもの心 - (発達) |
| 8 | 心の奥には何があるのか?(無意識) |
| 7 | その人らしさとは何か?(性格) |
| 6 | 人はなぜ忘れるのか?(記憶) |
| 5 | 頭がよいとはどういうことか?(学習) |
| 4 | 人は何に動かされるのか?(欲求・動機) |
| 3 | 人は悲しいから泣くのか?(情動) |
| 2 | 見えないものが見えるのはなぜか?(知覚) |
| 1 | オリエンテーション~心はどこにあるのか? |

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】特に指定しない。

【推薦書】長谷川勇一[ほか]著 『はじめて出会う心理学』 有斐閣アルマ 2000 梅本暁夫[ほか]著 『心理学・心のはたらきを知る』 サイエンス 1999 【参考図書】授業中に適宜紹介する。

| 科目名 | 音楽 | | | |
|--------|-------------|--------|-------|--|
| 担当教員名 | 清水 玲子 | | | |
| ナンバリング | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | | |
| 学 年 | 2 | クラス | 1Aクラス | |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の | 別選択 | |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 | |
| 資格関係 | 保育士資格 | | | |

音を楽しむことを知り、音楽の役割を広い意味で捉えられるようにすることが本講座のねらいです。クラシック音楽から身の回りにある音楽まであらゆるジャンルの音楽(例えば幼児期に聞いたことのある童謡やテレビの主題歌、学校教育の中で学んだ音楽、自分が興味を持って好んで聴く音楽など)を取り上げて、自分の中の音楽文化がどのように育ったかを認識します。そして音楽を通しての情操教育の大切さを確認し、これから自分と音楽とがどのようにして関っていくかを考えます。さらに音楽を日常生活に上手にとり入れていく方法、音楽と心の関係、現代社会のストレス解消など生涯学習としての音楽の役割も考察します。

内容

主に音楽鑑賞や簡単な実技・講義形態をとる。

- (1)「自分を取りまく音楽」について
- (2)「映像と音楽」の関係 ディズニ の世界
- (3)「映像と音楽」の関係 ジブリの世界 -
- (4)合わせる楽しさの音楽について(コーラスやアンサンブルの楽しさを知る)
- (5)自分の中にある音楽文化の認識
- (6)「日本のこどもの歌」の歴史について(童謡・小学校時代の歌)
- (7)「世界のこどもの歌」について
- (8)作曲について
- (9)編曲について
- (10) クラシック音楽について(背景文化との比較)
- (11)楽器について
- (12)オーケストラと指揮者について
- (13)ミュージカル音楽について オペラからの歴史 -
- (14)ミュージカル音楽について 場面と音楽の関係 -
- (15)まとめ

評価

毎時間提出のレポート(50%)、授業への参加度(50%)で、三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、テキスト・プリントCDを使用し、授業で紹介していく。

| 科目名 | 音楽 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 清水 玲子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | クラス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

音を楽しむことを知り、音楽の役割を広い意味で捉えられるようにすることが本講座のねらいです。クラシック音楽から身の回りにある音楽まであらゆるジャンルの音楽(例えば幼児期に聞いたことのある童謡やテレビの主題歌、学校教育の中で学んだ音楽、自分が興味を持って好んで聴く音楽など)を取り上げて、自分の中の音楽文化がどのように育ったかを認識します。そして音楽を通しての情操教育の大切さを確認し、これから自分と音楽とがどのようにして関っていくかを考えます。さらに音楽を日常生活に上手にとり入れていく方法、音楽と心の関係、現代社会のストレス解消など生涯学習としての音楽の役割も考察します。

内容

主に音楽鑑賞や簡単な実技・講義形態をとる。

- (1)「自分を取りまく音楽」について
- (2)「映像と音楽」の関係 ディズニ の世界
- (3)「映像と音楽」の関係 ジブリの世界 -
- (4)合わせる楽しさの音楽について(コーラスやアンサンブルの楽しさを知る)
- (5)自分の中にある音楽文化の認識
- (6)「日本のこどもの歌」の歴史について(童謡・小学校時代の歌)
- (7)「世界のこどもの歌」について
- (8)作曲について
- (9)編曲について
- (10) クラシック音楽について(背景文化との比較)
- (11)楽器について
- (12)オーケストラと指揮者について
- (13)ミュージカル音楽について オペラからの歴史 -
- (14)ミュージカル音楽について 場面と音楽の関係 -
- (15)まとめ

評価

毎時間提出のレポート(50%)、授業への参加度(50%)で、三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、テキスト・プリントCDを使用し、授業で紹介していく。

| 科目名 | 美術 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 平田 智久 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

美術の歴史は、人間の歴史と共に古い。

美術には、もともと人間の一番大切なものを伝えたり、表したりする力がある。わたしたちの目の前のものを伝えるだけでなく、見知らぬ遠い国のことや、目に見えない奥深い心の世界などを出現させることもできる。主に視覚や触覚を通して"もの"に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば身につけていけるだろうか。ともすると造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にする。

目に見えない心の言葉を表しているといってもよいだろう。

様々な美術の歴史や、あり方を理解することにより、より一層わたしたちの生活を豊かなものにし、更に創造力を高めることができる。

内容

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形的行為や行動、造形表現の技術などは、"もの"との直接体験からの感受習得が望ましい。美術の歴史は、紀元前の洞窟の絵画からはじまったといわれている。様々な表現の歴史を探ることによって、人にはなぜ美術が必要なのか?を、講義と実技を通して理解を深めていく。

- 1. 、プロローグ
- 2. 、感覚への刺激1
- 3. 感覚への刺激2
- 4. 感覚への刺激3
- 5. 感覚への刺激4
- 6. 感覚への刺激5
- 7. 感覚への刺激6
- 8. 感覚への刺激7
- 9. 、イメージの拡大・拡散1
- 10. イメージの拡大・拡散2
- 11. イメージの拡大・拡散3
- 12. イメージの拡大・拡散4
- 13. 、美術史の新しい視点
- 14. 、美術史の新しい視点
- 15. 、エピローグ

評価

授業中の製作態度 40% 課題作品の成果 60% を総合して評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業の中で紹介していく。

| 科目名 | 美術 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 平田 智久 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

美術の歴史は、人間の歴史と共に古い。

美術には、もともと人間の一番大切なものを伝えたり、表したりする力がある。わたしたちの目の前のものを伝えるだけでなく、見知らぬ遠い国のことや、目に見えない奥深い心の世界などを出現させることもできる。主に視覚や触覚を通して"もの"に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

科目の概要

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば身につけていけるだろうか。ともすると造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

学修目標

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にする。

目に見えない心の言葉を表しているといってもよいだろう。様々な美術の歴史や、あり方を理解することにより、より一層 わたしたちの生活を豊かなものにし、更に創造力を高めることができる。

内容

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形的行為や行動、造形表現の技術などは、"もの"との直接体験からの感受習得が望ましい。美術の歴史は、紀元前の洞窟の絵画からはじまったといわれている。様々な表現の歴史を探ることによって、人にはなぜ美術が必要なのか?を、講義と実技を通して理解を深めていく。

- 1. 、プロローグ
- 2. 、感覚への刺激1
- 3. 感覚への刺激2
- 4. 感覚への刺激3
- 5. 感覚への刺激4
- 6. 感覚への刺激5
- 7. 感覚への刺激6
- 8. 感覚への刺激7
- 9. 、イメージの拡大・拡散1
- 10. イメージの拡大・拡散2
- 11. イメージの拡大・拡散3
- 12. イメージの拡大・拡散4
- 13. 、美術史の新しい視点
- 14. 、美術史の新しい視点

15. 、エピローグ

評価

授業中の製作態度 40% 課題作品の成果 60% を総合して評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に定めない。授業の中で紹介していく。

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

今日の日本文化は、従来の「和」の文化(主に近世日本の文化)と西洋的文化(明治期、そして戦後に受容・変容された諸外国の文化)の狭間において、新しい"近代性"を創ろうとしているのであろう。さまざまな分野で、"新・和洋折衷"と呼べる姿勢がみられるようになったが、"自我の目覚め"としての"近代性"は必ずしも西洋文化側にあるのではなく、近世日本の文化においても斬新な視点があり、そこにこそ現代日本の重要な"文化的資源"が潜んでいると考えられるのである。そんな"新・和洋折衷"の可能性を、フランス人の日本学者である担当教員と共に追究してゆく。

内容

エッセイ「マブソン青眼句日記」(角川書店刊行『一茶とワイン』所収)に基づいて、授業ごとに新しい問題を提起し、他 の論文や記事を配り、テーマについて考察してゆく。

1:序説、「余情的文化」と「抒情的文化」の相違について・「連句的文化」としての「日本」(海外の日本文化論の視点から) 2:近代性とは何か?日本における「夢」と「笑い」の歴史(ベルクソン理論) 3:身分制度と男女権利の歴史(日本とヨーロッパの比較) 4:ジェンダー論・フランスにおけるフェミニズムの歴史(G・サンド評伝を手掛りに)5:二十世紀における文学のグローバル化再考(P・クローデルと日本を中心に) 6:言語の根源にあるもの(日本語の音韻的な特徴の再認識)・日本語に導かれた世界観(日本文化における「音」について) 7:日本文化におけるアニミズム的感性と現代におけるエコロジーの問題 8:日本文化における「香・匂」(フランスとの比較) 9:日本文化における時間意識(近代西洋と中世アラブ文化圏との比較) 10:「エスプリ」と「笑い」の違いについて 11・12:英語文化圏とラテン系文化圏の基本的な相違について・日本の位置付け(「美」のカノン化、「グローバル」と「ローカル」の関わり方など) 13・14:日本と西欧の比較芸術論(詩歌、葡萄酒、その他) 15:まとめ

評価

扱った授業内容に基づくレポート(小論文)を課す。テーマの扱い方、構成(起承転結、論理性)、独創性を総合的に評価する。合格は100点満点のうち60点以上とする。出席は3分の2を必要とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】マブソン青眼著『一茶とワイン ふらんす流俳諧の楽しみ』(角川書店・2006)

【参考図書】マブソン青眼著『江戸のエコロジストー茶』(角川書店・2010)

マブソン・ローラン著『詩としての俳諧・俳諧としての詩』(永田書房・2005)

その他、必要に応じて授業で紹介する。

 科目名
 現代文化論

 担当教員名
 大原 知子

 ナンバリング
 サイン・共通科目

 学年2
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

私たちの生きている世界をどう「解釈」するのかということに観点を当てて授業をおこなっていきます。いつの時代でも人々は常にこのように思い、あれこれ考えてきました。何しろ、「バベルの塔が崩れてしまい、私たち人間界の言葉や住む場所はみな散り散りになってしまったのだから」「けれど、神さまは私たちに世界の秘密を解く鍵を、何か印として残して行って下さったに違いない」

このように提起された、ミッシェル・フーコーの書、「言葉と物」を通して、中世ヨーロッパから現代までの知識や学問の成り立ち、文化の歴史の跡を辿ります。フーコーによると、学問でも思想でも流れは進歩を表す垂直線でつながったものではなく、不連続だということです。授業では、フーコーの「混在郷」の考えを枠組みにして、現代社会や文化の中で密かに、けれど形を変えて光を放っている遠い昔の習慣や、異郷の考えの足跡をセルバンテスの作品「ドンキホーテ」を通して辿っていきます。また、宮崎駿の「もののけ姫」の鑑賞を通して日本の古代、中世の歴史や神話の意味と、とりわけ環境問題について考えていきます。

内容

- 1. 冒険と魔法の世界 「もののけ姫」を見ながら、その神話的意味を探り、環境問題を考える
- 2. 世界と記号 記号学からの観点:「ドン・キホーテ」をミッシェル・フーコーの著作「言葉と物」を参考に解読していきます。
- 3. 現代社会と精神分析

| 1 | ヨーロッパの歴史 ミッシェル・フーコーの言葉と物 バベルの塔(旧約聖書) |
|----|---|
| 2 | ヨーロッパの中世 デュビィのヨーロッパの中世 カテドラルについて ゴフの中世とは何か |
| 3 | 日本の歴史 古事記の中から 中世 鍛冶の歴史 たたら場 |
| 4 | 宮崎駿 もののけ姫 日本書紀 |
| 5 | 宮崎駿 もののけ姫 日本書紀 製鉄の歴史と環境問題 |
| 6 | ヨーロッパのルネッサンスと近代 言語とディスクール 世界解釈の鍵 |
| 7 | ミッシェル・フーコーの混在郷の考え方とセルバンテスのドンキホーテ |
| 8 | ドンキホーテと現代 |
| 9 | 精神分析について 意識と無意識の世界 S・フロイト、M・クライン、D・W・ウィニコット |
| 10 | 精神分析について 夢の解釈 アイデンティティと男性性女性性の問題 |
| 11 | ボヘミアの醜聞 アイデンティティと仮装について |
| 12 | 精神分析について ジャック・ラカンのセミネール8 転移と愛の問題 |
| 13 | ジャック・ラカン 鏡像段階、象徴界・現実界・想像界について |
| 14 | ジャック・ラカン 愛について プラトンの饗宴とソクラテスの無知の知・ディオチマの神話 |
| 15 | まとめ |

評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書はなし。参考文献のリストは授業の最初に配布 心理学、哲学、言語学からの用語は授業で説明。

 科目名
 日本国憲法

 担当教員名
 内野 伸之

 ナンパリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 1Aクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*,選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状/

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

憲法は国家の法体系の基礎となる法規で、国の権力構造や国民の権利・義務を左右する法であるので、この国で暮らす全 ての人にとってその内容を知ることは必要なことである。

この授業では日本国憲法の構造とそれを支える基本原理を明らかにし、その原理の具体化である各規定の意義を考える。 その上で憲法が、われわれの日常生活の中で生起する諸問題にどのように作用しているのかを知るために、判例などを参照 してその実像を吟味する。

学修目標としては、(1)基本原理を理解する、(2)基本原理と各条文との関係を理解する、(3)憲法に対する考え 方は一つではなくいろいろな考え方があることを理解する、(4)判例の果たす役割を理解する。

内容

| 1 | 憲法の構造(前文、人権、統治機構) |
|----|----------------------|
| 2 | 人権と公共の福祉との関係 |
| 3 | 包括的人権(1)プライバシー権 |
| 4 | 同 上 (2)肖像権 |
| 5 | 同 上 (3)環境権 |
| 6 | 平等権 (1)平等思想の展開 |
| 7 | 同 上 (2)日本国憲法における平等原則 |
| 8 | 受益権 |
| 9 | 人身の自由 |
| 10 | 思想良心の自由と憲法上の位置づけ |
| 11 | 信教の自由(1)信仰の自由 |
| 12 | 同 上 (2)政教分離 |
| 13 | 表現の自由 |
| 14 | 社会権とその種類 |
| 15 | まとめ |

評価

前半終了時の小レポート(20%)と最終の筆記試験(80%)で評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用せず

【推薦書】芦部信喜(高橋和之・補訂)『憲法(第4版)』 岩波書店 小嶋和司・大石 真『憲法概観(第6版)』 有斐閣 斉藤静敬『憲法要説』 成文堂

 科目名
 日本国憲法

 担当教員名
 片居木 英人

 ナンバリング
 学科
 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 18クラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択,必修*

 授業形態
 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(福祉)/小学校教諭一種免許状

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。

保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

資格関係

第1回:憲法を学ぶにあたって

第2回:憲法の成立過程

第3回:憲法に結実している思想、基本的人権の構造と展開

第4回:個人としての尊重、幸福追求権、自己決定権

第5回:人間らしく生きる権利、生存権、教育を受ける権利

第6回:健康権、環境権

第7回:政治と憲法 (国民主権、象徴天皇制、選挙)

第8回:政治と憲法 (国会、内閣、地方自治)

第9回:平和保障と憲法 (憲法と日米安全保障条約)

第10回:平和保障と憲法 (グローバリゼーションと国際貢献の在り方)

第11回:裁判と憲法 (裁判を受ける権利)

第12回:裁判と憲法 (違憲立法審査権)

第13回:憲法改正論の論点整理(現状と課題)

第14回:主権者教育としての憲法教育の意味

第15回:全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】伊藤真『伊藤真の日本一わかりやすい憲法入門』中経出版

【参考書】三省堂『新六法 2011年版』

日本国憲法 科目名 担当教員名 内野 伸之 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2 ク ラ ス 2Aクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 必修*,選択 授業形態 単 位 数 2 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状 資格関係 (福祉)/小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

憲法は国家の法体系の基礎となる法規で、国の権力構造や国民の権利・義務を左右する法であるので、この国で暮らす全ての人にとってその内容を知ることは必要なことである。

この授業では日本国憲法の構造とそれを支える基本原理を明らかにし、その原理の具体化である各規定の意義を考える。 その上で憲法が、われわれの日常生活の中で生起する諸問題にどのように作用しているのかを知るために、判例などを参照 してその実像を吟味する。

学修目標としては、(1)基本原理を理解する、(2)基本原理と各条文との関係を理解する、(3)憲法に対する考え 方は一つではなく、いろいろな考え方があることを理解する、(4)判例の果たす役割を理解する。

内容

| 1 | 憲法の構造(前文、人権、統治機構) |
|----|----------------------|
| 2 | 人権と公共の福祉との関係 |
| 3 | 包括的人権(1)プライバシー権 |
| 4 | 同 上 (2)肖像権 |
| 5 | 同 上 (3)環境権 |
| 6 | 平等権 (1)平等思想の展開 |
| 7 | 同 上 (2)日本国憲法における平等原則 |
| 8 | 受益権 |
| 9 | 人身の自由 |
| 10 | 思想良心の自由と憲法上の位置づけ |
| 11 | 信教の自由(1)信仰の自由 |
| 12 | 同 上 (2)政教分離 |
| 13 | 表現の自由 |
| 14 | 社会権とその種類 |
| 15 | まとめ |

評価

前半終了時の小レポート(20%)と最終の筆記試験(80%)で評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用せず

【推薦書】芦部信喜(高橋和之・補訂)『憲法(第4版)』 岩波書店 小嶋和司・大石 真『憲法概観(第6版)』 有斐閣 斉藤静敬 『憲法要説』 成文堂
 科 目 名
 日本国憲法

 担当教員名
 片居木 英人

 ナンバリング
 学 科 人間生活学部-共通科目

開 講 期 後期 必修・選択の別 選択,必修*

授業形態 単位数 2

資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状 (福祉)/小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、人権保障の根本法となる日本国憲法の理念と精神、その内容の全体像を理解していくところにねらいがある。

講義では、国際女性年及び国連女性の10年が掲げた「平和・平等・発展」という理念から、またジェンダーに敏感な視点と定着の進化を目ざし、国内外で生起する人権問題や憲法政治状況を具体的に取り上げ、憲法全体への理解を深めていく

学修目標は、憲法への問題意識をもって、主権者の一人として市民生活を営んでいくために必要な認識力・考察力・判断力を獲得していく点にある。

内容

授業計画

第1回:憲法を学ぶにあたって

第2回:憲法の成立過程

第3回:憲法に結実している思想、基本的人権の構造と展開

第4回:個人としての尊重、幸福追求権、自己決定権

第5回:人間らしく生きる権利、生存権、教育を受ける権利

第6回:健康権、環境権

第7回:政治と憲法 (国民主権、象徴天皇制、選挙)

第8回:政治と憲法 (国会、内閣、地方自治)

第9回:平和保障と憲法 (憲法と日米安全保障条約)

第10回:平和保障と憲法 (グローバリゼーションと国際貢献の在り方)

第11回:裁判と憲法 (裁判を受ける権利)

第12回:裁判と憲法 (違憲立法審査権)

第13回:憲法改正論の論点整理(現状と課題)

第14回:主権者教育としての憲法教育の意味

第15回:全体のまとめ

評価

中間課題レポート40点、筆記試験60点により評価を行う。合格点に満たない場合、再レポートを提出してもらう。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】伊藤真『伊藤真の日本一わかりやすい憲法』中経出版

【参考書】三省堂『新六法 2011年版』

 科目名
 法律学基礎

 担当教員名
 阿部 史

 ナンバリング
 グタース

 学年2
 クラス

 開講期後期後期後期後
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数2

 資格関係
 保育士資格 / 社会福祉士受験資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格:

法学の入門的な位置付けとなります。

科目の概要:

社会に生きる人は、日常、意識するしないを問わず、国民として、家族の一員として、個人として、また消費者として様々な立場で法と関わっています。この「法」とは一体どのようなものなのでしょうか。また、法的なトラブルに遭遇しないためには法律を知る必要があるという一方、法的なトラブルに遭遇してしまったときにはどうすればよいかという問題も生じます。そのために、法をめぐり、どのような法律や制度が存在するのかについて学びます。また主要な法律を概観します。

科目の目的:

法学入門として基礎的な知識の理解を図るとともに、現代社会に特徴的な法的問題への理解を深めることを目的とします。

内容

| 1 | 法とは何か | |
|----|--------------|------------------------|
| 2 | 法曹 法律家の種類と仕 | 事 |
| 3 | 法曹 法曹養成制度 | |
| 4 | 法の種類 | |
| 5 | 法の種類 | 六法全書 |
| 6 | 法と裁判 | 裁判制度・民事訴訟・代替的紛争解決(ADR) |
| 7 | 法と裁判 | 裁判員制度 |
| 8 | 国家と法: | 憲法 |
| 9 | 日常生活と契約: | 民法(契約法) |
| 10 | 日常生活とアクシデント: | 民法、消費者法 |
| 11 | 家族関係と法: | 民法(家族法) |
| 12 | 労働と法: | 労働法 |
| 13 | 企業と法: | 会社法 |
| 14 | 国際社会と法 | |
| 15 | 総括 | |

評価

レポート等提出物・授業態度(40%)・ペーパーテスト(60%)を総合して評価します。100点満点中60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書・テキスト】

『法の世界へ[第4版補訂]』 池田真朗・犬伏由子他著 (有斐閣アルマ)

『デイリー六法』(三省堂)

| 科目名 | 社会学基礎 | | |
|--------|-------------------|------------|---|
| 担当教員名 | 斉川 富夫 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 選択 | 択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 2 | |
| 資格関係 | 保育士資格 / 社会福祉士受験資格 | | |

- (1)社会学の基礎的概念を使って社会の諸問題をどのように把握・説明できるのか、少しでも実感的に理解してもらう。
- (2)現代社会の様々な様相とその中に生きる人びとが直面している諸問題、特に家族や地域社会のあり方と変化についての基礎的理解をめざす。

内容

| 1 | 社会的行為 |
|----|--------------------------|
| 2 | 欲求と価値 |
| 3 | 家族の分類と核家族の形成 |
| 4 | 現代家族の家族意識 |
| 5 | 産業化と家族の変貌 |
| 6 | 現代社会と家族機能の衰退 |
| 7 | 近代企業の形成と組織社会 |
| 8 | 専門職と職業倫理 |
| 9 | 都市化と地域の変貌 |
| 10 | 近代化と啓蒙思想 |
| 11 | 自由な欲望(私益)追求の社会ースペンサーの社会学 |
| 12 | 啓蒙主義の衰退と功利主義の広がり |
| 13 | スペンサー批判-新自由主義と共同体主義 |
| 14 | 社会主義と福祉国家 |
| 15 | 現代社会の課題-人間・自然の再生 |

評価

・ペーパーテストによって評価する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

第一に 森岡清美・望月嵩『新しい家族社会学』培風館をテキストとして挙げる。

その他、随時参考文献を授業の中で紹介する。

 科目名
 経営経済学基礎

 担当教員名
 狩野 浩二

 ナンバリング
 サイン・大連会社

 学年2
 クラス 1Aクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択

 授業形態
 単位数 2

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、学生の皆さんの自主的な学習態度を形成すること、自ら学び、自ら表現する学生を育てることを目指しています。様々な分野の学生たちがともに学ぶことにより、人間的な交流のすばらしさを実感してもらいたいと思っています。平成23(2011)年度入学生から開講される共通科目【十文字学】の中の、「新座から学ぶ」と同時に開講します。

新座市に住んでいらっしゃる皆さんをゲストとしてお招きし、お話を伺う前半と、受講生同士がグループを作って、プロジェクト研究をする後半とで構成します。後半は、グループでのプロジェクト研究の成果を発表する機会をつくります。

受講生同士が人間的な交流を深めること、新座について疑問に思ったことを課題として、グループごとに研究を深め、 発表すること、学生としての研究的な態度を身につけることなどが目標です。

内容

平成23(2011)年度入学生用【共通教育】[十文字学]「新座から学ぶ」と同時に開講します。

大学が立地する埼玉県新座市を教材とし、プロジェクト研究を行います。

講義の前半部分では、新座市内でご活躍になっている方々に来ていただき、さまざまな角度からお話を伺います。

来ていただくゲストの方については、講義中にお話しします。

これまで来てくださった方は、次のような皆さんです。

新座市内で農業に従事されている女性。新座の畑作を中心に。

新座市教育委員会学芸員。主として新座の歴史、文化について話していただきました。

新座市商工会の事務局長。新座の商工業について。

新座市町内会長。新座の町づくり、市民独自の活動について。

新座子育てネットワーク代表。新座の子育て支援について。

新座の神楽。神楽の伝承について。

中盤からは、グループごとに新座についての疑問点、研究課題を決めて活動します。

4名程度のグループを無作為に作って、活動します。

後半では、グループごとのプロジェクト研究結果の発表会を行います。

グループ内のメンバーで協力し、新座市に対しての提言をまとめてもらいます。

学生の皆さんが、新鮮な目で新座市を眺め、課題を発見し、その解決方法を提案します。

発表会では、前半部分でゲストとしてきていただいた方にも参加していただく予定です。

みなさんは、新座を覗き窓にして、日本や世界、宇宙へとひろがる課題を発見し、研究することになります。 仲間とともに楽しい勉強空間を創り上げましょう。

評価

グループごとの取り組み(2割)や毎回提出してもらうミニレポート(2割)、最終発表の内容(6割)を総合して評価

します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用しません。

推薦書は適宜講義中に説明します。

| 科目名 | 経営経済学基礎 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 込江 雅彦 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

人間生活学部の共通科目である。

科目の概要

人間は、自らが生きている環境、世界と無関係に生きることはできない。そこで、自分たちが生きている環境がどのようなものであるか、いかに生きていくべきかを知ることは重要なこととなる。この授業のねらいは、知識・情報を与えたり、教えるのではなく、学生自らが興味や関心を持ったり、自ら知りたいと思う課題を、自ら探求していく力を得ることである。このねらいを実現するために、大学の所在地である新座を通して地域社会を理解する。

学修目標

自分たちでテーマを決め、インタビュー、アンケートなどにより結果をプレゼンテーションする能力を身につけることを 目標にする。

内容

| 1 | ガイダンス |
|----|-----------------|
| 2 | ゲスト講師による講義 1 |
| 3 | ゲスト講師による講義 2 |
| 4 | ゲスト講師による講義 3 |
| 5 | ゲスト講師による講義 4 |
| 6 | ゲスト講師による講義 5 |
| 7 | ゲスト講師による講義 6 |
| 8 | グループによるテーマ決め |
| 9 | グループによるテーマ内容の検討 |
| 10 | 中間発表 |
| 11 | グループによる発表資料作成 1 |
| 12 | グループによる発表資料作成 2 |
| 13 | グループによる発表資料作成3 |
| 14 | 最終プレゼンテーション 1 |
| 15 | 最終プレゼンテーション 2 |

評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示する。

| 科目名 | 生物学 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 二宮 穣 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は自然科学系の一般教養的な性格の科目で、生命現象や生物に関する理解を必要とするような他の科目と関連が深い。

科目の概要

生命現象や生物と関係のある問題に対して、的確に考え意思決定ができるように、分子・細胞といったミクロなレベルの 生命現象から、生物の集団さらには生態系といったマクロなレベルで生じる現象まで、広く扱う。

学修目標

- 1.生命現象を、分子レベルで理解できる。
- 2. 生物の集団レベルで生じる現象を理解できる。
- 3. それらの理解に基づいて、具体的な生物を見ることができる。
- 4. それらの理解に基づいて、身近な問題を考えることができる。

内容

| 1 | 地球にはどんな生物がいるか 生物の分類と系統 |
|----|----------------------------|
| 2 | 地球にはどんな生物がいるか 動物および植物について |
| 3 | 地球にはどんな生物がいるか 菌類およびその他について |
| 4 | 細胞 細胞の構造と機能および細胞進化 |
| 5 | 細胞の生と死 |
| 6 | 遺伝子 遺伝子の本体(1)DNAの構造 |
| 7 | 遺伝子 遺伝子の本体(2) DNAの機能 |
| 8 | 遺伝子 遺伝子の発現とその調節 |
| 9 | 発生 卵から動物の体ができるまで |
| 10 | 発生を遺伝子 |
| 11 | 進化 |
| 12 | 生態 個体群の構造と動態 |
| 13 | 生態 バイオームと生態系 |
| 14 | 生物多様性とその保全 |
| 15 | まとめ |

評価

評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】使用しない。適宜プリントを配布。

【参考図書】教室で紹介する。

| 科目名 | 生物学 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 津吹 卓 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

この授業では、生き物が生きているとはどういうことなのかについて、「生き物の立場に立って眺め、考える初めての体験」をする。そしてそれを通じて、「生き物のとらえ方・楽しみ方」を伝えていきたい。これを学び、「生き物を見る眼」を身に付け、自ら成長させつつ知識を増やすことで、児童・幼児教育や食物栄養、そして福祉や心理の専門家として今後伸びていくための「基本的な発想」を持つことができると考える。これは他教科を学ぶ上で、考え方のベースとなる。

を目的として、学内および学外で生き物の観察を行い、生き物の立場に立ってその「気持」を考え組み立てを行う。 生き物を捕らえる感覚が分かれば、生き物の真実により近づくことができる。生き物の行動や生き方をどう捕らえ、それ をどのように考えたかを、自分なりに組み立ててレポートで報告して欲しい。

本学部は「育」・「食」・「福祉」・「心理」の共通基盤に基づき成り立っている。この共通基盤とは、ヒトが「より良く」育ち、発展し、そして充実して一生を終える(すなわち「ヒトらしく生きる」)ことであり、そのために4学科は各分野からサポートする使命を持つ。ヒトは人である前にまず生き物である。ヒトを知るためには「生き物がどのようにして生きているのかを体験的に知ること」が大前提となると考える。この目標達成のために、この科目はで「ヒトを生き物としてとらえること」を最終目標としている。

内容

1日目:班でキャンパス内の原っぱや雑木林で虫を半日以上観察し、その結果を班で考察・発表する。それに基づき質疑応答を行う。無脊椎動物を材料にした生き物のとらえ方の第一歩である。

2日目:1日目の体験を生かして、動物園で1種類の動物(1頭の動物)を1日観察し続け、1頭の性格や他の個体との「生き物関係」を考えたり、その種類の生き方を学ぶ。

3日目:2日目の結果を基に、班で話し合って考察を深め、次にプレゼンを工夫し、斑ごとに発表・質疑応答を行う。 以上を元にして、最終的には個人のレポートを作成する。

全体として、まず自分のレベルで生き物を楽しむ。そうして実物を見ながら、その生き物は なぜここにいるのか、 何をしているように見えるか、 生き物としては何をしようとしているのか、すなわち全体として「どのようにして生きているのか」を考えたり気づいたりする。その過程で疑問が出てくる。その疑問を意識し、さらに考えながら生き物を見つづけ、また本で調べたりしてその生き物の基本的な生活を知りながら「自然の謎解き」を楽しむ。生き物の"気持"をジェスチャーから読み取り、考え、話し合い、また調べたことも参考に考えを組み立て、 それをいかに伝えるか工夫して発表を行なう。そして質疑応答の中で多くの人からいろいろな発想を学び、生き物の真実により近づく過程を体験する。

疑問に対する正解は、本などで調べれば必ず分かるというものではない。また、見る機会を増やして考えつづけることで 、生き物自身が教えてくれることも多い。自分としての「大発見」もできる。このことに気づくきっかけを作りたい。

これまでの経験から、真夏の暑さの中で2日連続の野外観察は厳しく、途中でリタイアした学生も出ている。3日間を通して、かなりの体力が必要であることが分かっている(林には蚊も多い)。受講者はその覚悟で,体調を整えて参加すること。

評価

観察に基づく各自のレポートで評価する。評価のポイントは、観察を通して、自分なりに何に気づき、何を考え、どのようにとらえたか、それがどこまで深められているかである。

内容を考えれば分かると思うが、初日、2日目、3日目と観察を基に内容を積み上げていくので、1日でも休むとこの授業は成り立たなくなる。集中講義なので、単位を取る人は3日間を体験的に楽しみながら、頑張って欲しい。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは使わない。観察対象で参考図書は異なる。必要に応じて昆虫・動物の図鑑や、生活の仕方について書かれた本 を見てほしい。但し、あくまで参考資料である。

イメージをもつための推薦書(図書館内)

『樹液をめぐる昆虫たち』

『飼育係が見た動物のヒミツ51』

『飼育係がガイドする動物園 今日も動物園日和』

| 科目名 | 化学 | | |
|--------|-------------|---------|----|
| 担当教員名 | 鎌田 恒夫 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科学技術は人の生活を豊かにし、多くの社会問題を解決してきた。現在の豊かな生活を維持するためには、科学の知識や教養が必要である。しかし先進国では科学離れが進み、逆に途上国で意識が高まっている。科学のなかで特に化学は理解し難いとして敬遠されがちであり,日本でも次世代の母親となる女子の科学離れが著しい。ここでは化学が果たした役割とその可能性を知り,化学の重要性を理解し,興味をもつことを目標にして講義する。さらに化学記号が読め,化学反応まで理解できることが望ましい。

内容

1.1章 科学教育の重要性

2.2章 身近な化学物質 無機化合物の取り扱い

3.2章 身近な化学物質 有機化合物の性質

4 3章 化学結合 原子の構造、化学結合

5.3章 化学結合 有機化合物の構造

6.3章 化学結合 立体化学

7.4章 化学物質の量と濃度

8.4章 化学物質の量と濃度 計算問題

9.5章 物質の分離・分析法 抽出

10.5章 物質の分離・分析法 クロマトグラフィー

11.6章生命を制御する化学物質遺伝子と酵素12.6章生命を制御する化学物質遺伝子の化学

13.6章 生命を制御する化学物質 生物の寿命

14.7章 化学物質の安全性評価 化学物質の毒性

15.7章 化学物質の安全性評価 化学物質としての食物

評価

単元毎のレポートまたは筆記試験による。

60%以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

使用しない。必要に応じてプリントを配布する

| 科目名 | 宇宙科学 | | |
|--------|-------------|---------|----|
| 担当教員名 | 北原 俊一 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

本科目は社会情報学部においては数少ない自然科学系の科目である。客観的に自然をとらえる姿勢を育んで欲しい。また、 科学的な教養を深めて欲しい。

科目の概要

太陽系の各惑星について、特に地球と比較したときの環境について学ぶ。また、星座を形作る恒星の生死と宇宙の誕生・進化について学ぶ。

学修目標

- 1.地球と比較して他の惑星はどのような環境にあるのかを理解する。
- 2.星には生死があることがわかる。
- 3.宇宙の誕生と歴史を理解する。

内容

| 1 | 宇宙を概観する |
|----|-------------|
| 2 | 宇宙の始まり |
| 3 | 火星、万有引力 |
| 4 | 金星と水星の環境 |
| 5 | 太陽の光るしくみ |
| 6 | 月の環境と見え方 |
| 7 | 地球 |
| 8 | 木星・土星 |
| 9 | 天王星・海王星・冥王星 |
| 10 | 太陽系外縁天体、彗星 |
| 11 | 流星と流星群 |
| 12 | 恒星の世界、軽い星の死 |
| 13 | 重い星の死 |
| 14 | 星の誕生 |
| 15 | まとめ |

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】使用しない

【参考図書】加藤万里子『新・100 億年を翔ける宇宙 : ビックバンから生命の誕生まで』恒星社厚生閣、脇屋奈々代・沼澤茂美『ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた宇宙」誠文堂新光社、高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』地人書館

運動と健康 名 科 目 担当教員名 平田 智秋 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 学 ク ラ ス 1Aクラス 2 必修・選択の別 必修* 開講期 前期 授業形態 位 数 単 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 資格関係 等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

健康に関する知識を覚えるだけでなく、体育実技科目の「人間と運動」と連動しながら、

知識と実践との双方向から健康について考えを深める。

また本科目は,健康運動実践指導者の必修科目でもある。

科目の概要

毎週1つのトピックについて,実習を交えながら講義を進める。

毎回,授業後に短いエッセイの提出を求める。

次回の授業では優れたエッセイを紹介し、復習と更なる学びの材料とする。

学修目標

体育と食育との関わりの中から健康について考えを深める。

健康は自らの行動や心がけで維持・向上できる部分もあるが、社会環境や人間関係などの影響も受ける。運動を中心に、健康に関わる様々な要素を解説しながら、身体についての理解を深め、より柔軟な健康づくりを考える素地を作りたい。

内容

予定する講義内容は以下の通りである。

- 1.健康とは何か:健康チェックリストの自作と評価。構成概念としての健康
- 2.身体の構造と進化:二足歩行の進化史。運動するためにデザインされた人体構造
- 3.骨と筋肉の基礎知識:骨の代謝と骨粗鬆症,筋肉の分類
- 4.脳構造と脳機能の基礎知識:脳の階層構造と各部位の協調。感覚運動系の予測システムと遠心コピー
- 5.有酸素性運動の理論1:有酸素性運動の定義とエネルギー供給。最大酸素摂取量と無酸素性作業閾値
- 6.酸素性運動の理論2:最大酸素摂取量(直接法と間接法)と無酸素性作業閾値の判定
- 7.有酸素性運動の理論3:運動強度と[心拍出量・心拍数・肺換気量・呼吸数]との関係
- 8. 有酸素性運動の理論4: トレーニングの効果と日常生活への影響
- 9.健康づくりと運動プログラム(トレーニングの基礎):有酸素運動と無酸素運動の違い。有酸素運動の効果
- 10.健康づくりと運動プログラム(プログラム作成の原則): 過負荷と超回復。漸増負荷。強度と時間,頻度
- 11.健康づくりと運動プログラム(運動によるエネルギー消費):運動強度の指標群,METSによる消費加リー計算
- 12.健康づくりと運動プログラム(運動処方の原理):心拍数の意味と利用法。ウォーミングアップとクーリングダウン
- 13.健康格差と少子高齢化:健康の社会的要因(生物・心理・社会モデル)。人口減少の実態。死生観の国際比較
- 14.ライフステージごとの健康:働く女性の実情。21世紀成年者縦断調査の概略。子どもと高齢者の健康
- 15. 総復習:運動習慣と食習慣から健康づくりを考える

毎回の講義後に簡単なエッセイを課す。エッセイの評価を35%,筆記試験を65%として合計で60%以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】

教養としての身体運動・健康科学(2009)。東京大学身体運動科学研究室編。東京大学出版会。 他の推薦図書は授業の中で,随時紹介する。

| 科目名 | 運動と健康 |
|--------|---|
| 担当教員名 | 加藤 優 |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | 2 クラス 2Bクラス |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 必修* |
| 授業形態 | 単位数2 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

共通科目「運動と健康」は、皆さんが学生生活を含め、これからの人生をよりゆたかに、そしてよりすこやかに生きる ための知恵を学ぶ必修講義科目です。

授業では、健康の現代的な意味、運動のメカニズムと運動することの意味、運動の効用などについて、実際に自分のからだを測定したり(体組成)、自分の生活を振り返ったりしながら、具体的資料や実体験に基づいた内容を取り入れて授業を進めます。

学修目標は、次の3点です。 健康であることの意義を理解することができる。 現代社会における運動の必要性を理解することができる。 健康と運動の関係を理解することができる。

内容

| 1 | 1. 人間らしさの本質 |
|----|--------------------------|
| 2 | 2. 人間らしさと運動 |
| 3 | 3. 基本的な健康生活 |
| 4 | 4. 測定できる身体(自分のからだを知る!) |
| 5 | 5. 人生80年と健康 |
| 6 | 6. 現代社会と運動と肥満 |
| 7 | 7. 私たちのからだと運動(運動のメカニズム) |
| 8 | 8. 私たちのからだと運動(運動の種類と方法) |
| 9 | 9. 健康と運動の量 |
| 10 | 10. 健康と運動の質 |
| 11 | 11. 健康と運動と食事 |
| 12 | 12. 健康と運動と精神的健康 |
| 13 | 13. 現代社会が抱える健康問題(心とからだ) |
| 14 | 14. 現代社会が抱える健康問題(大人と子ども) |
| 15 | 15. まとめ |

☆(ボ

授業時の小レポート(30点)と通常の授業態度(10点)、ペーパーテスト(60点)により評価を行い、60点以上を 合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 運動と健康 |
|--------|---|
| 担当教員名 | 加藤 優 |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | 2 クラス 1Bクラス |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 必修* |
| 授業形態 | 単 位 数 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

共通科目「運動と健康」は、皆さんが学生生活を含め、これからの人生をよりゆたかに、そしてよりすこやかに生きるための知恵を学ぶ必修講義科目です。

授業では、健康の現代的な意味、運動のメカニズムと運動することの意味、運動の効用などについて、実際に自分のからだを測定したり(体組成)、自分の生活を振り返ったりしながら、具体的資料や実体験に基づいた内容を取り入れて授業を進めます。

学修目標は、次の3点です。 健康であることの意義を理解することができる。 現代社会における運動の必要性を理解することができる。 健康と運動の関係を理解することができる。

内容

| 1 | 1. 人間らしさの本質 |
|----|--------------------------|
| 2 | 2. 人間らしさと運動 |
| 3 | 3. 基本的な健康生活 |
| 4 | 4. 測定できる身体(自分のからだを知る!) |
| 5 | 5. 人生 8 0 年と健康 |
| 6 | 6. 現代社会と運動と肥満 |
| 7 | 7. 私たちのからだと運動(運動のメカニズム) |
| 8 | 8. 私たちのからだと運動(運動の種類と方法) |
| 9 | 9. 健康と運動の量 |
| 10 | 10. 健康と運動の質 |
| 11 | 11. 健康と運動と食事 |
| 12 | 12. 健康と運動と精神的健康 |
| 13 | 13. 現代社会が抱える健康問題(心とからだ) |
| 14 | 14. 現代社会が抱える健康問題(大人と子ども) |
| 15 | 15. まとめ |

評価

授業時の小レポート(30点)と通常の授業態度(10点)、ペーパーテスト(60点)により評価を行い、60点以上を 合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 運動と健康 |
|--------|---|
| 担当教員名 | 加藤・優 |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | クラス 10クラス |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 必修* |
| 授業形態 | 単 位 数 2 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

共通科目「運動と健康」は、皆さんが学生生活を含め、これからの人生をよりゆたかに、そしてよりすこやかに生きる ための知恵を学ぶ必修講義科目です。

授業では、健康の現代的な意味、運動のメカニズムと運動することの意味、運動の効用などについて、実際に自分のからだを測定したり(体組成)、自分の生活を振り返ったりしながら、具体的資料や実体験に基づいた内容を取り入れて授業を進めます。

学修目標は、次の3点です。 健康であることの意義を理解することができる。 現代社会における運動の必要性を理解することができる。 健康と運動の関係を理解することができる。

内容

| 1 | 1. 人間らしさの本質 |
|----|--------------------------|
| 2 | 2. 人間らしさと運動 |
| 3 | 3. 基本的な健康生活 |
| 4 | 4. 測定できる身体(自分のからだを知る!) |
| 5 | 5. 人生 8 0 年と健康 |
| 6 | 6. 現代社会と運動と肥満 |
| 7 | 7. 私たちのからだと運動(運動のメカニズム) |
| 8 | 8. 私たちのからだと運動(運動の種類と方法) |
| 9 | 9. 健康と運動の量 |
| 10 | 10. 健康と運動の質 |
| 11 | 11. 健康と運動と食事 |
| 12 | 12. 健康と運動と精神的健康 |
| 13 | 13. 現代社会が抱える健康問題(心とからだ) |
| 14 | 14. 現代社会が抱える健康問題(大人と子ども) |
| 15 | 15. まとめ |

評価

授業時の小レポート(30点)と通常の授業態度(10点)、ペーパーテスト(60点)により評価を行い、60点以上を 合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

| 科目名 | 運動と健康 |
|--------|---|
| 担当教員名 | 加藤・優 |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | 2 クラス 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 必修* |
| 授業形態 | 単位数2 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

共通科目「運動と健康」は、皆さんが学生生活を含め、これからの人生をよりゆたかに、そしてよりすこやかに生きる ための知恵を学ぶ必修講義科目です。

授業では、健康の現代的な意味、運動のメカニズムと運動することの意味、運動の効用などについて、実際に自分のからだを測定したり(体組成)、自分の生活を振り返ったりしながら、具体的資料や実体験に基づいた内容を取り入れて授業を進めます。

学修目標は、次の3点です。 健康であることの意義を理解することができる。 現代社会における運動の必要性を理解 することができる。 健康と運動の関係を理解することができる。

内容

| 1 | 1. 人間らしさの本質 |
|----|--------------------------|
| 2 | 2. 人間らしさと運動 |
| 3 | 3. 基本的な健康生活 |
| 4 | 4. 測定できる身体(自分のからだを知る!) |
| 5 | 5. 人生80年と健康 |
| 6 | 6. 現代社会と運動と肥満 |
| 7 | 7. 私たちのからだと運動(運動のメカニズム) |
| 8 | 8. 私たちのからだと運動(運動の種類と方法) |
| 9 | 9. 健康と運動の量 |
| 10 | 10. 健康と運動の質 |
| 11 | 11. 健康と運動と食事 |
| 12 | 12. 健康と運動と精神的健康 |
| 13 | 13. 現代社会が抱える健康問題(心とからだ) |
| 14 | 14. 現代社会が抱える健康問題(大人と子ども) |
| 15 | 15. まとめ |

評価

授業時の小レポート(30点)と通常の授業態度(10点)、ペーパーテスト(60点)により評価を行い、60点以上を 合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

 科 目 名
 シーズンスポーツ

 担当教員名
 山本 悟、坪倉 紀代子、平田 智秋

 ナンバリング
 学 科 人間生活学部-共通科目

 学 年 2
 クラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 選択

 授業 形態
 単 位 数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

3泊4日の雪上実習と3回の事前オリエンテーションを通じて,スキーやスノーボードの基礎技術はもとより,集団生活を通じて自律した行動・態度を身につける。

科目の概要

本学湯の丸山荘において、スキーもしくはスノーボードの実習を行う。

学修目標

- a)自然との関わりの深いスキーやスノーボードの特性について理解し、その知識と技術を身につける。
- b)自然界のすばらしさと厳しさを味わい、生涯を通じて自然に親しむ態度を養う。
- c)健康管理への気付き、学年や学科を超えた交流の中から仲間意識を高める。

内容

実習を通じて、以下の技能を体得する;

スキー初級

雪や用具になれる:スキーの着脱、転倒起立、歩行、方向変換、推進滑降、登行

初歩的な滑降:直滑降、プルーク、プルーク・ボーゲン

スキー中級

基本的な構えとスキー操作を学ぶ:斜滑降、横滑り、山回り、プルーク・ターン リズムとバランス感覚を学ぶ:シュテム・ターンなど

スキー上級

スピードをコントロールし、回転動作を洗練する:パラレル・ステップターン制限コースや雪質,斜面などへの対応力を高める:制限滑降、深雪滑降

スノーボード初級

装備の着脱,転び方と起き方,スケーティング リフトの乗り降り,サイドスリップと木の葉落とし(かかと,つま先の両側で)

スノーボード中級

Jターン(かかと,つま先の両方で)。 ノーズドロップ ずらしを利用した連続ターン

スノーボード上級 カービングターン,大回りと小回り

評価

オリエンテーションへの参加と,実習における技能習得や生活態度を総合して評価し, 60%以上の評価を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(備考)

- ・実施時期:平成24年2月中旬の3泊4日(決定次第教務課掲示板にて発表)
- ・実施場所及び宿泊施設(予定):湯の丸スキー場。本学湯の丸山荘
- ・実習参加費(予定):30,000円(宿泊費・3泊9食、交通費、保険料、リフト代、レンタル代等)
- ~ ウエアのレンタルは無いので、各自で準備が必要
- ・履修登録前にオリエンテーションを開くので、受講希望者は必ず参加すること。
- ・履修人数を30名に制限する予定である。

 科 目 名
 アメリカ文化研究

 担当教員名
 森田 勝之

 ナンバリング
 サ 人間生活学部-共通科目

 学 年 2
 クラス

 開 講 期 前期
 必修・選択の別 選択

 授業 形態
 単 位 数 2

 資 格 関係
 幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は諸外国(アメリカ、カナダ、イギリス等)の歴史、言語、文化の研究を通して異文化に触れ、より深く理解し、 留学や研修で必要かkつ充分な理解を得ようとするものです。

内容

23年度はアメリカ文化を多面的に捉えます。

- 1. 導入
- 2. アメリカの歴史:背景
- 3. アメリカの歴史:人物
- 4. アメリカの歴史:他の国との関係
- 5. アメリカの言語:歴史
- 6. アメリカの言語:変化
- 7. アメリカの言語 : 他の言語との関係
- 8. アメリカの文化:建築や芸術
- 9. アメリカの文化: 文学
- 10. アメリカの文化:他の文化との関係
- 11. アメリカの地理:背景
- 12. アメリカの経済
- 13. アメリカと国際社会との関係
- 14. アメリカのまとめ 1
- 15. アメリカのまとめ 2

評価

平常点、リアクションペーパー、レポートによる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業開始時に説明:プリント

 科目名
 イギリス文化研究

 担当教員名
 設楽 優子

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス

 開講期前期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数2

 資格関係
 幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目の選択科目で、夏期休暇中の集中講義として開講されます。

イギリスの提携校イースト・アングリア大学(The University of East Anglia)で約2 週間の英語研修を受講するとともに、一家庭一名のホームステイによって、イギリスの生活と文化をじかに体験します。

現地到着時に行われるプレイスメントテストの結果により、各自の習熟度にあったクラスで、本学以外の様々な国の学生とともに双方向の授業に参加し、英語コミュニケーション能力を伸ばします。また、ステイ先の人々と英語でコミュニケーションをとらなければならない状況に身を置いて英語に浸ります。

内容

- 1. 英語研修: 午前中3時間、英会話だけでなく、プレゼンテーションなどのプロダクション活動を含めた授業が行われます。その他イースト・アングリア大学が企画する市内の課外活動や、日帰りの小旅行(イギリス王室の別荘の大邸宅への旅行)などが予定されています。これらの活動を通して英語力を伸ばします。
- 2. 文化体験: イースト・アングリア大学は創立1963年、学生数14,000人以上、留学生は2,000人以上です。同大学のあるノリッジ市は、ロンドンから列車で2時間ほど行った北東に位置し、ノーフォク(Norfolk)の中心都市(人口12万人以上)です。ノリッジは歴史的な建物が数多く存在し、街の散策が大変興味深い古都です。また、近隣の地域は保養地としても有名です。
- 3. 研修期間:8月上旬から9月上旬の間の約3週間での実施を予定しています。期間中にはロンドンでの観光や自由行動も含まれています。
- 4. 宿泊先: ホームステイ先は、イースト・アングリア大学が選んだ家庭の中から、アンケートへの参加学生の回答などに基づいてマッチングを行います。
- 5. 引率者: 本学の教職員が担当します。

評価

イースト・アングリア大学の担当教員による成績を60点、ホームステイ先での日常の努力などに関する引率教員の評価を40点として、合計60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

イースト・アングリア大学から提供されます。

 科目名
 女性学基礎

 担当教員名
 阿部 史、橋本 ヒロ子、大友 由紀子、亀田 温子

 ナンパリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 1Aクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択

 授業形態
 単位数 2

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

人間生活学部共通科目のうちの選択科目

科目の概要および 学修目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わってきており、女性も男性も、社会的・文化的性差(ジエンダー)にとらわれない多様な生き方が現れはじめている。それを可能にする考え方、新たな制度の成立などを知ることで、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信をもって積極的に社会参加できるよう、多様な生き方を考え、選択する力を強めることにつなげる。

現代女性のすぐれたモデルである本学園創立者「十文字こと」先生の生き方を理解したうえで、多領域に関わる事柄を「政治と人権」「女性と家族」「働くこと」「法律と仕組み」の4 つの領域に分け、オムニバス方式で行う。

内容

- 1.オリエンテーション:科目と担当の紹介並びにこと先生のアニメビデオの視聴
- 2.十文字ことの生き方に学ぶジェンダー視点(橋本ヒロ子)
- 3-5.「女性の政治参加と人権」(橋本ヒロ子)

世界と日本でどのように男女平等のために努力されてきたか、その中で特に日本女性が遅れている「政治への参画」について、ポジティブアクションの有効性などもふくめ考察する。さらに、デートDV、キャンパスセクハラなど女性に対する 暴力が、男女の権力関係により起こること、政治とも関係していることを学ぶ。

6-8.「女性と家族」(大友由紀子)

未婚晩婚化や少子高齢化といった現代社会の変化は、まさに家族生活の変化である。女性にとってこのような家族生活の変化がどのような意味を持っているのか、社会統計や世論調査のデータをもとに、実証的に考えていく。家庭における男女のパートナーシップのあり方について、結婚、出産と子育て、老親扶養をテーマに考察する。

9-11「人の成長とキャリア」(亀田温子)

職業と関わりキャリアの歩みを持つことは現代女性にとって重要なテーマである。ここでは特に女性の職業進出に注目し、その変化と現状・未来をとらえる。いま女性がどのように仕事に関わっているか、年の変化で職種の拡大や社長なるなど地位の拡大など仕事の広がりがおきていること、長期化するなかで職業生活、家庭生活をどのように行うかその歩みであるキャリアをとらえる。それらをもとに、自分自身の今後のライフキャリアプランをつくることにつなげる。

12-14. 「法律と仕組み」(阿部 史)

法律や制度とジエンダーとの関わりについて取り扱う。女性の法的地位が国際的にどのように変化したのか、それが国内に与えた影響について。また、女性のプライベートな生活と法、女性が働くことと法律がどのように関わっているのか、その仕組み、限界、そして展望を考察する。

15 まとめと講評(阿部史)

評価

4つのテーマによる担当教員がレポートあるいはテストによる各教員の評価(20 点×4)を行う。さらに全体の受講態

度による平常点(20点)を加えて100点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各領域ごとに担当教員が資料を配布、紹介する。

| 科目名 | 女性学基礎 | |
|--------|---------------------------|--|
| 担当教員名 | 大友 由紀子、亀田 温子、片居木 英人、宮城 道子 | |
| ナンバリング | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | |
| 学 年 | 2 クラス 1Bクラス | |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 選択 | |
| 授業形態 | 単 位 数 2 | |
| 資格関係 | | |

1 科目の性格 人間生活学部 共通科目

2科目の概要・目標

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わっている。女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとらわれない多様な生き方が現れはじめている。そうした社会の動きをとらえると同時に、それを可能にする考え方、新たな制度の成り立ちを知ることで、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信をもって積極的に社会参加できるよう、多様ないきかたを考え、選択する力を強めることにつなげる。

現代女性のすぐれたモデルである本学創立者「十文字こと」先生の生き方を理解したうえで、多領域に関わる事柄を「人の成長とジェンダー」「女性とセクシュアリテイ」「女性の働き方の変化」「女性と家族」の4つにわけ、オムニバス方式の学習とする。

内容

1回 オリエンテーション

科目担当教員の紹介。十文字こと先生の生き方を描いたアニメビデオの視聴。

2回 十文字こと先生の生き方に学ぶ

現代社会においても社会で活躍する女性のモデルであること先生に生き方をとらえる。

3 - 5回 「人の成長とジェンダー」(担当:亀田)

女性も男性もその生き方は多様になっているが、人の成長プロセスの中でつくられる「女/男らしさ」の場面をとらえ、「当たり前」と思ってることがどのようにつくられたジェンダーと関わるか再考していみる。また、女性への職業・経済活動への参加期待、男性への家事・育児参加期待など、生き方の多様化により、これまでのジェンダーが変化している現状をとらえる。

6 - 8回「女性とセクシュリッテイ」(担当:片居木)

基本的人権としての性的人格権(セクシュアル・ライツ)に焦点をあわせます。性暴力、多様な性感染症、生殖補助 医療など難しい人権問題がありますが、授業は問題の可視化と性的自己決定のエンパワーメントを目指して展開します。 9 - 1 1 回「女性の働き方の変化」

女性たちはいつの時代も働きつづけてきたが、社会的分業としての職業を得て、自らの経済的自立のために働きだした 歴史は、そう長くはない。現代日本における雇用労働の現状を踏まえ、男女共同参画と生活者の福祉を実現するワークライフバランスを検討し、将来の仕事のビジョンを描く力を得る。

12-14回「女性と家族」

未婚晩婚化や少子高齢化といった現代社会の変化は、まさに家族の変化です。女性にとってこのような家族生活の変化がどのような意味をもっているか、社会統計や世論調査のデータをもとに実証的に考えていきます。家庭における男女のパートナーシップの在り方について、結婚、出産と子育て、老親扶養をテーマに考察します。

15回 まとめと講評

評価

4つの領域の担当教員がレポートまたはテストによる評価(20点×4)を行う。それに受講態度による平常点(20点)を加えて合計を100点とし、60点以上を合格点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマごとに、各教員が資料を配布、紹介する。

| 科目名 | 女性学基礎 |
|--------|--------------------------|
| 担当教員名 | 片居木 英人、宮城 道子、阿部 史、橋本 ヒロ子 |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | 2 クラス 10クラス |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 選択 |
| 授業形態 | 単 位 数 2 |
| 資格関係 | |

変化する社会の中で意識や制度も大きく変わってきており、女性も男性も、社会的・文化的性差(ジェンダー)にとらわれない多様な生き方が現れ始めている。それを可能とする考え方、新たな制度の成立などを知ることで、今後社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信を持って積極的に社会参加できるよう、自己決定力を強めることをめざす。

現代女性のすぐれたモデルである本学園創設者の「十文字こと」先生の生き方を理解した上で、「女性の働き方の変化」「法律と仕組み」「女性の政治参加と人権」「女性とセクシュアリティ」の4つのテーマについて、オムニバスで学ぶ。なお、本科目は人間生活学部(10年度以前入学生)共通科目の選択科目である。

内容

- 1.オリエンテーション:科目の説明と4テーマの担当者の紹介。創設者「こと先生」のビデオ視聴
- 2.十文字こと先生の生き方に学ぶジェンダー視点(宮城)
- 3.-5.「女性の働き方の変化」(宮城):女性たちはいつの時代も働き続けてきたが、社会的分業としての職業を得て、自らの経済的自立のために働きだした歴史は、それほど長くはない。現代の日本における雇用労働の状況を踏まえ、男女共同参画と生活者の福祉を実現するワークライフバランスを検討し、将来の仕事ビジョンを描く力を得る。
- 6.-8.「法律と仕組み」(阿部):法律や制度とジェンダーの関わりについて取り扱う。女性の法的地位が国際的にどのように変化したのか、それが国内に与えた影響について。また、女性のプライベートな生活と法、女性が働くことと法律がどのように関わっているのか、その仕組み、限界、そして展望を考察する。
- 9.-11.「女性の政治参加と人権」(橋本):世界と日本でどのように男女平等のために努力されてきたか、その中で特に日本女性が遅れている「政治への参画」について、ポジティブアクションの有効性などを含め、考察する。さらにデートDV、キャンパスセクハラなど女性に対する暴力が、男女の権力関係により起こること、政治とも関係していることを学ぶ。
- 12.-14.「女性とセクシュアリティ」(片居木):基本的人権としての性的人格権(セクシュアル・ライツ)に焦点をあてる。性暴力、多様な性、性感染症、生殖補助医療など、現代社会には「女性と性」にかかわる人権問題が横たわっている。切り離せない生と性、すなわちセクシュアリティ問題は、大変価値判断の難しい内容を伴っているが、問題の可視化と性的自己決定のエンパワーメントをめざして授業を展開する。
- 15. まとめと講評(片居木)

評価

4 つのテーマの担当教員がレポートあるいはテストによる評価(20点×4)を行う。さらに全体の受講態度による平常点 (20点)を加えて100点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

各領域ごとに担当教員が資料を配布、紹介する。

| 科目名 | コンピュータ概説 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 井口 磯夫 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | クラス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | | | |

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の1つであり、現在の情報通信技術が発達したディジタル社会において、その仕組みや特性を理解し、情報の価値や利用方法、注意すべきことについて考える。

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術について学ぶ。次に、それらを利用したインターネットやネットワーク上でのサービスについて理解を深める。さらに、ネットワーク上の脅威としそれに対する備え、情報を利用するときの倫理観、情報社会の予想される未来について議論する。

情報の概念やかちについて理解する。

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術を学び、社会でどのように利用されているかを理解する。 ネットワーク上の脅威についての知識を深め、情報社会の一員としてモラルを身につける。

内容

| 1 | 現代社会と情報 |
|----|------------------------------------|
| 2 | 2 進法、文字コード、フォント |
| 3 | 情報の表現技術 |
| 4 | コンピュータのしくみ |
| 5 | オペレーションシステムのしくみ |
| 6 | ディジタル放送、エラー検出 |
| 7 | インターネットのしくみ |
| 8 | ネットワークのしくみ |
| 9 | WWWと電子メール |
| 10 | 検索エンジンとインターネットサービス (SNS、Wikipedia) |
| 11 | 情報システム、電子商取引 |
| 12 | メディアリテラシー |
| 13 | コンピュータウィルス、情報漏漏洩 |
| 14 | 個人情報、知的財産権 |
| 15 | まとめ |

評価

授業中の小テストおよび提出物(50点)、期末テスト(50点)により評価し、60点以上を合格とする。 合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 井口磯夫「教養のためのコンピュータ概説」ムイスリ出版

| 科目名 | コンピュータ概説 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 北原 俊一 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | クラス | 1Bクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | | | |

科目の性格

本科目では、大学での学習や社会で必要となる情報に関する基礎的な知識の習得を目指す。情報処理演習、コンピュータ表現系の科目の基礎となる。

科目の概要

情報とはどのようなものか、コンピュータ内部やインターネット上でやり取りする様々な情報の表現方法について学ぶ。また、コンピュータやネットワークのしくみについて、情報と社会について学ぶ。

学修目標

- 1.情報量について理解する。
- 2.情報の表現方法・伝達方法を理解する。
- 3.インターネットやコンピュータのしくみが分かる。

内容

| $\overline{}$ | |
|---------------|------------------|
| 1 | 情報とは何か |
| 2 | 情報量とエントロピー |
| 3 | 2 進数 |
| 4 | 文字コード |
| 5 | チェックディジット |
| 6 | 画像のディジタル表現 |
| 7 | カラー画像のディジタル表現 |
| 8 | まとめ-その1 |
| 9 | ディジタル情報の記号化 |
| 10 | サウンドのディジタル化 |
| 11 | コンピュータのしくみ |
| 12 | コンピュータネットワークのしくみ |
| 13 | 情報通信技術 |
| 14 | 携帯電話 |
| 15 | まとめ-その2 |
| | |

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】使用しない。プリント配布。

【参考図書】大村平『情報のはなし』日科技連、久野靖・辰巳丈夫・佐藤義弘『最新情報リテラシー』日経BP社、山川修・田中武之・菊沢正裕『情報リテラシー』森北出版

| 科目名 | コンピュータ概説 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 北原 俊一 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Cクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | | | |

科目の性格

本科目では、大学での学習や社会で必要となる情報に関する基礎的な知識の習得を目指す。情報処理演習、コンピュータ表現系の科目の基礎となる。

科目の概要

情報とはどのようなものか、コンピュータ内部やインターネット上でやり取りする様々な情報の表現方法について学ぶ。また、コンピュータやネットワークのしくみについて、情報と社会について学ぶ。

学修目標

- 1.情報量について理解する。
- 2.情報の表現方法・伝達方法を理解する。
- 3.インターネットやコンピュータのしくみが分かる。

内容

| 1 | 情報とは何か |
|----|------------------|
| 2 | 情報量とエントロピー |
| 3 | 2 進数 |
| 4 | 文字コード |
| 5 | チェックディジット |
| 6 | 画像のディジタル表現 |
| 7 | カラー画像のディジタル表現 |
| 8 | まとめ-その1 |
| 9 | ディジタル情報の記号化 |
| 10 | サウンドのディジタル化 |
| 11 | コンピュータのしくみ |
| 12 | コンピュータネットワークのしくみ |
| 13 | 情報通信技術 |
| 14 | 携帯電話 |
| 15 | まとめ-その2 |
| | |

評価

授業中の提出物30%、試験70%により評価を行い、60点以上を合格とする。合格点に満たなかった場合、レポートを課す。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】使用しない。プリント配布。

【参考図書】大村平『情報のはなし』日科技連、久野靖・辰巳丈夫・佐藤義弘『最新情報リテラシー』日経BP社、山川修・田中武之・菊沢正裕『情報リテラシー』森北出版

| 科目名 | コンピュータ概説 | | |
|--------|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 井口 磯夫 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | クラス | 1Dクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 2 |
| 資格関係 | | | |

本科目は、学部共通科目の科目区分「情報基礎」の科目の1つであり、現在の情報通信技術が発達したディジタル社会において、その仕組みや特性を理解し、情報の価値や利用方法、注意すべきことについて考える。

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術について学ぶ。次に、それらを利用したインターネットや ネットワーク上でのサービスについて理解を深める。さらに、ネットワーク上の脅威としそれに対する備え、情報を利用す るときの倫理観、情報社会の予想される未来について議論する。

情報の概念やかちについて理解する。

コンピュータの仕組み、情報を扱う技術、情報通信を支える技術を学び、社会でどのように利用されているかを理解する。 ネットワーク上の脅威についての知識を深め、情報社会の一員としてモラルを身につける。

内容

| 1 | 現代社会と情報 |
|----|------------------------------------|
| 2 | 2 進法、文字コード、フォント |
| 3 | 情報の表現技術 |
| 4 | コンピュータのしくみ |
| 5 | オペレーションシステムのしくみ |
| 6 | ディジタル放送、エラー検出 |
| 7 | インターネットのしくみ |
| 8 | ネットワークのしくみ |
| 9 | WWWと電子メール |
| 10 | 検索エンジンとインターネットサービス (SNS、Wikipedia) |
| 11 | 情報システム、電子商取引 |
| 12 | メディアリテラシー |
| 13 | コンピュータウィルス、情報漏漏洩 |
| 14 | 個人情報、知的財産権 |
| 15 | まとめ |

評価

授業中の小テストおよび提出物(50点)、期末テスト(50点)により評価し、60点以上を合格とする。 合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 井口磯夫「教養のためのコンピュータ概説」ムイスリ出版

人間と運動A 名 目 担当教員名 清水 文子、高橋 京子 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2 クラス 1Aクラス 開講期 前期 必修・選択の別 必修* 授業形態 位 数 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 資格関係 等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

物質的な豊かさと便利さをもたらしている文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。「スポーツ」は楽しみながら行なうことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲を持たなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標は次の6点です。

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係

人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進

生涯スポーツへの動機づけ

自身が福祉の現場へ出たときに、状況に応じた工夫ができるヒントを見つけて下さい。

内容

天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。出席カードを作成し、毎時間授業の感想を記入し提出。それを元に出席管理を行います。

| , v C . | ルに山市自住で刊れる。 |
|---------|-------------------------|
| 1 | オリエンテーション、からだほぐし運動 |
| 2 | 体力向上のためのエクササイズ(1)、仲間づくり |
| 3 | 体力向上のためのエクササイズ(2) |
| 4 | ボールを使った運動(1) |
| 5 | ボールを使った運動(2) |
| 6 | ボールを使った運動(3) |
| 7 | アスレチック体験 |
| 8 | ネット型ボールゲーム(1) |
| 9 | ネット型ボールゲーム(2) |
| 10 | ゴール型ボールゲーム(1) |
| 11 | ゴール型ボールゲーム(2) |
| 12 | 身体表現運動(1)・・・ダンスムーブメント |
| 13 | 身体表現運動(2) |
| 14 | 身体表現運動(3) |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

授業態度60点、実技テスト20点などを総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢 20点を重要視します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

初回授業の案内

初回授業は記念ホール入口に集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

| 科目名 | 人間と運動A | | | | |
|--------|--|----------------|---------|-------|----------------------------|
| 担当教員名 | 扇原 淳 | | | | |
| ナンバリング | | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | | | |
| 学 年 | 2 | ク | ラ | ス | 1Lクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・ | 選打 | の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教訓等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免詞 □種免許> | 許状 伏 | / 養護教 | 收諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習する.

学修目標

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツ の楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じる.

スポーツ活動による仲間づくりやチームづくりの手段と方法を理解する.

授業を通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになってほしい.

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数): イントロダクション(1), レクリエーションゲーム(2), ドッジビー(2), ティーボール(4), フィールドアスレチック(2), バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール 1 F)で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず

| 科目名 | 人間と運動A | | |
|--------|--|---------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 扇原 淳 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Kクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教訓等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護教 −種免許状 | 対諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習する.

学修目標

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツ の楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じる.

スポーツ活動による仲間づくりやチームづくりの手段と方法を理解する.

授業を通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになってほしい.

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数): イントロダクション(1), レクリエーションゲーム(2), ドッジビー(2), ティーボール(4), フィールドアスレチック(2), バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール 1 F)で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計 60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。?

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず

| 科目名 | 人間と運動A | | |
|--------|--|-----------------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 扇原 淳 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Jクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教訓等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護 វ −種免許状 | 收諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目である。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、生涯を通じた健康づくりとしてのスポーツの楽しみ方とその方法について学習する.

学修目標

様々なスポーツ種目を通して、自分の体をコントロールする感覚を、五感(嗅覚、視覚、触覚、聴覚、そして、「スポーツ の楽しさ・仲間と一緒に汗を流す楽しさを味わう」という意味での味覚)すべてで感じる.

スポーツ活動による仲間づくりやチームづくりの手段と方法を理解する.

授業を通じて「自分が楽しく、みんなが楽しく」なる時間・空間・仲間づくりが実践できるようになってほしい.

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数): イントロダクション(1), レクリエーションゲーム(2), ドッジビー(2), ティーボール(4), フィールドアスレチック(2), バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール 1 F)で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計 60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。?

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず

| 科目名 | 人間と運動A | | |
|--------|--|-----------------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 平田 智秋 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 10クラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護 វ −種免許状 | 收諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさや意味を,子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

これは心理学徒としての態度形成に確実に役立ちます。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は拡がる。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数):イントロダクション(1),レクリエーションゲーム(2),変形ドッジボール(2),ティーボール(4),フィールドアスレチック(2),バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール 1 F)で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,前期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計

60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが,身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の 構造を知るだけでも,運動に対する視点が柔軟になり,自然と自分(と自分の身体)が好きになります。

| 科目名 | 人間と運動A | | |
|--------|--|-----------------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 平田 智秋 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | クラス | 10クラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教訓等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護 វ −種免許状 | 牧諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目である。養護教諭免許取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1 年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさや意味を,子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに,自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

これは心理学徒としての態度形成に確実に役立ちます。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は拡がる。

幅広い人々と身体運動の楽しさを共有できるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数): イントロダクション(1), レクリエーションゲーム(2), 変形ドッジボール(2), ティーボール(4), フィールドアスレチック(2), バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール 1 F)で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,前期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計

60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが,身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の 構造を知るだけでも,運動に対する視点が柔軟になり,自然と自分(と自分の身体)が好きになります。

| 科目名 | 人間と運動A | | | |
|---|-------------|---------|-------|--|
| 担当教員名 | 山本 悟 | | | |
| ナンバリング | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Bクラス | |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* | |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 | |
| 資格関係 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | | | |

科目の性格

体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、体を動かすことのよさを子どもたちに伝えるための基礎知識を学ぶ場も提供する。

学修目標

身体を動かすことの楽しさを体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深めることができる。また、小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返ることもねらいとする。将来、指導現場に出た際、 状況に応じた工夫ができるようなヒントを見つけてほしい。

内容

児童教育学科の学生を対象にした「人間と運動」では、季節を考慮するとともに児童教育専攻に応じた運動種目を取り上げて実技中心の授業を実施する。授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲーム等を行い、その後で主要となる運動種目を学習する形式で進めていく。

1年次前期に開講する「人間と運動」では、『なわとび運動(長なわ)・器械運動・ボール運動・小学校の体育授業で扱う運動教材の復習』などを取り上げる。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。

第1週:オリエンテーション 第2~6週:器械運動・長なわとび 第7~10週:ボール運動

第11~14週:長なわパフォーマンス(創作・表現活動) 第15週 まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館 用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度)50%、ノート整理(提出2回)20%、試験またはレポート30%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】文部科学省 『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社(平成20年度版)

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

| 科目名 | 人間と運動A | | | |
|---|-------------|---------|-------|--|
| 担当教員名 | 山本 悟 | | | |
| ナンバリング | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Gクラス | |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* | |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 | |
| 資格関係 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | | | |

科目の性格

体育の実技科目であるが、教員免許取得に関する必修科目にもなっている。身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、体を動かすことのよさを子どもたちに伝えるための基礎知識を学ぶ場も提供する。

学修目標

身体を動かすことの楽しさを体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深めることができる。また、小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返ることもねらいとする。将来、指導現場に出た際、 状況に応じた工夫ができるようなヒントを見つけてほしい。

内容

児童教育学科の学生を対象にした「人間と運動」では、季節を考慮するとともに児童教育専攻に応じた運動種目を取り上げて実技中心の授業を実施する。授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲーム等を行い、その後で主要となる運動種目を学習する形式で進めていく。

1年次前期に開講する「人間と運動」では、『なわとび運動(長なわ)・器械運動・ボール運動・小学校の体育授業で扱う運動教材の復習』などを取り上げる。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。

第1週:オリエンテーション 第2~6週:器械運動・長なわとび 第7~10週:ボール運動

第11~14週:長なわパフォーマンス(創作・表現活動) 第15週 まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館 用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度)50%、ノート整理(提出2回)20%、試験またはレポート30%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】文部科学省 『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社(平成20年度版)

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

| 科目名 | 人間と運動A | | |
|--------|--|--------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 山本 悟 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Hクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護 □種免許状 | 教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目であるが、幼稚園教諭免許、保育士資格取得に関する必修科目にもなっている。身体運動を通して、コミュニケーションを図るとともに、大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し、2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ、入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに、体を動かすことのよさを子どもたちに伝えるための基礎知識を学ぶ場も提供する。

学修目標

身体を動かすことの楽しさを体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深めることができる。また、小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返ることもねらいとする。将来、指導現場に出た際、 状況に応じて工夫ができるようなヒントを見つけてほしい。

内容

幼児教育学科の学生を対象にした「人間と運動」では、季節を考慮するとともに児童教育専攻に応じた運動種目を取り上げて実技中心の授業を実施する。授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲーム等を行い、その後で主要となる運動種目を学習する形式で進めていく。

1年次前期に開講する「人間と運動」では、『なわとび運動(長なわ)・器械運動・ボール運動・幼稚園や小学校低学年で扱う運動教材の復習』などを取り上げる。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。

第1週:オリエンテーション 第2~6週:器械運動・長なわとび 第7~10週:ボール運動

第11~14週:長なわパフォーマンス(創作・表現活動) 第15週 まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館 用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度)50%、ノート整理(提出2回)20%、試験またはレポート30%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

| 科目名 | 人間と運動A | | |
|--------|--|--------------------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 平田 智秋 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Dクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教訓等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護 [−] 種免許状 | 改諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目である。幼稚園教諭免許、保育士資格取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさや意味を,子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

発達の途上にある幼児は,毎日毎日,この嬉しさを味わっている。その嬉しさに共感できる態度を作る。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても,ルールや用具を工夫することで,楽しめるスポーツの種類は拡がる。

現場に出たときに、状況に応じた工夫ができるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数): イントロダクション(1), レクリエーションゲーム(2), 変形ドッジボール(2), ティーボール(4), フィールドアスレチック(2), バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール 1 F)で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,前期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計

60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが,身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の 構造を知るだけでも,運動に対する視点が柔軟になり,自然と自分(と自分の身体)が好きになります。

| 科目名 | 人間と運動A | | |
|--------|--|--------------------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 平田 智秋 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Pクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教訓等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護 [−] 種免許状 | 改諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目である。幼稚園教諭免許、保育士資格取得に関する必修科目にもなっている。

身体運動を通じて、クラス内のコミュニケーションを図るとともに、

大学や学科への帰属意識を高め、4年間の学園生活に臨む修学態度の基礎を養う。

科目の概要

1年次前期に学科クラスごとに履修し,2~5週を単位に数種類の体育実技を行う。協同型および競争型のスポーツやレクリエーション活動を織り交ぜ,入学直後の学生が学科内の交流を深める機会を提供する。さらに身体を動かして遊ぶことの楽しさや意味を,子どもたちに伝えるための基礎知識も学ぶ。

学修目標

「身体を動かすことの楽しさ」を体感するとともに、自らと他者の身体についての気づきを深める。

また、「できなかったことができるようになる」嬉しさを多く味わう。

発達の途上にある幼児は,毎日毎日,この嬉しさを味わっている。その嬉しさに共感できる態度を作る。

最後に柔軟に「ゲームやルールの工夫」ができることを目標とする。

身体能力に制約があっても、ルールや用具を工夫することで、楽しめるスポーツの種類は拡がる。

現場に出たときに、状況に応じた工夫ができるようなヒントを見つけてほしい。

内容

授業は実技中心です。上手・下手は問いません。自ら進んで身体を動かして下さい。各種目は2~5週ずつ行います。種目 ごとに班を変えますので,多くの人と分け隔てなく協力し,友達を増やして下さい。

予定種目(カッコ内は予定回数): イントロダクション(1), レクリエーションゲーム(2), 変形ドッジボール(2), ティーボール(4), フィールドアスレチック(2), バレーボール(4)。

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

<初回授業の案内>

初回授業はサブアリーナ(記念ホール 1 F)で行います。運動できる格好で,体育館シューズを用意すること。また,なるべくカラフルな筆記用具を持参して下さい。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,前期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計

60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】バーバラ・コナブル 『音楽家ならだれでも知っておきたい「からだ」のこと』 誠信書房

演奏家向けの本ですが,身体が動く仕組みが「図入りで分かりやすく」書いてあります。自分の身体に備わる筋肉と骨格の 構造を知るだけでも,運動に対する視点が柔軟になり,自然と自分(と自分の身体)が好きになります。

| 科目名 | 人間と運動 B |
|--------|---|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | ク ラ ス 2Aクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

物質的な豊かさと便利さをもたらしている文明社会は人々の心やからだに様々な弊害をもたらしている。

現代社会が生むストレスや運動不足からくる生活習慣病の増大等は、身体活動を実践することで解消することを理解する。「スポーツ」は楽しみながら行なうことであり、「真の楽しさ」を体験するにはどうしたらよいかを考え、工夫し自ら進んで実践する意欲を持たなければならない。その結果、健康や体力の増進、技術上達等を各人が体験し、生涯スポーツへの橋渡しとなる授業をねらいとする。

学修目標

グループ活動の実施 リーダーシップの育成 幅広い交友関係 人間性・感受性を豊かにする 学生生活の活性化および活力増進 生涯スポーツへの動機づけ

内容

ハンドボールを中心に様々な競技を体験し、充分な運動量を確保します。天候や施設状況によって、授業内容が変わることがあります。毎時間感想を記入しそれを元に出席管理を行います.

| 1 | オリエンテーション、からだほぐし運動 |
|----|-------------------------------|
| 2 | ボール慣らし(1) |
| 3 | ボール慣らし(2) |
| 4 | シュート練習(1)・・・ステップシュート、ジャンプシュート |
| 5 | シュート練習(2) |
| 6 | コンビネーション練習・・・連係プレーからシュートまで |
| 7 | ゲーム (1) |
| 8 | ゲーム(2) |
| 9 | ゲーム(3) |
| 10 | ゲーム(4) |
| 11 | ゴール型ボールゲーム(1) |
| 12 | ゴール型ボールゲーム(2) |
| 13 | ゴール型ボールゲーム(3) |
| 14 | ゴール型ボールゲーム(4) |
| 15 | まとめ |

評価

授業態度60点、実技テスト20点など総合的に評価しますが、積極的に授業に参加し、スポーツを楽しもうとする姿勢2 0点を重要視します。

初回授業の案内

初回授業は記念ホール入口に集まってください。運動ができる服装で、運動靴を準備してください。また、出席カードを作成しますので筆記用具・顔写真も忘れず準備してください。

私物(靴・手荷物)はすべて実施場所へ持参してください。

| 科目名 | 人間と運動B |
|--------|---|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | ク ラ ス 2Pクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

リズムエクササイズ(リズムに合わせた運動)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

リズムに合わせた運動をだんだんダンス的に動いたり、

トレーニング的に動くなどして、

からだを引き締めるようにする等、

様々なダンス的身体運動へのアプローチをして行く。

第1週目 オリエンテーション

第2? 5週目 リズムエクササイズ

第6? 7週目 トレーニング的エクササイズ

第8? 10週目 リズムムーブメント

第11?13週目 ダンスムーブメント

第14?15週目 まとめ

からだの変化も見るために本人の希望により、測定を入れる可能性もある。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

| 科目名 | 人間と運動 B |
|--------|---|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | ク ラ ス 2Mクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

科目の性格

体育実技科目であり,受講生それぞれの意欲や興味,能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

ラケットスポーツ(主にテニス、卓球)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

毎回、

W-upはリズムに合わせて行う。

C?dnはストレッチかマッサージのいずれかを行える範囲で行う。

第1週目 オリエンテーション

第2? 7週目 テニス中心

第8週目 トレーニング的エクササイズ

第9? 14週目 卓球中心

第15週目 まとめ

いずれも、できない人は、ゲームができるようになるまで、

できる人は、より上達するように行うことを目標とする。

それぞれが練習方法の工夫により、

高め合えるような手法を考えながら進めて行く。

受講者数などにより、内容が変更される場合もある。

運動の際の服、靴などは必ずふさわしいものを着用しなければ出席と認めない。

15分以上遅れた場合は欠席とする。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、毎回のまとめ記入30%、実技テスト10%とし、総合的に評価する。忘れものは減点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で適宜指示する。

| 科目名 | 人間と運動 B | | |
|--------|--|-----------------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 坪倉 紀代子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Jクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教訓等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護 教 −種免許状 | 收諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

身体運動(ゲーム&リズム)

科目の性格

体育実技科目である。受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた"身体を動かすことの楽しさ"を見つけることを支援する中で、学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で、身体運動の楽しさを共有する。身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にしていきたい。

科目の概要

誰でもができる基本的な運動を様々な方法で行うことにより、自分自身のからだの現状を認識し、体力の維持・増進を図り、且つ"遊び"や"気晴らし"としての運動を意識的に自身の生活の中で利用できるようにする。さらに相手の力や体重を利用する、同一のリズムを共有するという体験から仲間との交流・コミュニケーションを図るねらいもあわせもつものである。

学修目標

- ・身体運動を通じてクラスの仲間との円滑なコミュニケーションをはかる
- ・自身のからだ及び仲間のからだに対する変化を敏感にキャッチできるようになる
- ・からだを動かすことの楽しさを発見する

内容

第1回:ガイダンス(平服にて筆記用具持参)

第2回~第5回

- ・仲間づくりゲーム、じゃんけんゲーム、手合わせゲーム、身辺材料を利用したゲーム等を通じて楽しみながら身体を動かし、心とからだをほぐす。小筋運動から大筋運動へ、少人数から多人数へとゲームを発展させながら仲間とのコミュニケーションを図る。
- ・フォークダンス(パティケーク・ポルカ、タンゴ・ミクサー)

第6回~第8回

- ・背骨のローリング運動を中心に、体側、大腿等のストレッチングを組み合わせた一連のリズミカルな運動を習得する。
- ・フォークダンス(ネリーグレイ・ミクサー、ロード・トゥ・ディ・アイルス)

第9回~第12回

- ・二人組の運動をもとに身体の器用性、協応性、柔軟性、バランス感覚への刺激をねらいに、相手の体重や力を利用しなが ら、二人で協力して行う一連のリズミカルな運動を習得する。
- ・フォークダンス(ルムバミクサー、ヒンキー・ディンキー・パーリーブ)

第13・14回

・身体各部位の筋力アップの運動、及びストレッチングとリズムエクササイズ

第15回

まとめ

評価

積極的に仲間とともに動き、その体感を得ることが重要となる。グループワークにおける貢献度、授業への積極性などの平常点(50%)、毎回の授業における自身の理解度、到達度、気付きに関するコメント表の作成とまとめのレポート作成(50%)。三分の二以上出席することで評価を受けることができる。合格点に満たなかった場合は再試験を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず。

| 科目名 | 人間と運動 B | | | | |
|--------|--|------------|-----------|-------|----------------------------|
| 担当教員名 | | | | | |
| ナンバリング | | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | | | |
| 学 年 | | ク | ラ | ス | 2Hクラス |
| 開講期 | 业 | 必修・ | 選折 | の別 | |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種 | 種免詞 免許物 | 午状 . 犬 | / 養護教 | 收諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年を超えた多彩なクラス編成で、身体活動の楽しさを共有するとともに、身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

個人で行う運動領域に関する実技を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・器械運動・なわとび等を3~8週間を単位にして行う。

学修目標

クラス内の交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけるとともに、スポーツを通して獲得した内容を他者に伝えるなど、幅広 く活用できることもねらいとする

内容

「身体運動2H」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」・「器械運動(鉄棒・マット・跳び箱)」・「なわとび運動」に取り組んでみる。つまり、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを繰り返し、運動技能を向上させる経験を重ねていくのである。このような技能を「クローズド・スキル」と称している。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が 重要になる。将来、教職を希望する者に、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲームなどを行い、その後で主要となる運動種目(ゴルフ、器械運動など)を学習する形式で進めていく。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。天候に応じて、ゴルフの代わりにバドミントン等を行う場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2~9週:ゴルフ(基礎技術 ショートゲーム)・鉄棒運動

第10~14週:マット運動・跳び箱運動・短なわとび(基礎技術 技の創作表現活動)

第15週 : まとめ(発表会)

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。 履修人数の上限を50名程度とする。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度)50%、ノート整理(提出2回)30%、レポート20%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】織田淳太郎『コーチ論』光文社新書

人間と運動 B 目 名 担当教員名 山本 悟 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ク ラ ス 2Gクラス 2 必修・選択の別 必修* 開講期 後期 授業形態 単 位 数 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 資格関係 等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年を超えた多彩なクラス編成で、身体活動の楽しさを共有するとともに、身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

個人で行う運動領域に関する実技を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・器械運動・なわとび等を3~8週間を単位 にして行う。

学修目標

クラス内の交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけるとともに、スポーツを通して獲得した内容を他者に伝えるなど、幅広 く活用できることもねらいとする

内容

「身体運動2G」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」・「器械運動(鉄棒・マット・跳び箱)」・「なわとび運動」に取り組んでみる。つまり、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを繰り返し、運動技能を向上させる経験を重ねていくのである。このような技能を「クローズド・スキル」と称している。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が 重要になる。将来、教職を希望する者に、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲームなどを行い、その後で主要となる運動種目(ゴルフ、器械運動など)を学習する形式で進めていく。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。天候に応じて、ゴルフの代わりにバドミントン等を行う場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2~9週:ゴルフ(基礎技術 ショートゲーム)・鉄棒運動

第10~14週:マット運動・跳び箱運動・短なわとび(基礎技術 技の創作表現活動)

第15週 : まとめ(発表会)

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。 履修人数の上限を50名程度とする。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度)50%、ノート整理(提出2回)30%、レポート20%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】織田淳太郎『コーチ論』光文社新書

人間と運動 B 目 名 担当教員名 山本 悟 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ク ラ ス 2Bクラス 2 開講期 後期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 資格関係 等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。そして学科や学年を超えた多彩なクラス編成で、身体活動の楽しさを共有するとともに、身体運動を通じて学科間、学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

個人で行う運動領域に関する実技を継続的に実施する。具体的には、ゴルフ・器械運動・なわとび等を3~8週間を単位 にして行う。

学修目標

クラス内の交流を通じて、実技で扱う種目の技能を高め、生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。また、自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけるとともに、スポーツを通して獲得した内容を他者に伝えるなど、幅広 く活用できることもねらいとする

内容

「身体運動2B」では、自らの身体を自由に動かす技能を高めることをテーマにして、「ゴルフ」・「器械運動(鉄棒・マット・跳び箱)」・「なわとび運動」に取り組んでみる。つまり、ある一定の動きや技ができるようになるプロセスを繰り返し、運動技能を向上させる経験を重ねていくのである。このような技能を「クローズド・スキル」と称している。

こうした活動を繰り返すことにより、目標とする動作がいつも同じタイミングやテンポでできるようになっていく。それには、動作のコツやポイントを探しながら考えて運動する習慣を身につけたり、仲間の運動の様子を観察したりする活動が 重要になる。将来、教職を希望する者に、指導することの意味を考える機会が提供できると考えている。

授業の始めには、準備運動と体力づくりを意図した体操やゲームなどを行い、その後で主要となる運動種目(ゴルフ、器械運動など)を学習する形式で進めていく。また、準備運動の指導を輪番制で担当する活動も設定する。天候に応じて、ゴルフの代わりにバドミントン等を行う場合がある。

第1週 : オリエンテーション

第2~9週:ゴルフ(基礎技術 ショートゲーム)・鉄棒運動

第10~14週:マット運動・跳び箱運動・短なわとび(基礎技術 技の創作表現活動)

第15週 : まとめ(発表会)

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館用の2種類の靴を用意すること。見学者も運動着に着替えて出席すること

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。 履修人数の上限を50名程度とする。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度)50%、ノート整理(提出2回)30%、レポート20%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】織田淳太郎『コーチ論』光文社新書

| 科目名 | 人間と運動B |
|--------|---|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | ク ラ ス 2Lクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

科目の性格

この授業では,様々なスポーツ活動の場面で要求されるストレッチや補強運動の基本的理論とその実際について学習する. 科目の概要

パフォーマンスを高めるあるいは怪我や事故の予防のための準備運動,ストレッチ,自重を使ったウエイトトレーニング, 器具を用いたウエイトトレーニング,SAQトレーニング,サーキットトレーニング等について理論と具体的な実践方法に ついて学習する.

学修目標

- ・怪我や事故を予防するための準備運動を説明できる.
- ・各トレーニング種目に関する正しいフォームを説明できる.
- ・各ストレッチ種目に関する正しいフォームを説明できる.
- ・対象者と目的に応じたサーキットトレーニングを説明できる.

内容

- 第 1 回:オリエンテーション(準備運動種目の説明等)
- 第 2 回:補強運動の基本的理論とその実際
- 第 3 回: PNFストレッチ, ダイナミックストレッチ, スタティックストレッチ
- 第 4 回:自重を使ったウエイトトレーニング(1)
- 第 5 回:自重を使ったウエイトトレーニング(2)
- 第6回:器具を使ったウエイトトレーニング(1)
- 第7回:器具を使ったウエイトトレーニング(2)
- 第8回:器具を使ったウエイトトレーニング(3)
- 第9回:チューブトレーニング(1)
- 第 10 回:チューブトレーニング(2)
- 第 11 回:サーキットトレーニング(1)
- 第 12 回:サーキットトレーニング(2)
- 第 13 回:SAQトレーニング(1)
- 第 14 回: SAQトレーニング(2)
- 第 15 回:まとめ

天候と進度,人数に応じて授業内容や順序を変更します。天候によってグランドか体育館を使いますので,毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意して下さい。また,前後に名前をはっきり書いたゼッケンを毎回着用すること(ゼッケンの作り方を初回授業で案内しますので,2回目の授業までに用意して下さい)。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と、自らの気付きを記入する欄があるので、後期の

間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計 60%以上を合格とする。なお,平常点においては授業への参加態度を重視する。なお,欠席が4回を超える場合には評価 の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。 ?

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず

| 科目名 | 人間と運動 B | | |
|--------|--|--------------------|-------------------------|
| 担当教員名 | 扇原 淳 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Kクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭- | 俞一種免許状/養護 −種免許状 | 教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高 |

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー,バレー,バスケなど)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

この授業では,集団球技を中心に実技を進める。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。 まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば,チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて,独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型:サッカー,バスケットボール,ホッケー
- ・ネット型:バレーボール
- ・ベースボール型:ティーボール
- ・混合型:ドッジボール

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め,チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず

人間と運動 B 目 名 科 担当教員名 平田 智秋 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 3.4 ク ラ ス 2Qクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 資格関係 等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー,バレー,バスケなど)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。「身体運動2Q」と同時開講科目である。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。 まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば,チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて,独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。 このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて,自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型:サッカーやバスケットボール,アルティメット
- ・ネット型:インディアカやバレーボール,
- ・混合型:ドッジボールやジャグリング,

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め,チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)。

| 科目名 | 人間と運動 B |
|--------|---|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | ク ラ ス 2Nクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー,バレー,バスケなど)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。「身体運動2N」と同時開講科目である。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。 まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば,チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて、独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。

このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて、自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型:サッカーやバスケットボール,アルティメット
- ・ネット型:インディアカやバレーボール,
- ・混合型:ドッジボールやジャグリング,

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)。

| 科目名 | 人間と運動 B |
|--------|---|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | ク ラ ス 2Dクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

科目の性格

体育実技科目であり,受講生それぞれの意欲や興味,能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー,バレー,バスケなど)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。「身体運動2D」と同時開講科目である。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。 まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば,チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて,独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。 このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて,自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型:サッカーやバスケットボール,アルティメット
- ・ネット型:インディアカやバレーボール,
- ・混合型:ドッジボールやジャグリング,

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)。

| 科目名 | 人間と運動 B | | | | |
|---|-------------|-----|-----|----|-------|
| 担当教員名 | | | | | |
| ナンバリング | | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | | | |
| 学 年 | | ク | ラ | ス | 20クラス |
| 開講期 | | 必修。 | ・選扎 | の別 | |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | |
| 資格関係 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 | | | | | |

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー,バレー,バスケなど)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

集団球技を中心に実技を進める。「身体運動2C」と同時開講科目である。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。 まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば,チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて,独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。 このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて,自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型:サッカーやバスケットボール,アルティメット
- ・ネット型:インディアカやバレーボール,
- ・混合型:ドッジボールやジャグリング,

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め、チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

特に指定なし(必要に応じて推薦書を授業内に紹介)。

| 科目名 | 人間と運動 B |
|--------|---|
| 担当教員名 | |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | ク ラ ス 2Rクラス |
| 開講期 | 必修・選択の別 |
| 授業形態 | 単位数 |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状 |

科目の性格

体育実技科目であり、受講生それぞれの意欲や興味、能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つけることを支援する。

そして学科や学年の枠を超えた多彩なクラス編成で,身体運動の楽しさを共有する。

身体運動を通じて学科間,学年間の交流を促す機会にもしたい。

科目の概要

集団球技(サッカー,バレー,バスケなど)を中心とした実技を,3~5週を単位に継続的に行う。

学修目標

クラス内での交流を通じて,実技で扱う種目の技能を高め,生涯を通じて運動に親しむ素地を養う。 また,自らの意欲・能力に応じた「身体を動かすことの楽しみ」を見つける。

内容

この授業では,集団球技を中心に実技を進める。

集団球技はゲームであり、勝敗がつく。勝つと嬉しいし、負けると悔しい。 まずはこの身体から湧き出るリアルな感情を味わう。

そして集団球技にはチームメイトと対戦相手が要る。

ゲームでの勝敗を「結果」とすれば,チームメイトや対戦相手とのやり取りは「過程」である。

この科目ではこの「過程」を重視する。

身体を使ったチームメイトや対戦相手との交流を通じて,独自の創意工夫や楽しみ方を見つけてほしい。 このようなクラスメイトとの協同・競争を通じて,自分や他人を尊重する態度が養われると考える。

予定している種目は以下の通りである。履修者の人数や意欲・希望に応じて種目を選択する

- ・陣取り型:サッカー,バスケットボール,ホッケー
- ・ネット型:バレーボール
- ・ベースボール型:ティーボール
- ・混合型:ドッジボール

これらの中から3~4種目を5週を単位に継続する。

ゲームを主体に実技を進め,チームでの話し合いにも時間を割く。

履修人数の上限を50名程度とする。

毎週,グランド用,体育館用2種類の靴を用意すること。

評価

初回授業でこの科目のワークブックを配布する。これに毎回の実技内容と,自らの気付きを記入する欄があるので,後期の間に最低3回は提出する。ワークブック50%と平常点50%(実技に対する意欲・関心・態度)を総合して評価し,合計60%以上を合格とする。なお,平常点においては実技への参加態度を重視し,技能レベルや勝敗,記録での評価はしない。なお,欠席が4回を超える場合には評価の対象としないので注意すること。また遅刻は2回で欠席1回分に数える。?

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず

| 科目名 | 人間と運動 B | | | | |
|--------|--|------------|---------|-------|----------------------------|
| 担当教員名 | | | | | |
| ナンバリング | | | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | | | |
| 学 年 | | ク | ラ | ス | 2Sクラス |
| 開講期 | | 必修 | ・選技 | 尺の別 | |
| 授業形態 | | 単 | 位 | 数 | |
| 資格関係 | 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一 | 一種免 種免許 | 許状 状 | / 養護教 | 收諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 |

科目の性格

体育の実技科目ではあるが、保育士資格・幼小教諭免許取得に必要な科目であるために、一般的なスポーツ種目に加えて 、小学校の学習教材とされている運動についても学ぶことにする。

科目の概要

1年次に履修した体育にかかわる科目(運動と健康、子どもと運動)の学びと2年次前期に学んだ「初等体育科指導法」の学びを踏まえて、小学校教諭として身につけるべき体育実技と指導技術に関する能力を高めるための授業を展開する。

学修目標

これまで小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返るとともに、指導することを踏まえた運動やスポーツとのかかわり方および捉え方の基本を身につけることをねらいとする。

内容

「人間と運動 A・B」と科目名では前、後期に分かれた設定になっているが、児童教育専攻学生を対象にする場合には2年間にわたって指導を実施する。授業は実技中心で行い、季節および児童教育専攻の特性を考慮して取り扱う運動種目を設定する。

2年生後期に開講する「人間と運動 B」では、『なわとび運動(短なわ)・器械運動・陸上運動・ネット型ボール運動』などを取り上げるとともに、小学校で学ぶ運動教材を題材にして模擬的な指導体験活動を組み込む予定である。

第1週:オリエンテーション 第2~6週:なわとび・器械運動 第7~10週:模擬授業体験

第11~14週:ソフトバレーボール 第15週:まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館 用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度等)50%、ノート整理(提出2回)20%、試験またはレポート30%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】文部科学省 『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社(平成20年度版)

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

人間と運動 B 名 目 担当教員名 山本 悟 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ク ラ ス 2Tクラス 必修・選択の別 必修* 開講期 後期 授業形態 単 位 数 保育士資格/健康運動実践指導者/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高 資格関係 等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

体育の実技科目ではあるが、保育士資格・幼小教諭免許取得に必要な科目であるために、一般的なスポーツ種目に加えて 、小学校の学習教材とされている運動についても学ぶことにする。

科目の概要

1年次に履修した体育にかかわる科目(運動と健康、子どもと運動)の学びと2年次前期に学んだ「初等体育科指導法」の学びを踏まえて、小学校教諭として身につけるべき体育実技と指導技術に関する能力を高めるための授業を展開する。

学修目標

これまで小・中・高校と学習してきた「体育」という教科についての考え方を振り返るとともに、指導することを踏まえた運動やスポーツとのかかわり方および捉え方の基本を身につけることをねらいとする。

内容

「人間と運動 A・B」と科目名では前、後期に分かれた設定になっているが、児童教育専攻学生を対象にする場合には2年間にわたって指導を実施する。授業は実技中心で行い、季節および児童教育専攻の特性を考慮して取り扱う運動種目を設定する。

2年生後期に開講する「人間と運動 B」では、『なわとび運動(短なわ)・器械運動・陸上運動・ネット型ボール運動』などを取り上げるとともに、小学校で学ぶ運動教材を題材にして模擬的な指導体験活動を組み込む予定である。

第1週:オリエンテーション 第2~6週:なわとび・器械運動 第7~10週:模擬授業体験

第11~14週:ソフトバレーボール 第15週:まとめ

授業ノートは、「毎回の授業内容、活動(ゲームや試合)の記録や成績、運動のコツやポイント、授業の感想」という4つの観点からまとめることにする。

天候や授業の進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)とを使い分けて授業を実施するため、グランド用と体育館 用の2種類の靴を用意すること。

毎時間、授業ノート(ルーズリーフ不可)と筆記具を用意すること。

見学者も運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度等)50%、ノート整理(提出2回)20%、試験またはレポート30%による評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】文部科学省 『小学校学習指導要領解説 体育編』 東洋館出版社(平成20年度版)

【推薦書】筑波大学附属小学校体育部 『子どもが力をつける体育授業』 不昧堂出版

 科目名
 ニュースポーツA

 担当教員名
 山本 悟

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス

 開講期前期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数1

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

2~4年次生向けに設定する体育実技科目である。1年次の「人間と運動」および「運動と健康」で学んだ運動やスポーツの効用、特に健康づくりに向けて身体を動かす習慣を実践的に身につける意味でも有効な科目となる。

科目の概要

学校体育で習得してきた運動やスポーツに加えて、新しいスポーツ種目にも挑戦し、運動技能やスポーツに対する考え方の幅を広げる。

学修目標

本授業では、これまでの体育やスポーツに対する固定化された概念や考え方を捉え直すことを中核にして、生涯を通じて 運動を継続していくための手掛かりや能力の獲得をねらいとする。

内容

「ニュースポーツA」は前期、「ニュースポーツB」は後期設定という形式になっているが、年間を通して実技を中心に 授業を構成して進める予定である。

従って、季節を考慮したり受講学生の意見を生かしたりしながら取り扱う運動種目を決定して、身体を動かすことの楽しさや意味を考え直す活動を仕組んでいく。また、授業運営に参画して、仲間を楽しませたり指導したりする活動も組み込むことにする。

前期に開講する「ニュースポーツA」では、『ゴルフ・卓球・フリンゴ』などを取り上げて授業を実施する。また、トピック的に学外のスポーツ施設を活用する活動、受講者数に応じてボールゲーム等のチームスポーツを行う予定である。

第1週:オリエンテーション 第2~6週:ゴルフ 第7~10週:卓球 第11~14週:フリンゴ 第15週:授業のまとめ(学外活動の予定)

天候や進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)を分けて使うため、グランド用と体育館用の 2 種類の靴を用意すること。

見学者も必ず運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、ノート整理20%、レポート20%として総合的に評価し、6 0点以上を合格とする。ノートは「毎回の授業内容や活動の記録、授業の感想」という2つの観点から整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】重松清 「スポーツを『読む』」 集英社新書

 科目名
 ニュースポーツB

 担当教員名
 山本 悟

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

2~4年次生向けに設定する体育実技科目である。1年次の「人間と運動」および「運動と健康」で学んだ運動やスポーツの効用、特に健康づくりに向けて身体を動かす習慣を実践的に身につける意味でも有効な科目となる。

科目の概要

学校体育で習得してきた運動やスポーツに加えて、新しいスポーツ種目にも挑戦し、運動技能やスポーツに対する考え方の幅を広げる。

学修目標

本授業では、これまでの体育やスポーツに対する固定化された概念や考え方を捉え直すことを中核にして、生涯を通じて 運動を継続していくための手掛かりや能力の獲得をねらいとする。

内容

「ニュースポーツA」は前期、「ニュースポーツB」は後期設定という形式になっているが、年間を通して実技を中心に 授業を構成して進める予定である。

従って、季節を考慮したり受講学生の意見を生かしたりしながら取り扱う運動種目を決定して、身体を動かすことの楽しさや意味を考え直す活動を仕組んでいく。また、授業運営に参画して、仲間を楽しませたり指導したりする活動も組み込むことにする。

後期に開講する「ニュースポーツB」では、『ゴルフ・ペタンク・バドミントン』などを取り上げて授業を実施する。また、トピック的に学外のスポーツ施設を活用する活動、受講者数に応じてボールゲーム等のチームスポーツを行う予定である。

第1週:オリエンテーション 第2~6週:ゴルフ 第7~10週:ペタンク

第11~14週:バドミントン 第15週:授業のまとめ(学外活動の予定)

天候や進度に応じて、グランドと体育館(アリーナ)を分けて使うため、グランド用と体育館用の 2 種類の靴を用意すること。

見学者も必ず運動着に着替えて出席すること。

評価

平常点(授業に対する意欲、関心、態度を含む)60%、ノート整理20%、レポート20%として総合的に評価し、6 0点以上を合格とする。ノートは「毎回の授業内容や活動の記録、授業の感想」という2つの観点から整理する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】重松清 「スポーツを『読む』」 集英社新書

| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
|--------|---------------------------------|-------------|----------------------|
| 担当教員名 | 大理 奈穂子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | クラス | 1Tクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一一種免許状 | −種免許状 / 高等学 | 校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル(初級・中級・上級)のうちの上級クラスです。昨年度の英語 A (講読)の単位が取れなかった学生は、昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。 さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

英語 A (講読)では、入学時のプレイスメントテストにより3 レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて、短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身につけるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習、復習を必ず行ってください。

- ・文の基本要素
- ·be動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ·一般動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ·wh疑問文
- ・名詞、冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文、否定文、疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞、副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・一般疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)期末試験: 60%

(2)平常点: 40%(単語テスト〔毎週〕、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:Timothy Kiggell and Katsuhiko Muto 『Prism -violet-』 (MacMillan Language House)

| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
|--------|------------------------------------|--------------|-----------------------|
| 担当教員名 | 浮岳 靖子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Rクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教訓 一種免許状 | 俞一種免許状 / 高等等 | 学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル(中級・上級)のうちの中級クラスです。昨年度の英語IAの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な文章を読み取る力、単語や短文を聞き取る力、また学習した文法内容を生かし短文を書く力を養成します。

英語IAでは、入学時のプレイスメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは主に、語彙力、リーディング(英文の読み取り)、ライティング(英文法の理解をふまえた上での英作文)の力を習得し、総合的に英語力を養います。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

リーディングの学習箇所は毎回の授業で指示します。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳して くることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- 1 Introduction ~ 単語・品詞(Chapter 1)
- 2 文の成分 (Chapter 2)
- 3 名詞・代名詞 (Chapter 3)
- 4 動詞 (Chapter 4)
- 5 時制 (Chapter 5)
- 6 時制 [完了形] (Chapter 5)
- 7 形容詞・副詞(Chapter 6)
- 8 感嘆文(Chapter 7)
- 9 比較(Chapter 8)
- 10 比較 (2) (Chapter 8)
- 11 接続詞・前置詞(Chapter 9)
- 12 助動詞(Chapter 10)
- 13 否定文・疑問文(Chapter 11)
- 14 Chapter & 11のまとめ
- 15 前期のまとめ

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験: 60%

(2) 平常点: 40% (毎回の単語テスト、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》角岡賢一ほか著、『Fundamental Grammar and Vocabulary (大学生のための基本英文法と必修英単語)』(成美堂)

英語 A (講読) 目 名 担当教員名 佐藤 里野 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ク ラ ス 1Sクラス 開講期 必修・選択の別 必修* 前期 授業形態 単 位 数 1 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル(中級・上級)のうちの中級クラスです。昨年度の英語1Aの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

英語1Aでは、入学時のプレイスメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法を確認していきます(順不同)。

- 1.文の基本要素 2.be動詞(平叙文・否定文・疑問文) 3.一般動詞 (平叙文・否定文・疑問文)
- 4.wh疑問文 5.名詞・冠詞 6.代名詞 7. 進行形 (平叙文・否定文・疑問文) 8.助動詞
- 9. 形容詞・副詞 10. 比較 11. 命令文 12. 接続詞 13. 関係代名詞 14. 接続詞 15. 不定詞
- 16. 分詞 17. 動名詞 18. 受動態 19. 完了形 20. 前置詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定の教科書のユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

第1週 Introduction 第2週~第3週 September 11 第4週~第5週 Beyond "September 11"

第6週~第7週 The Stone Walk; for the Civilian Victims in War

第8週~第9週 Japan and My family 第10週~第11週 The Japan that I

Love 第12週~13週 Paper Sculpture 第14週 The Tour of the Paper Sculpture Exhibition 第15週 まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験:60パーセント

(2) 平常点: 40 パーセント(単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(食栄中級クラス)

【教科書】前川智子著 『Peace Talk: Improve your reading skills and vocabulary』開文社

【参考図書・辞書等】授業で適宜紹介します。

科 目 名 英語 A (講読)

担当教員名 宮本 正治

ナンバリング

学 科 人間生活学部-共通科目

学 年 2 / 1Dクラス

開講期前期 が修・選択の別 必修*

授業形態 単位数 1

資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では英文を正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を学び、辞書を引けば大筋の内容がわかることを目指します。 後期は、その知識を利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週:ガイダンス

第2週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第3週:テキストの精読 および資料による内容確認:構文プリント

第4週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第5週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第6週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第7週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第8週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第9週:テキストの精読 および資料による内容確認:構文プリント

第10週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第11週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第12週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第13週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第14週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト

第15週:まとめ

評価

参加態度40%

定期試験60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
|---|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 島村 豊博 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Jクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 一種免許状 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

学修目標

外国語 I (英語)では、入学時のプレイスメントテストにより 3 レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この1Jクラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ·be動詞(平叙文·否定文·疑問文)
- ・一般動詞(平叙文・否定文・疑問文)
- ·wh疑問文
- ・名詞・冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文・否定文・疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞・副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞

- ・疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 園城寺康子他 Quality of Life (現代人と社会環境) 南雲堂 1700円 参考書、辞典等 授業で適宜紹介します。 科 目 名 英語 A (講読)

担当教員名 宮本 正治

ナンバリング

学 科 人間生活学部-共通科目

学 年 2 クラス 1Fクラス

開講期前期 必修・選択の別 必修*

授業形態 単位数 1

資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では英文を正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を学び、辞書を引けば大筋の内容がわかることを目指します。 後期は、その知識を利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週:ガイダンス

第2週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第3週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第4週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第5週:テキストの精読 および資料による内容確認:構文プリント

第6週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第7週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第8週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第9週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第10週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第11週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第12週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト;構文プリント

第13週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント

第14週:テキストの精読 および資料による内容確認;構文プリント 確認テスト

第15週:まとめ

評価

参加態度40%

定期試験60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
|---|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 榊原 理枝子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Gクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 一種免許状 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(1)科目の性格

2010年度以前に入学し、英語IA(購読)を再履修する学生さんのための科目で、 3 レベルのうちの中級クラスです。昨年度のクラスレベルにしたがって登録してください。

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

(2)科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力 、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(3)学修目標

外国語 I (英語)/英語 IA(購読)では、入学時のプレイスメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週~第13週

- (1)英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型の確認をはじめとして、基本的な文法知識を復習、整理するところから始めます。たとえばbe動詞、一般動詞、基本時制などを使いこなして日常レベルの英語運用力を付けてもらいます。 また、それらの文法的な知識を使って英文を正しく読解する力を付けてもらいます。
- (2) 習熟度や関心に応じて、適宜プリントを利用することもあります。
- (3) 彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した 文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

第14週・第15週

まとめ・総復習・・・定期試験の返却、解説もします。今後の学習の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期試験: 60%

(2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習復習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) Hickling、市川『Reading Sense:大学英文法と読解の基本演習』(金星堂)(税別2000円)(フジショップ扱い)その他プリント。

英語 A (講読) 科目名 担当教員名 向後 朋美 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ク ラ ス 1Hクラス 2 開講期 前期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 ·種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル(初級・中級・上級)のうちの中級クラスです。昨年度の英語IAの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

英語IAでは、入学時のプレイスメントテストにより3レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

| ` . | 日のに入る様が返る日間があるとのう程では、日本日に大いとう行うとくだという。 |
|-----|--|
| 1 | 動詞・リーディング |
| 2 | 名詞・リーディング |
| 3 | 冠詞・代名詞・リーディング |
| 4 | 1~3のまとめとリーディング |
| 5 | 形容詞・リーディング |
| 6 | be動詞・リーディング |
| 7 | 副詞・リーディング |
| 8 | 5 ~ 6 のまとめとリーディング |
| 9 | 句と節・リーディング |
| 10 | 助動詞・リーディング |
| 11 | 9~10のまとめとリーディング |
| 12 | 時制・リーディング |
| 13 | 進行形・リーディング |
| 14 | 12~13のまとめとリーディング |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験: 60%

(2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(中級クラス)藤井哲郎(2007), First Things First, MacMillan Languagehouse, 1890円.

+ リーディング用プリントは別途授業内で配布します

英語 A (講読) 科 目 名 担当教員名 榊原 理枝子 ナンバリング 学 科 人間生活学部-共通科目 年 学 ク ラ ス 1Eクラス 2 開講期 必修・選択の別 必修* 前期 授業形態 单 位 数 1 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(1)科目の性格

2010年度以前に入学し、英語IA(購読)を再履修する学生さんのための科目で、 2 レベルのうちの上級クラスです。昨年度のクラスレベルにしたがって登録してください。

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

(2)科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力 、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

(3)学修目標

外国語 I (英語)/英語 IA(購読)では、入学時のプレイスメントテストにより 2 レベルのクラスを編成し、英文法の総 復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に 加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週~第13週

- (1)英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、品詞、時制などの基本的文法事項を確認し、英語 運用力を養成してもらいます。また、それらの文法的な知識を使って英文を正しく読解する力を付け、将来の勉強や仕事に 役立つ英語力を身に付ける素地を作ってもらいます。
- (2)習熟度や関心、必要に応じて、適宜プリントを利用することもあります。
- (3)語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

第14週・第15週・・・まとめ・総復習

定期試験の返却、解説もします。今後の学習の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習復習、課題提出

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書)北山、Yamanaka、福井『English Makeover:リーディングのための英文法演習』(成美堂)(税別1800円)(フジショップ扱い)その他プリント。

英語 A (講読) 名 科 目 担当教員名 浮岳 靖子 ナンバリング 科 学 人間生活学部-共通科目 学 年 2 クラス 10クラス 開講期 前期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル(中級・上級)のうちの中級クラスです。昨年度の英語IAの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な文章を読み取る力、単語や短文を聞き取る力、また学習した文法内容を生かし短文を書く力を養成します。

英語IAでは、入学時のプレイスメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは主に、語彙力、リーディング(英文の読み取り)、ライティング(英文法の理解をふまえた上での英作文)の力を習得し、総合的に英語力を養います。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

リーディングの学習箇所は毎回の授業で指示します。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳して くることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- 1 Introduction ~ 《単語・品詞》 (プリント)
- 2 名詞(Unit 1)
- 3 冠詞(Unit 2)
- 4 代名詞(1)(Unit 3)
- 5 代名詞(2)(Unit 4)
- 6 時制(1)(Unit 5)[現在・過去・未来]
- 7 時制(2)(Unit 6)[進行形]
- 8 時制(3)(Unit 7)[完了形]
- 9 《時制のまとめ》(プリント)
- 10 助動詞(1)(Unit 8)
- 11 助動詞(2)(Unit 9)
- 12 態 (1) (Unit 10)
- 13 態(2)(Unit 11)
- 14 《助動詞・態のまとめ》
- 15 前期まとめ

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験: 60%

(2) 平常点: 40% (毎回の単語テスト、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》北山長貴ほか著,『Mastering Basic English Grammar (基礎英文法とリーディング演習)』(成美堂)

| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
|--------|------------------------------------|--------------|-----------------------------------|
| 担当教員名 | 大理 奈穂子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Vクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭 一種免許状 | う一種免許状 / 高等学 | ^全 校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル(中級・上級)のうちの上級クラスです。昨年度の英語 A (講読)の単位が取れなかった学生は、昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。さらに 英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

英語 A (講読)では、入学時のプレイスメントテストにより 2 レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて、短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身につけるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習、復習を必ず行ってください。

- ・文の基本要素
- ·be動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ·一般動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ·wh疑問文
- ・名詞、冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文、否定文、疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞、副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・一般疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)期末試験: 60%

(2)平常点: 40%(単語テスト〔毎週〕、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:Timothy Kiggell and Katsuhiko Muto 『Prism -violet-』 (MacMillan Language House)

英語 A (講読) 目 名 担当教員名 森田 勝之 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 2 クラス 年 10クラス 開講期 前期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

種免許状

この科目は英語発信・受信するばあいに必要となる英語の構造知識(文法・語法)を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

内容

- 1. Introduction (導入説明)
- 2. Body Language (動詞:be動詞と一般動詞)
- 3. Non-verbal communication (疑問文)
- 4. Psychiatry Stand (名詞や冠詞)
- 5. social Status (代名詞)
- 6. Social Group (進行形)
- 7. Sense pf Belonging (助動詞)
- 8. Music Lover (形容詞と副詞)
- 9. Personal and Group Identity (比較)
- 10. Security Blanket (不定詞、分詞、動名詞)
- 11. Sense of Security (命令)
- 12. Grabby Lucy (受動態)
- 13. Culture and Humor (完了表現)
- 14. Law and Social Harmony (前置詞や接続詞)
- 15. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

十文字学園女子大学用プリント (森田勝之、授業中に配布)

 科目名
 英語 A (講読)

 担当教員名
 野村 京子

 ナンバリング
 サインドリング

 学科 人間生活学部-共通科目
 クラス 1Nクラス

 開講期前期前期 必修・選択の別 必修*
 必修・選択の別 必修*

 授業形態 単位数 1
 インデー・経費を含むは、

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

·種免許状

科目の性格

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベルのうちの初級クラスです。

昨年度の英語 Aの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。

科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

学修目標

外国語 では、入学時のプレイスメントテストにより3レベルのクラス編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第 一目標とした上で、この初級クラスでは、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

内容

一単元を二週で終わらせる予定です。前期はUnit1~Unit7とします。内容は、品詞・文の種類・

時制・進行形・基本5文型・主語と動詞・前置詞などを学習します。

また、一単元毎に小テストを実施します。予習と復習に力を注いでください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 藤田直也 『A New Approach to UNderstanding English Grammar』朝日出版

【参考図書】 授業で適宜紹介します。

英語 A (講読) 科 目 名 担当教員名 榊原 理枝子 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2 学 ク ラ ス 1Pクラス 必修・選択の別 必修* 開 講 期 前期 授業形態 単 位 数 1 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 ·種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(1)科目の性格

2010年度以前に入学し、英語IA(購読)を再履修する学生さんのための科目で、 3 レベルのうちの中級クラスです。昨年度のクラスレベルにしたがって登録してください。

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

(2)科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力 、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(3)学修目標

外国語 I (英語)/英語 IA(購読)では、入学時のプレイスメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週~第13週

- (1)英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型の確認をはじめとして、基本的な文法知識を復習、整理するところから始めます。たとえば基本時制や助動詞などを使いこなして日常レベルの英語運用力を付けてもらいます。また、それらの文法的な知識を使って英文を正しく読解する力を付けてもらいます。
- (2) 習熟度や関心、必要に応じて、適宜プリントを利用することもあります。
- (3)語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

第14週・第15週・・・まとめ・総復習

定期試験の返却、解説もします。今後の学習の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期試験: 60%

(2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習復習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書)福井、北山、山中『Basic English Expressions and Short Readi

ngs: リーディングに活かす基礎英語表現』(朝日出版社)(税別1600円)(フジショップ扱い)その他プリント。

英語 B (講読) 目 名 担当教員名 森田 勝之 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 クラス 20クラス 開講期 後期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

英語発信・受信するばあいに必要となる英語の構造知識(文法・語法)を整理、復習します。さらに同時に、英語の総合力のために語彙力、読解力に加え、英文を書く力と聴き取る力を養成します。 英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

内容

- 1. Introduction (導入説明)
- 2. Happy Anniversary Lunch (動詞:be動詞と一般動詞の復習)
- 3. Moral: Money is as slippery (疑問文の復習)
- 4. Learning in School (名詞や冠詞の復習)
- 5. The Sacred Cows (代名詞の復習)
- 6. A Stutter Writes to a Former teacher (進行形の復習)
- 7. Professors Learn to Read (助動詞の復習)
- 8. The Class Management (形容詞と副詞の復習)
- 9. For June Graduates (比較の復習)
- 10. The Sudden Handicap (不定詞、分詞、動名詞の復習)
- 11. The Bandit Had Brown Hair (命令の復習)
- 12. Cues for the Common Cold (受動態の復習)
- 13. Inflation Hits the Campuses (完了表現の復習)
- 14. Who? Me? (前置詞や接続詞の復習)
- 15. まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

十文字学園女子大学用プリント(森田勝之、授業中に配布)

B (講読) 英語 目 名 担当教員名 佐藤 里野 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ク ラ ス 2Sクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 1 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル(中級・上級)のうちの中級クラスです。昨年度の英語1Bの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力を養成します。

英語1Bでは、入学時のプレイスメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法を確認していきます(順不同)

- 1.文の基本要素 2.be動詞(平叙文・否定文・疑問文) 3.一般動詞 (平叙文・否定文・疑問文)
- 4.wh疑問文 5.名詞・冠詞 6.代名詞 7. 進行形 (平叙文・否定文・疑問文) 8.助動詞
- 9. 形容詞・副詞 10. 比較 11. 命令文 12. 接続詞 13. 関係代名詞 14. 接続詞 15. 不定詞
- 16. 分詞 17. 動名詞 18. 受動態 19. 完了形 20. 前置詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定の教科書のユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

第1週~第2週 The Art of Memory 第3週~第4週 The Cloak of Peace Statue 第5週~第6週 Prayer for Peace 第7週~第9週 Japanese Young Volunteers in America 第10週~第12週 Nuclear Abolition: Making a Dream a Reality 第 13週~第14週 Advanced Reading (プリント) 第15週 まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験:60パーセント

(2) 平常点: 40 パーセント(単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(食栄中級クラス)

【教科書】前川智子著 『Peace Talk: Improve your reading skills and vocabulary』開文社

【参考図書・辞書等】授業で適宜紹介します。

| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
|--------|--------------------------------|------------|---------------------------|
| 担当教員名 | 大理 奈穂子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Vクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 | 種免許状 / 高等学 | 校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル(中級・上級)のうちの上級クラスです。昨年度の英語 B(講読)の単位が取れなかった学生は、昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。さらに 英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

英語 B (講読)では、入学時のプレイスメントテストにより 2 レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて、短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身につけるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習、復習を必ず行ってください。

- ・文の基本要素
- ·be動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ·一般動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ·wh疑問文
- ・名詞、冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文、否定文、疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞、副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・一般疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)期末試験: 60%

(2)平常点: 40%(単語テスト〔毎週〕、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:Timothy Kiggell and Katsuhiko Muto 『Prism -violet-』 (MacMillan Language House)

科 目 名 英語 B (講読)

担当教員名 宮本 正治

ナンバリング

学 科 人間生活学部-共通科目

学 年 2 2Dクラス

開 講 期 後期 必修・選択の別 必修*

授業形態 単位数 1

資格 関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では英文を正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を学び、辞書を引けば大筋の内容がわかることを目指します。 後期は、その知識を利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週:ガイダンス

第2週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第3週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第4週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第5週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第6週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第7週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第8週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第9週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第10週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第11週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第12週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第13週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第14週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト

第15週:まとめ

評価

参加態度40%

定期試験60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
|---|-------------|---------|-------|
| 担当教員名 | 島村豊博 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Jクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 一種免許状 | | | |

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

学修目標

外国語 I (英語)では、入学時のプレイスメントテストにより 3 レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この2 J クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

- ・文の基本要素
- ·be動詞(平叙文·否定文·疑問文)
- ・一般動詞(平叙文・否定文・疑問文)
- ·wh疑問文
- ・名詞・冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文・否定文・疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞・副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞

- ・疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキスト 園城寺康子他 Quality of Life (現代人と社会環境) 南雲堂 1700円 参考書、辞典等 授業で適宜紹介します。 科 目 名 英語 B (講読)

担当教員名 宮本 正治

ナンバリング

学 科 人間生活学部-共通科目

学 年 2 2Fクラス

開 講 期 後期 必修・選択の別 必修*

授業形態 単位数 1

資格 関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この授業では英文を正確に読み取る練習を行います。その際、単語や熟語をの知識も重要ですが、英文の構造を把握する力が不可欠です。前期は、構造を読み解くための基本的な知識を学び、辞書を引けば大筋の内容がわかることを目指します。 後期は、その知識を利用してたくさんの英文を読むことに慣れたいと思います。

内容

英語で書かれた、日本人にも馴染みのある物語を読み進めていきます。随時、英文構造の理解に必要な補助的なプリントを配布します。授業でおおまかな訳が発表できるよう、しっかり予習してくることを望みます。

第1週:ガイダンス

第2週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第3週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第4週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第5週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第6週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第7週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第8週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第9週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第10週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第11週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第12週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト;文法プリント

第13週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント

第14週:テキストの精読 および資料による内容確認;文法プリント 確認テスト

第15週:まとめ

評価

参加態度40%

定期試験60%

(60点以上を合格とします。)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

プリントを適宜配布します。

英語 B (講読) 科 目 名 担当教員名 榊原 理枝子 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2 学 ク ラ ス 2Gクラス 開 講 期 後期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 1 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 ·種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(1)科目の性格

2010年度以前に入学し、英語IB(購読)を再履修する学生さんのための科目で、3レベルのうちの中級クラスです。昨年度のクラスレベルにしたがって登録してください。

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

(2)科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力 、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(3)学修目標

外国語 I (英語)/英語 IB(購読)では、入学時のプレイスメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総 復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力 を養成します。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週~第13週

- (1)前期の勉強をさらに進め、比較、関係詞などの文法項目を確認し、また、それらの文法的な知識を使って英文を正しく読解する力を付けてもらいます。日常的な事柄を英語で発信でき、基本的な英文であれば果断に挑戦できるような英語力を身に付けてもらうことを目標とします。
- (2) 習熟度や関心に応じて、適宜プリントを利用することもあります。
- (3) 彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した 文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

第14週・第15週

まとめ・総復習・・・定期試験の返却、解説もします。今後の学習の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習復習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) Hickling、市川『Reading Sense:大学英文法と読解の基本演習』(金星堂)(税別2000円)(フジショップ扱い)その他プリント

B (講読) 英語 目 名 担当教員名 向後 朋美 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2 ク ラ ス 2Hクラス 必修・選択の別 必修* 開講期 後期 授業形態 単 位 数 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 ·種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル(初級・中級・上級)のうちの中級クラスです。昨年度の英語IBの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

英語IBでは、入学時のプレイスメントテストにより3レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

| ` | 自した文を繰り返し自説するなこの母週の『自・接首を入がです』」とてたさい。 |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 完了形・リーディング |
| 2 | 前置詞・リーディング |
| 3 | 不定詞と動名詞・リーディング |
| 4 | 1~3のまとめとリーディング |
| 5 | 接続詞・リーディング |
| 6 | 関係詞・リーディング |
| 7 | 単文・重文・複文・リーディング |
| 8 | 5 ~ 6 のまとめとリーディング |
| 9 | 知覚動詞・使役動詞・リーディング |
| 10 | 受動態と能動態・リーディング |
| 11 | 9~10のまとめとリーディング |
| 12 | 条件と仮定・リーディング |
| 13 | 分詞構文・強調構文・倒置構文・リーディング |
| 14 | 12~13のまとめとリーディング |
| 15 | まとめ |
| | |

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験: 60%

(2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(中級クラス)藤井哲郎(2007), First Things First, MacMillan Languagehouse, 1890円.

+ リーディング用プリントは別途授業内で配布します

B (講読) 英語 科 目 名 担当教員名 榊原 理枝子 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2 学 ク ラ ス 2Eクラス 必修・選択の別 必修* 開 講 期 後期 授業形態 単 位 数 1 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 ·種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(1)科目の性格

2010年度以前に入学し、英語IB(購読)を再履修する学生さんのための科目で、 2 レベルのうちの上級クラスです。昨年度のクラスレベルにしたがって登録してください。

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

(2)科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力 、平易な英文を読みとる力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

(3)学修目標

外国語 I (英語)/英語 IB (購読)では、入学時のプレイスメントテストにより 2 レベルのクラスを編成し、英文法の総 復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力に 加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週~第13週

- (1)英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、品詞、時制などの基本的文法事項を確認し、英語 運用力を養成してもらいます。また、それらの文法的な知識を使って英文を正しく読解する力を付け、将来の勉強や仕事に 役立つ英語力を身に付ける素地を作ってもらいます。
- (2) 習熟度や関心、必要に応じて、適宜プリントを利用することもあります。
- (3)語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

第14週・第15週・・・まとめ・総復習

定期試験の返却、解説もします。今後の学習の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 後期試験: 60%

(2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習復習、課題提出

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書)北山、Yamanaka、福井『English Makeover:リーディングのための英文法演習』(成美堂)(税別1800円)(フジショップ扱い)その他プリント。

B (講読) 英語 名 科 目 担当教員名 浮岳 靖子 ナンバリング 科 学 人間生活学部-共通科目 学 年 2 クラス 2Uクラス 開講期 後期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 ·種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル(中級・上級)のうちの中級クラスです。昨年度の英語IBの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な文章を読み取る力、単語や短文を聞き取る力、また学習した文法内容を生かし短文を書く力を養成します。

英語IBでは、入学時のプレイスメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは主に、語彙力、リーディング(英文の読み取り)、ライティング(英文法の理解をふまえた上での英作文)の力を習得し、総合的に英語力を養います。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

リーディングの学習箇所は毎回の授業で指示します。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳して くることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- 1 Introduction ~ 《前期に扱った重要ポイント確認》 (プリント)
- 2 不定詞(1)(Unit 12)
- 3 不定詞(2)(Unit 13)
- 4 分詞(1)(Unit 14)
- 5 分詞(2)(Unit 15)
- 6 動名詞(1)(Unit 16)
- 7 動名詞(2)(Unit 17)
- 8 Unit 10~17のまとめ
- 9 形容詞・副詞(Unit 18)
- 10 比較(1)(Unit 19)
- 11 比較(2)(Unit 20)
- 12 関係詞(1)(Unit 21)
- 13 関係詞(2)(Unit 22)
- 14 Unit 18~22のまとめ
- 15 後期まとめ

評価 以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験: 60%

(2) 平常点: 40% (毎回の単語テスト、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》北山長貴ほか著,『Mastering Basic English Grammar (基礎英文法とリーディング演習)』(成美堂)

| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
|--------|------------------------------------|--------------|---------------------|
| 担当教員名 | 浮岳 靖子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Rクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭 一種免許状 | 俞一種免許状 / 高等等 | 学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 |

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル(中級・上級)のうちの中級クラスです。昨年度の英語IBの単位が取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な文章を読み取る力、単語や短文を聞き取る力、また学習した文法内容を生かし短文を書く力を養成します。

英語IBでは、入学時のプレイスメントテストにより2レベルクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは主に、語彙力、リーディング(英文の読み取り)、ライティング(英文法の理解をふまえた上での英作文)の力を習得し、総合的に英語力を養います。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

リーディングの学習箇所は毎回の授業で指示します。リーディングの文章は宿題として必ず単語の意味を確認し、和訳して くることが求められます。授業には必ず辞書を持参すること。

- 1 Introduction 《前期の範囲ポイント確認》(プリント)
- 2 不定詞(Chapter 12)
- 3 分詞(Chapter 13)
- 4 動名詞(Chapter 14)
- 5 Chapter 12-14の復習
- 6 現在完了(Chapter 15)
- 7 過去完了(Chapter 15)
- 8 時制のまとめ(プリント)
- 9 受動態(Chapter 16)
- 10 受動態(Chapter 16)
- 11 受動態のまとめ
- 12 関係代名詞(Chapter 17)
- 13 関係代名詞(Chapter 17)
- 14 関係副詞(Chapter 18)、関係詞のまとめ
- 15 後期のまとめ

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験: 60%

(2) 平常点: 40% (毎回の単語テスト、文法事項の小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

《テキスト》角岡賢一ほか著、『Fundamental Grammar and Vocabulary (大学生のための基本英文法と必修英単語)』(成美堂)

| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
|--------|------------------------------------|--------------------|----------------------------|
| 担当教員名 | 大理 奈穂子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 2Tクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修 * |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 栄養教諭 一種免許状 | 俞一種免許状/高等 第 | 之校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 |

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3レベル(初級・中級・上級)のうちの上級クラスです。昨年度の英語 B (講読)の単位が取れなかった学生は、昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。 さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力と短文が書ける力に加え、短文を聞き取る力を養成します。

英語 B (講読)では、入学時のプレイスメントテストにより3 レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この上級クラスでは語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて、短文を聞き取る力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます(順不同)。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身につけるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習、復習を必ず行ってください。

- ・文の基本要素
- ·be動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ·一般動詞(平叙文、否定文、疑問文)
- ·wh疑問文
- ・名詞、冠詞
- ・代名詞
- ・進行形(平叙文、否定文、疑問文)
- ・助動詞
- ・形容詞、副詞
- ・比較
- ・不定詞
- ・分詞
- ・動名詞
- ・命令文
- ・受動態
- ・完了形
- ・関係代名詞
- ・一般疑問文
- ・前置詞
- ・接続詞

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)期末試験: 60%

(2)平常点: 40%(単語テスト〔毎週〕、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:Timothy Kiggell and Katsuhiko Muto 『Prism -violet-』 (MacMillan Language House)

 科目名
 英語
 B(講読)

 担当教員名
 野村 京子

 ナンバリング
 学科
 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス
 2Nクラス

 開講期後期
 必修・選択の別
 必修・

 授業形態
 単位数
 1

 資格関係
 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、3 レベルのうちの初級クラスです。昨年度の英語 Aの単位が 取れなかった学生は昨年度のクラスレベルにしたがって、登録するクラスを選んでください。

科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

学修目標

外国語 では、入学時のプレイスメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの 第一目標とした上で、この初級クラスでは、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力を養成します。

内容

前期を発展させます。Unit8~Unit15までを一単元を二週かけて進みます。内容は、接続詞・完了形・受動態・ 使役動詞・知覚動詞・助動詞などです。

また、一単元毎に小テストを実施します。予習と復習に力を注いでください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 藤田直也 『A New Approach to Understanding English Grammar』朝日出版

【推薦書】 授業で適宜紹介します。

B (講読) 英語 科 目 名 担当教員名 榊原 理枝子 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2 ク ラ ス 2Pクラス 学 開 講 期 後期 必修・選択の別 必修* 授業形態 単 位 数 1 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/栄養教諭一種免許状/高等学校教諭一種免許状(福祉)/小学校教諭 資格関係 ·種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(1)科目の性格

2010年度以前に入学し、英語IB (購読)を再履修する学生さんのための科目で、 3 レベルのうちの中級クラスです。昨年度のクラスレベルにしたがって登録してください。

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語II~IV(英語)」を選択します。なお、英語 教職課程履修者は「外国語I(英語・フランス語・スペイン語・中国語)」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

(2)科目の概要

英語で発信・受信する場合に必要となる英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力 、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

(3)学修目標

外国語 I (英語)/英語 IB (購読)では、入学時のプレイスメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総 復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この中級クラスでは、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力 を養成します。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週~第13週

- (1)英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型の確認をはじめとして、基本的な文法知識を復習、整理するところから始めます。たとえば基本時制や助動詞などを使いこなして日常レベルの英語運用力を付けてもらいます。また、それらの文法的な知識を使って英文を正しく読解する力を付けてもらいます。
- (2) 習熟度や関心、必要に応じて、適宜プリントを利用することもあります。
- (3)語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

第14週・第15週・・・まとめ・総復習

定期試験の返却、解説もします。今後の学習の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 後期試験: 60%

(2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習復習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書)福井、北山、山中『Basic English Expressions and Short Readi

ngs: リーディングに活かす基礎英語表現』(朝日出版社)(税別1600円)(フジショップ扱い)その他プリント

 科目名
 英語 A (講読)

 担当教員名
 榊原 理枝子

 ナンパリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 1Fクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択,選必,必修*

 授業形態
 単位数 1

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- (1)科目の性格・・・この科目は食物栄養学科の学生さんの選択必修科目です。
- (2)科目の概要・目標・・・英語で書かれた文章の意味を正確に把握できるような英文読解力を養成することを目標とします。そのためには文法、語法、構文などの力が不可欠ですから、それらの基本的事項の確認と復習も併せて行います。分からないことや要望があればどんなことでも言って下さい。

授業を通して、理解できるという喜びと英文を読む楽しさを体験してもらうつもりです。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週~第13週

食生活が環境や人間の健康に与える影響、農業、酪農といった食糧生産に関する問題、食品保存と文化など、食を様々な 角度から論じた教科書を読み、英文読解力を高め、さらに知識や教養も身に付けてもらいます。食に関心を抱いている学生 さんが必要とする語彙や表現を学ぶことができ、将来役に立つはずです。受講する学生さんの関心や到達度によっては、時 にはプリントで食や食文化に関する論説文や時事的な英文なども読んでもらいます。

それから、学習を習慣付け、理解度を確認し、学習の指針を立てるため、原則として毎回、小テストを行いますが、授業 にきちんと取り組み、予習復習をしていればできる基本的なものです。

第14週・第15週・・・前期のまとめ・総復習

定期試験の返却、解説もします。夏休みの間の勉強の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (原則として毎回行う小テスト、予習復習、課題提出など)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) Stapleton 『Food?Some Deeper Insights into What We

Eat:「食」を考える』(センゲージラーニング)(税別1700円)(フジショップ扱い)その他プリント。

| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
|--------|-------------|---------|-----------|
| 担当教員名 | 野村 京子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択,必修*,選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

科目の性格

この科目は、福祉学科2年生の共通科目のうちの英語の必修科目です。

科目の概要

いままで学習した基礎的英文法を基に、平易であるが、比較的長い英文を読み、内容を把握する力を「養成します。

学修目標

英文を読み、理解するに必要な英語の語彙、構文に焦点をあて、平易な長文を読み取る力を養成します。

内容

本教科書は、介護と福祉に関する内容です。この分野を専門とする学生がその領域の学習に約立つこと、同時に、英語力の強化を目的としたものです。

授業では、各自に発表していただきますので、予習に力を注いでください。

前期は、各単元を2~3週の割合で進むつもりです。以下の授業計画はあくまで予定です。状況を見ながら進めていきます

| 1 Unit 1 The Four Keys to Successful Caregiving 2 同上 3 同上 4 Unit 2 Using Mobility and Lifting Aids 5 同上 6 同上 7 Unit 3 Helping People with Meals 8 同上 9 同上 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 15 まとめ | 0 | |
|---|----|---|
| 3 同上 4 Unit 2 Using Mobility and Lifting Aids 5 同上 6 同上 7 Unit 3 Helping People with Meals 8 同上 9 同上 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 1 | Unit 1 The Four Keys to Successful Caregiving |
| 4 Unit 2 Using Mobility and Lifting Aids 5 同上 6 同上 7 Unit 3 Helping People with Meals 8 同上 9 同上 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 2 | 同上 |
| 5 同上 6 同上 7 Unit 3 Helping People with Meals 8 同上 9 同上 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 3 | 同上 |
| 6 同上 7 Unit 3 Helping People with Meals 8 同上 9 同上 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 4 | Unit 2 Using Mobility and Lifting Aids |
| 7 Unit 3 Helping People with Meals 8 同上 9 同上 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 5 | 同上 |
| 8 同上 9 同上 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 6 | 同上 |
| 9 同上 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 7 | Unit 3 Helping People with Meals |
| 10 Unit 4 Helping People Use the Toilet 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 8 | 同上 |
| 11 同上 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 9 | 同上 |
| 12 同上 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 10 | Unit 4 Helping People Use the Toilet |
| 13 Unit 5 Helping People with Their Bath 14 同上 | 11 | 同上 |
| 14 同上 | 12 | 同上 |
| | 13 | Unit 5 Helping People with Their Bath |
| | 14 | 同上 |
| | 15 | まとめ |

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点を満たなかった場合は再試験を 実施します。 (1) 前期・後期試験: 60%

(2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 清水雅子 『A Helping Hand』 南雲堂

【推薦書】 授業で適宜紹介します。

| 科目名 | 英語 A (講読) | |
|--------|-------------|-------------------|
| 担当教員名 | 大理 奈穂子 | |
| ナンバリング | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス 1Cクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 選択,選必,必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 | |

この科目は共通科目の一つで、人間発達心理学科の2年生の必修科目です。後期開講の英語 B (講読)と合わせて履修してください。

バラエティに富んだトピックを簡潔で平明な英文で読むことで、英文を読んで理解できる基礎的な能力を養うことを目指 します。

- ・授業には十分に予習をしてから臨むこと。
- ・わからないことはそのままにせず、授業で積極的に質問してください。
- ・日頃の努力の積み重ねがなければ、期末試験でよい成績は取れません。小テストや課題を頻繁に課しますので、怠らず に粘り強く取り組んでください。

内容

教科書の構成に従い、本文を訳読してから演習問題を行います。 1 章を 2 回で終えるのが目標の進度ですが、適宜小テストを挟んで定着度を確かめる他、自宅で取り組める課題をほぼ毎回出します。

| 1 | 本科目のガイダンス |
|----|-------------------------------------|
| 2 | Chapter1: Space Tourism 本文訳読 |
| 3 | 同演習問題 |
| 4 | Chapter2: It's a Sony 本文訳読 |
| 5 | 同演習問題 |
| 6 | Chapter3: Recipe for Fast Food 本文訳読 |
| 7 | 同演習問題 |
| 8 | Chapter4: Disney's Dream 本文訳読 |
| 9 | 同演習問題 |
| 10 | Chapter5: Compact Lifestyles 本文訳読 |
| 11 | 同演習問題 |
| 12 | Chapter6: Smart Card 本文訳読 |
| 13 | 同演習問題 |
| 14 | Chapter7: Unusual Pets 本文訳読 |
| 15 | まとめ |

評価

授業態度20%、小テストおよび課題の得点20%、期末試験の得点60%。各評価項目の得点の合計得点で60点以上を とれば合格です。合格点に満たなかった場合でも再試験は行いませんので、インフルエンザなど出席を禁じられる病気にか かったり、忌引きの必要が生じたりといった不測の事態が起こらない限り、期末試験は決して放棄せず必ず受験してくださ い。ただし、授業を5回欠席した場合には、期末試験の受験資格を失います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:Timothy Kiggell and Katsuhiko Muto 『Prism -red-』 (MacMillan Language House)

| 科目名 | 英語 A (講読) | | |
|--------|-------------|---------|-----------|
| 担当教員名 | 森田 勝之 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Dクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択,選必,必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

この科目は英文を読み、理解し得たことをまとめ、表現することを目標としています。しかし、読むことを総合英語力から切り離して身につけることはできません。読解力が語彙力や聴解力との相関性が高いもとはすでに証明されています。ここでは、読解力を英語の総合力の中で位置づけることを考えています。

内容

英語の読解と総合力のためのA Boy Named Charlie Brown

- 1. A Boy Named Charlie Brown
- 2. The First Game
- 3. A Born loser
- 4. Lucy'S Psychiatric Help (1)
- 5.Lucy'S Psychiatric Help (2)
- 6.Spelling Bee at School
- 7. Champion Charlie Brown (1)
- 8. Champion Charlie Brown (29
- 9. Schroeder's Recital
- 10. Tracking the Blanket (1)
- 11. Tracking the Blanket (2)
- 12. National Spelling Bee
- 13. Returning Home
- 14.Welcome Home
- 15.まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

十文字学園女子大学用プリント(森田勝之、授業中に配布)

 科目名
 英語 A (講読)

 担当教員名
 設楽 優子

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 1Eクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*,選必,選択

 授業形態
 単位数 1

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は共通科目の外国語科目のうちの人間発達心理学科2年次必修科目で、3レベル(初級・中級・上級)のうちの上級クラスです。1年次の英語IA, IB(購読)で身につけた、文の構造に関する基礎的知識を活用しながら、英語の運用能力を確かなものにすることを目指します。

英語IA, IB(購読)に引き続き、英文を読み取る能力を高めることを主眼とし、同時に、英文を聞き取る力や、英文を書く、英語で発話するといった他の3技能を高める内容も盛り込み、総合的な英語力を伸ばします。

1年次終了時のプレイスメントテストにより3レベルのクラスを編成し、この上級クラスでは、大学生に必要とされる知的レベルで多様な内容を扱った説明的文章に対応できるだけの語彙力をつけ、4技能の運用によりその定着を図ります。また、文脈から単語の意味を推測して速読する練習も行います。

内容

新聞などを素材とし、文法問題や調査・発表の課題もついている教科書の各ユニットを、2回の授業でこなします。

| 1 | Unit 1 | The value of English |
|----|--------|--|
| 2 | Unit 1 | 知覚表現と後置修飾の副詞 |
| 3 | Unit 2 | History of Subway |
| 4 | Unit 2 | 提案表現と過去完了形 |
| 5 | Unit 3 | Female student shows her mettle in man's words |
| 6 | Unit 3 | 目的を表すthat節と結果を表すthat節 |
| 7 | Unit 4 | Body language talks louder than words |
| 8 | Unit 4 | 「形式主語のit」と「助動詞+完了」 |
| 9 | Unit 5 | Japan has world's biggest 'urban mines' |
| 10 | Unit 5 | 比較級を強める表現など |
| 11 | Unit 6 | A flash of memory |
| 12 | Unit 6 | 「for there to be」の表現 |
| 13 | Unit 7 | Japan cosmetics firms go back to their roots |
| 14 | まとめ | |
| 15 | Unit 7 | 「ダッシュ()等を利用した補足の表現」と「付帯状況の表現」 |

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 期末試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[教科書] 中鉢恵一,宮澤信彦著・_Reading Facilitator_・三修社

[参考図書、辞典等] 授業で適宜紹介します。

 科目名
 英語 A (講読)

 担当教員名
 湊 和夫

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 1Aクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 必修*,選必,選択

 授業形態
 単位数 1

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、英語の読解力を高めることを目標とする。併せて、日本と外国の文化の違いについて考え、みんなで議論する。

教科書の各章は、Basic Readingと、Build Up Your Vocabularyと、Gramm atical Pointsの3つから成る。その主体は Basic Reading だが、語彙の少ない学生、文法 理解の不十分な学生のために、第2、第3

の部分を使って、各自の弱点の克服をめざす。

授業では、ほぼ全員に当てて、発言・発表を求める。期末テストとは別に、時おり、小テストを実施する。

内容

| | Alphahat |
|----|-----------|
| 1 | Alphabet |
| 2 | Animals |
| 3 | Education |
| 4 | Fashion |
| 5 | Religion |
| 6 | Food |
| 7 | Heal th |
| 8 | Proverbs |
| 9 | Science |
| 10 | Sports |
| 11 | Laughter |
| 12 | Gardening |
| 13 | History |
| 14 | Phrase |
| 15 | まとめ |

評価

口頭発表と小テスト(40点)、試験(60点)、計100点満点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

岡野圭壱、杉山泰、川田伸道共著 Do You Know This? Short Readings and Ba

sic Grammar for Cultural Literacy (知って得する豆知識:ショート・リーディングと基礎文法)朝日出版社。

 科目名
 英語 A (講読)

 担当教員名
 野村 京子

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 1Gクラス

 開講期前期
 必修・選択の別 選択,必修*,選必

 授業形態
 単位数 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、食物栄養学科2年生の選択必修科目であり、また児童・幼児教育学科2年生の選択科目です。

科目の概要

これまで学習した文法事項を基に、比較的長い英文を読み取り、内容を理解します。

学修目標

長い英文を読むために必要な文法力、語彙力、構文力を基礎に、長文の読解力を養成します。

初めは精読から、後半は速読の力を育成します。

内容

本教科書は、世界各地の食文化を扱っていますが、単なる「食」にこだわらず、幅広い学際的分野にまで及んでいるので、 世界の文化や歴史を知るてがかりとなるものである。

授業では、各自に発表をしていただきますので、予習に力を注いでください。

以下の授業計画は、状況により変更する場合もあります。

| 15 | まとめ | |
|----|------------|--|
| 14 | 同上 | |
| 13 | Chapter 2) | 7 The Culture of Eating with the Fingers |
| 12 | 同上 | |
| 11 | Chapter 2) | 6 The Culture of Chopsticks |
| 10 | 同上 | |
| 9 | Chapter 2) | 5 The Culture of the Knife and Fork |
| 8 | 同上 | |
| 7 | Chapter 1) | 4 The Route of Coffee |
| 6 | 同上 | |
| 5 | Chapter 1) | 3 Tea Ceremony |
| 4 | 同上 | |
| 3 | Chapter 1) | 2 China, the Cradle of Tea |
| 2 | 同上 | |
| 1 | Chapter 1) | 1 English Tea |

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点を満たなかった場合は再試験を 実施します。

- (1) 前期·後期試験: 60%
- (2) 平常点 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】大橋久利 『A Global Tour of Dietary Culture』 成美堂

【推薦書】 授業で適宜紹介します。

 科目名
 英語 B (講読)

 担当教員名
 榊原 理枝子

 ナンバリング
 グラス

 学年2
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(1)科目の性格・・・この科目は食物栄養学科の学生さんの選択必修科目です。

(2)科目の概要・目標・・・英語で書かれた文章の意味を正確に把握できるような英文読解力を養成することを目標とします。そのためには文法、語法、構文などの力が不可欠ですから、それらの基本的事項の確認と復習も併せて行います。分からないことや要望があればどんなことでも言って下さい。

授業を通して、理解できるという喜びと英文を読む楽しさを体験してもらうつもりです。

内容

第1週・・・オリエンテーション

第2週~第13週

前期の勉強をさらに進めます。後期の授業終了時には、大学生として標準的な英文であれば、一人で読めるようになって もらうことを目標とします。将来的には、専門的な英文も読めるような英文読解力の素地を作ります。

それから、学習を習慣付け、理解度を確認し、学習の指針を立てるため、原則として毎回、小テストを行いますが、授業 にきちんと取り組み、予習復習をしていればできる基本的なものです。

第14週・第15週・・・後期のまとめ・総復習

定期試験の返却、解説もします。今後の勉強の方向性を立てるのに役立ててください。

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1)後期試験: 60%

(2) 平常点: 40% (原則として毎回行う小テスト、予習復習、課題提出など)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

(教科書) Stapleton 『Food?Some Deeper Insights into What We

Eat:「食」を考える』(センゲージラーニング)(税別1700円)(フジショップ扱い)その他プリント。

 科目名
 英語 B (講読)

 担当教員名
 野村 京子

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 28クラス

 開講期後期
 必修・選択の別 選択,必修*,選必

 授業形態
 単位数 1

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、福祉学科2年生の共通科目のうちの英語の必修科目です。

科目の概要

いままで学習した基礎的英文法を基に、平易であるが、比較的長い英文を読み、内容を把握する力を 養成します。

英文を読み、理解するに必要な英語の語彙、構文に焦点をあて、比較的平易な長文を読み取る力を 養成します。

内容

前期を発展させます。授業進度は前期より少し速めます。以下の授業計画は、状況を見ながら進めていきますので、変更する場合もあります。

| 1 | Unit 6 Helping People with Dressing and Grooming |
|----|---|
| 2 | 同上 |
| 3 | Unit 7 Helping People Change Their Position |
| 4 | 同上 |
| 5 | Unit 8 Helping with Recreational Activities |
| 6 | 同上 |
| 7 | Unit 9 Helping People to Communicate |
| 8 | 同上 |
| 9 | Unit 10 Helping People Suffering from Disease and Illness |
| 10 | 同上 |
| 11 | Unit 11 Helping Children to Develop |
| 12 | 同上 |
| 13 | Unit 12 Helping Children to Develop |
| 14 | 同上 |
| 15 | まとめ |

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点を満たなかった場合は再試験を 実施します。

- (1) 前期・後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】清水雅子 『A Helping Hand』 南雲堂

【推薦書】 授業で適宜紹介します。

 科目名
 英語 B (講読)

 担当教員名
 野村 京子

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 26クラス

 開講期後期
 必修・選択の別 必修*,選必,選択

 授業形態
 単位数 1

 資格関係保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、食物栄養学科2年生の選択必修科目であり、また児童:幼児教育学科2年生の選択科目です。

科目の概要

これまで学習した文法事項を基に、比較的長い英文を読み取り、内容を理解します。

学修目標

長い英文を読むために必要な文法力、語彙力、構文力を基礎に、長文の読解力を養成します。

後期は、英文の速読力を育成します。

内容

前期と同じです。ただし、授業進度は前期より速め、発展します。

| 1 | Chapter 3) | 8 Chinese Cuisine |
|----|------------|--------------------------------|
| 2 | 同上 | |
| 3 | Chapter 3) | 9 French Cuisine |
| 4 | 同上 | |
| 5 | Chapter 3) | 10 Japanese Cuisine |
| 6 | 同上 | |
| 7 | Chapter 3) | 11 American Cuisine |
| 8 | 同上 | |
| 9 | Chapter 4) | 12 The Sphere of Bread Culture |
| 10 | 同上 | |
| 11 | Chapter 4) | 13 The Clalifornia Roll |
| 12 | 同上 | |
| 13 | Chapter 4) | 14 Noodles of the World |
| 14 | 同上 | |
| 15 | まとめ | |

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点を満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期·後期試験: 60%

(2) 平常点: 40% (小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 大橋久利 『A Global Tour of Dietary Culture』 成美堂

【推薦書】 授業で適宜紹介します。

| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
|--------|-------------|---------|-----------|
| 担当教員名 | 湊 和夫 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | クラス 2 | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択,必修*,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

この科目は、前期で学んだ英語 A (講読)の継続であり、引き続き、英語の読解力を高めることを目標とする。ただし、前期とは違う教科書を用い、前期よりも、やや長めの英文を読む力の養成に挑戦する。

受講者が自宅で予習する場合には、教科書を黙読するのでなく、大きな声で朗読してほしい。教科書添付のCDをよく聴き、native speaker が文章のどの個所で区切って読んでいるか、注目して、真似してほしい。

この教科書に掲載された計100の key sentence patterns は、いずれも極めて重要で、役に立つ表現ばかりなので、全部、暗記することに挑戦してほしい。

授業では、毎回、ほぼ全員が発言・発表を求められる。期末テストとは別に、時おり、小テストを実施する。

内容

| 1 | A Lesson from Bhutan |
|----|--|
| 2 | The Story of Mother's Day |
| 3 | George Murakami's Dream |
| 4 | Pizza: An International Favorite |
| 5 | The Story of the Red Rose |
| 6 | Madame Butterfly and International Marriages |
| 7 | A Siesta Makes You Smarter! |
| 8 | Unwanted Pets and Eco-Disasters |
| 9 | Going Green |
| 10 | Laughter Keeps You Healthy |
| 11 | A Lesson from the Nagasaki Islands |
| 12 | A Lesson from the Olympics |
| 13 | Hachiko and Balto: Two Famous Dogs |
| 14 | Nobuyuki Tsuji: Music plus a Positive Attitude |
| 15 | まとめ |

評価

口頭発表と小テスト(40点)、試験(60点)、計」100点満点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Joan McConnell, 武田修一共著 Enjoyable Reading--100 Sentence Patterns (読んで身につく基本文型 1 0 0)成美堂。

| 科目名 | 英語 B (講読) | |
|--------|-------------|-------------------|
| 担当教員名 | 大理 奈穂子 | |
| ナンバリング | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス 2Cクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 選必,必修*,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 | |

この科目は共通科目の一つで、人間発達心理学科の2年生の必修科目です。前期開講の英語 A (講読)と合わせて履修してください。

バラエティに富んだトピックを簡潔で平明な英文で読むことで、英文を読んで理解できる基礎的な能力を養うことを目指 します。

- ・授業には十分に予習をしてから臨むこと。
- ・わからないことはそのままにせず、授業で積極的に質問してください。
- ・日頃の努力の積み重ねがなければ、期末試験でよい成績は取れません。小テストや課題を頻繁に課しますので、怠らず に粘り強く取り組んでください。

内容

教科書の構成に従い、本文を訳読してから演習問題を行います。 1 章を 2 回で終えるのが目標の進度ですが、適宜小テストを挟んで定着度を確かめる他、自宅で取り組める課題をほぼ毎回出します。

| Chapter7: Unusual Pets 演習問題 |
|-----------------------------------|
| Chapter8: Staying in Touch 本文訳読 |
| 同演習問題 |
| Chapter9: Pet Passports 本文訳読 |
| 同演習問題 |
| Chapter10: Sophisticated Toy 本文訳読 |
| 同演習問題 |
| Chapter11: Changing Fashions 本文訳読 |
| 同演習問題 |
| Chapter12: Unique Names 本文訳読 |
| 同演習問題 |
| Chapter13: Movie Tourism 本文訳読 |
| 同演習問題 |
| Chapter14: Tasty Music 本文訳読 |
| まとめ |
| |

評価

授業態度20%、小テストおよび課題の得点20%、期末試験の得点60%。各評価項目の得点の合計得点で60点以上を とれば合格です。合格点に満たなかった場合でも再試験は行いませんので、インフルエンザなどの出席を禁じられる病気に かかったり、忌引きの必要が生じたりといった不測の事態が起こらない限り、期末試験は決して放棄せず必ず受験してくだ さい。ただし、授業を5回欠席した場合には、期末試験の受験資格を失います。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書:Timothy Kiggell and Katsuhiko Muto 『Prism -red-』 (MacMillan Language House)

| 科目名 | 英語 B (講読) | | |
|--------|-------------|---------|-----------|
| 担当教員名 | 森田 勝之 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Dクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択,必修* |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 | | |

この科目は英文を読み、理解し得たことをまとめ、表現することを目標としています。しかし、読むことを総合英語力から切り離して身につけることはできません。読解力が語彙力や聴解力との相関性が高いもとはすでに証明されています。ここでは、読解力を英語の総合力の中で位置づけることを考えています。

内容

英語の読解と総合力のためのCharlie Brown Christmas and other stories

- 1. Peanuts
- 2. Lucy's Psychiatry Stand
- 3. Friend Forever
- 4. Peanuts as a Social Group (1)
- 5. Peanuts as a Social Group (2)
- 6. Schroeder the Music Lover
- 7. Sally and her Legal Beagle (1)
- 8. Sally and her LegalBeagle (29
- 9. Linus's Security Blanket
- 10.Crabby Lucy (1)
- 11.Crabby Lucy (2)
- 12. Good Grief!
- 13. The Life and Work of Schulz
- 14. Someday My Great Pumpkin Will Come
- 15.まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 後期試験: 60%
- (2) 平常点: 40% (単語テスト(毎週)、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

十文字学園女子大学用プリント(森田勝之、授業中に配布)

 科目名
 英語
 B (講読)

 担当教員名
 設楽 優子

 ナンバリング
 学科
 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 2Eクラス

 開講期後期
 後期
 必修・選択の別 選択,必修*,選必

 授業形態
 単位数 1

 資格関係保育士資格
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は共通科目の外国語科目のうちの人間発達心理学科2年次必修科目で、3レベル(初級・中級・上級)のうちの上級クラスです。1年次の英語IA, IB(購読)で身につけた、文の構造に関する基礎的知識を活用しながら、英語の運用能力を確かなものにすることを目指します。

1年次の英語IA, IB, 2年次前期の英語IIAに引き続き、英文を読み取る能力を高めることを主眼とし、同時に、英文を聞き取る力や、英文を書く、英語で発話するといった他の3技能を高める内容も盛り込み、総合的な英語力を伸ばします。

1年次終了時のプレイスメントテストにより3レベルのクラスを編成し、この上級クラスでは、大学生に必要とされる知的レベルで多様な内容を扱った説明的文章に対応できるだけの語彙力をつけ、4技能の運用によりその定着を図ります。また、文脈から単語の意味を推測して速読する練習も行います。

内容

教科書の後半を2回の授業で1ユニットの速度でこなします。前期に読んだ後半の文章は、前半と同じく多様なトピックを 扱っています。各ユニットには、英文読み物のほか、文法問題や表現する課題もついています。

| $\overline{}$ | |
|---------------|---|
| 1 | Unit 8 "Can fat be fit?" |
| 2 | Unit 8 原級の比較表現など |
| 3 | Unit 9 Ker-pow! Cambridge literature centre is to study comics and blogs |
| 4 | Unit 9 「the way (subject) (do)」の表現・whatの関係節 |
| 5 | Unit 10 Not so revolutionary |
| 6 | Unit 10 形容詞句など |
| 7 | Unit 11 Men's sexual tastes broaden when they are stressed |
| 8 | Unit 11 補足説明の関係詞節・同格表現 |
| 9 | Unit 12 Apple's iPad may save the newspaper industry, says Rupert Murdock |
| 10 | Unit 12 関係副詞 |
| 11 | Unit 13 Universities told to consider dope tests |
| 12 | Unit 13 分詞構文と間接疑問文 |
| 13 | Unit 14 Bumping tourism may be a matter of a fresh look at everyday Japan |
| 14 | まとめ |
| 15 | Unit 14 接続詞whileの2つの用法など |
| | |

評価

以下の割合で点数化し、60%以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 期末試験: 60%

(2) 平常点: 40% (単語テスト、小テスト、予習、課題提出)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

[教科書] 中鉢恵一,宮澤信彦著・_Reading Facilitator_・三修社

[参考図書、辞典等] 授業で適宜紹介します。

| 科目名 | 英語 A (英会話) | | |
|--------|-----------------------|----------------------|-----------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選必,必修*,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭 | 俞一種免許状 / 小学 <u>机</u> | 交教諭一種免許状 |

The aim of this class is to further develop students' communication skills, focusing on vocabulary and question formation to build conversation.

内容

Class time will be spent on discussion of various topics from the textbook, and small group presentations on the topics. Exercises on vocabulary and question formation will be done for homework and checked in class

| WIII | be done for nomework and checked in class. |
|------|--|
| 1 | Orientation, Ch.1, internet homework |
| 2 | Ch. 13, discussion |
| 3 | Ch. 6 and quiz on Ch.1 and 13 |
| 4 | Ch. 5 |
| 5 | Quiz on Ch. 5 and 6, do Ch.8 |
| 6 | Ch. 10 |
| 7 | Ch. 16 |
| 8 | oral and written test |
| 9 | Ch. 2 |
| 10 | Ch. 9 |
| 11 | Quiz, Ch. 17 |
| 12 | Ch. 14 |
| 13 | Quiz on Ch. 17 and 14 |
| 14 | oral test in groups |
| 15 | presentations |

評価

The students will be evaluated on the following: textbo ok homework (30%), speech preparation and delivery (30%) written tests (20%) oral tests (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Drayton and Gibbon, Let's Talk About It, Longman Publishers

| 科目名 | 英語 A (英会話) | | |
|--------|-----------------------|----------------------|-------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修 * ,選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭 | 俞一種免許状 / 小学 <u>机</u> | 交教諭一種免許状 |

The aim of this class is to further develop students' communication skills, focusing on vocabulary and question formation to build conversation.

内容

Class time will be spent on discussion of various topics from the textbook, and small group presentations on the topics. Exercises on vocabulary and question formation will be done for homework and checked in class

| WIII | be done for nomework and checked in class. |
|------|--|
| 1 | Orientation, Ch.1, internet homework |
| 2 | Ch. 13, discussion |
| 3 | Ch. 6 and quiz on Ch.1 and 13 |
| 4 | Ch. 5 |
| 5 | Quiz on Ch. 5 and 6, do Ch.8 |
| 6 | Ch. 10 |
| 7 | Ch. 16 |
| 8 | oral and written test |
| 9 | Ch. 2 |
| 10 | Ch. 9 |
| 11 | Quiz, Ch. 17 |
| 12 | Ch. 14 |
| 13 | Quiz on Ch. 17 and 14 |
| 14 | oral test in groups |
| 15 | presentations |

評価

The students will be evaluated on the following: textbo ok homework (30%), speech preparation and delivery (30%) written tests (20%) oral tests (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Drayton and Gibbon, Let's Talk About It, Longman Publishers

| 科目名 | 英語 A (英会話) | | |
|--------|-----------------------|----------------------|-------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Cクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 必修 * ,選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭 | 俞一種免許状 / 小学 <u>机</u> | 交教諭一種免許状 |

The aim of this class is to further develop students' communication skills, focusing on vocabulary and question formation to build conversation.

内容

Class time will be spent on discussion of various topics from the textbook, and small group presentations on the topics. Exercises on vocabulary and question formation will be done for homework and checked in class

| WIII | be done for nomework and checked in class. |
|------|--|
| 1 | Orientation, Ch.1, internet homework |
| 2 | Ch. 13, discussion |
| 3 | Ch. 6 and quiz on Ch.1 and 13 |
| 4 | Ch. 5 |
| 5 | Quiz on Ch. 5 and 6, do Ch.8 |
| 6 | Ch. 10 |
| 7 | Ch. 16 |
| 8 | oral and written test |
| 9 | Ch. 2 |
| 10 | Ch. 9 |
| 11 | Quiz, Ch. 17 |
| 12 | Ch. 14 |
| 13 | Quiz on Ch. 17 and 14 |
| 14 | oral test in groups |
| 15 | presentations |

評価

The students will be evaluated on the following: textbo ok homework (30%), speech preparation and delivery (30%) written tests (20%) oral tests (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Drayton and Gibbon, Let's Talk About It, Longman Publishers

| 科目名 | 英語 A (英会話) |
|--------|---------------------------------------|
| 担当教員名 | リンダ ハウズマン |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学年 | 2 クラス 1Dクラス |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 必修*,選必,選択 |
| 授業形態 | 単位数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 |

This course will teach students vocabulary pertaining t

o various topics, useful expressions and grammatical structures.

Universal topics with world themes will relate to the English language and global cultures.

Students will have practice in speaking and listening as well as viewing video scenarios with follow-up activities to reinforce understanding.

内容

| $\overline{}$ | |
|---------------|---------------------------------------|
| 1 | Unit 1. The people in my life |
| 2 | Video: A Favorite Keepsake |
| 3 | Student reports on their keepsake |
| 4 | Unit 2. Foods we like |
| 5 | Video: The Spicier the Better |
| 6 | Unit 3. A detective is on the case |
| 7 | Video: Elementary, my dear Tara! |
| 8 | Unit 4. Modern family trends |
| 9 | Video; You ought to get more exercise |
| 10 | Unit 5. Running errands |
| 11 | Video: Claudia's Errand Service |
| 12 | Student reports |
| 13 | Unit 6. Starting out |
| 14 | Video: The Letter |
| 15 | Student reports |

評価

Consistant attendance is necessary.

Active participation and steady improvement will be monitored each lesson.

Participation in activities - 35%. Listening activities - 20%.

Written reports - 25%. Skits - 20%.

The passing mark will be a 60% evaluation score.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Stempleski, Susan. World Link. Developing English Fluency. Second Edition Book 2. Heinle Cengage Learning.

| 科目名 | 英語 A (英会話) | | |
|--------|-------------------------|------------|-----------|
| 担当教員名 | リンダ ハウズマン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | クラス | 1Eクラス |
| 開講期 | 前期 | 修・選択の別 | 選択,選必,必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種 | 重免許状 / 小学村 | 交教諭一種免許状 |

This course will teach students vocabulary pertaining t

o various topics, useful expressions and grammatical structures.

Universal topics with world themes will relate to the English language and global cultures.

Students will have practice in speaking and listening as well as viewing video scenarios with follow-up activities to reinforce understanding.

内容

| 1 | Unit 1. The people in my life |
|----|---------------------------------------|
| 2 | Video: A Favorite Keepsake |
| 3 | Student reports on their keepsake |
| 4 | Unit 2. Foods we like |
| 5 | Video: The Spicier the Better |
| 6 | Unit 3. A detective is on the case |
| 7 | Video: Elementary, my dear Tara! |
| 8 | Unit 4. Modern family trends |
| 9 | Video; You ought to get more exercise |
| 10 | Unit 5. Running errands |
| 11 | Video: Claudia's Errand Service |
| 12 | Student reports |
| 13 | Unit 6. Starting out |
| 14 | Video: The Letter |
| 15 | Student reports |

評価

Consistant attendance is necessary.

Active participation and steady improvement will be monitored each lesson.

Participation in activities - 35%. Listening activities - 20%.

Written reports - 25%. Skits - 20%.

The passing mark will be a 60% evaluation score.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Stempleski, Susan. World Link. Developing English Fluency. Second Edition Book 2. Heinle Cengage Learning.

| 科目名 | 英語 A (英会話) | | |
|--------|-----------------------|--------------|-----------|
| 担当教員名 | アンソニー ルファ | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Fクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択,必修*,選必 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭 | 〕一種免許状 / 小学校 | 交教諭一種免許状 |

The goal of this class is to improve the student's spea king ability. Strategies, oral practice, and self-direc ted study habits are emphasized. Students will have expo sure to global topics and practical English as seen in the pop-culture.

内容

Students will engage in pair work, class discussions, g roup work, and self-study. Presentations and outside as

signments will be used. The skills of speaking and listening will be accentuated

| Signi | ments will be used. The skills of speaking and listening will be accentuated. |
|-------|---|
| 1 | Introductions |
| 2 | Greetings and nicknames. Topic on food. |
| 3 | Relevant topics are used for pair work and class discussion. |
| 4 | Cultural studies and personal habits |
| 5 | Travel topics |
| 6 | Family background |
| 7 | review |
| 8 | oral presentations/verb review |
| 9 | oral presentations/basic expressions and idioms |
| 10 | oral presentation/employment terms |
| 11 | Christmas information |
| 12 | Christmas carols and other cultural information |
| 13 | audio-visual challenges |
| 14 | listening drills |
| 15 | final report or presentation |
| | |

評価

Quizzes and/or final test (20%), Role Plays (20%), Participation (30%), and Presentations (30%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Topic Talk", David Martin, EFL Press

| 科目名 | 英語 A (英会話) |
|--------|---------------------------------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | 2 クラス 1Gクラス |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 選必,必修*,選択 |
| 授業形態 | 単位数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 |

This course will help students with self-expression and critical thinking skills, such as forming opinions and reacting to others' opinions on a variety of topics.

内容

The course includes basic listening skills and vocabulary needed to participate in discussions. How to agree and disagree and speak up in a timely fashion will be practiced.

| u150 | riscussions. How to agree and disagree and speak up in a timery rashion will be practiced. | | | |
|------|--|--|--|--|
| 1 | Orientation, Topics 1 and 2 | | | |
| 2 | Topics 3 and 4 | | | |
| 3 | Topics 5 and 6 | | | |
| 4 | Test on 1-6, continue with Topic 7 | | | |
| 5 | Presentations on favorite topic, do Topic 8 | | | |
| 6 | Topic 9, surveys, reports | | | |
| 7 | Topic 10, comprehensive speaking test | | | |
| 8 | Topics 12 and then 11 | | | |
| 9 | Topics 13 and 14 | | | |
| 10 | Test on 11-14, do Topic 15 | | | |
| 11 | Topics 17 and 18 | | | |
| 12 | Topics 19 and 24 | | | |
| 13 | Comprehensive speaking test | | | |
| 14 | Topic 22 and presentations | | | |
| 15 | Speaking activities in groups for topic 18 and 22 | | | |
| | | | | |

評価

oral reports 30%, group participation 20%, homework 20%, quizzes and final tests 30%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Martin, David, Topic Talk, EFL Press

| 科目名 | 英語 A (英会話) |
|--------|---------------------------------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学 年 | 3 クラス 1Hクラス |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 選択,必修*,選必 |
| 授業形態 | 単位数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 |

This course will help students with self-expression and critical thinking skills, such as forming opinions and reacting to others' opinions on a variety of topics.

内容

The course includes basic listening skills and vocabulary needed to participate in discussions. How to agree and disagree and speak up in a timely fashion will be practiced.

| u150 | riscussions. How to agree and disagree and speak up in a timery rashion will be practiced. | | | |
|------|--|--|--|--|
| 1 | Orientation, Topics 1 and 2 | | | |
| 2 | Topics 3 and 4 | | | |
| 3 | Topics 5 and 6 | | | |
| 4 | Test on 1-6, continue with Topic 7 | | | |
| 5 | Presentations on favorite topic, do Topic 8 | | | |
| 6 | Topic 9, surveys, reports | | | |
| 7 | Topic 10, comprehensive speaking test | | | |
| 8 | Topics 12 and then 11 | | | |
| 9 | Topics 13 and 14 | | | |
| 10 | Test on 11-14, do Topic 15 | | | |
| 11 | Topics 17 and 18 | | | |
| 12 | Topics 19 and 24 | | | |
| 13 | Comprehensive speaking test | | | |
| 14 | Topic 22 and presentations | | | |
| 15 | Speaking activities in groups for topic 18 and 22 | | | |
| | | | | |

評価

oral reports 30%, group participation 20%, homework 20%, quizzes and final tests 30%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Martin, David, Topic Talk, EFL Press

英語 A (英会話) 名 担当教員名 アンソニー ルファ ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 1Jクラス 必修・選択の別 期 前期 選必,必修*,選択 講 授業形態 位 資格関係 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

To develop speaking skills, students need to be exposed to English and use English as, much as possible. The o verall aim of this course is to provide students with p lenty of opportunities to listen to and to speak in Eng lish. At this level, students' development of listening skills and conversational language will be guided and

lead by interesting and relevant topics - topics related to everyday life.

内容

In order to maximize the development of listening and s peaking skills, students are encouraged to actively par ticipate in the wide variety of listening tasks (listen ing for topics, gist, details, attitudes, etc), speakin g activities (pair work, small groups, and whole class) , and the development of natural conversational strateg ies. Students are required to use English throughout th

e course and it is a strong factor in determining one's grades.

| 1 | Unit 1A: Nice to meet you. |
|----|--------------------------------------|
| 2 | Unit 1B: Making small talk. |
| 3 | Unit 2A: Where are you from? |
| 4 | Unit 2B: Favourite places in a city. |
| 5 | Unit 3A: Daily Routines. |
| 6 | Unit 3B: Going out with friends. |
| 7 | Review |
| 8 | Unit 4A: Likes and dislikes. |
| 9 | Unit 4B: Eating out. |
| 10 | Unit 5A: Finding out what people do. |
| 11 | Unit 5B: Giving Opinions |
| 12 | Unit 6A: Where's the subway station? |
| 13 | Unit 6B: Finding Places. |
| 14 | Review |
| 15 | Review |

Performance in the class (15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%): Active participation in class is essential.

Skits and roleplays (30%): Students express their creativity and what they have learned.

Homework (15%): Minor homework assignments will be given through the course.

Quizzes and Final Test(15%): Quizzes will be given through the course as well as a final test.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Talk a Lot, David Martin, EFL Press

英語 A (英会話) 名 目 アナ ウォーカー 担当教員名 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ラス 1Kクラス 期 前期 必修・選択の別 選必,必修*,選択 講 授業形態 位

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

This course is a communicative one where students will increase their fluency in speaking English. They will s peak about a variety of topics, for example, themselves, family and friends, sports and hobbies, music, and th

eir hopes and dreams for the future. They will have the opportunity to speak English in every lesson.

保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状

内容

資格関係

Week 1 Introductions

Week 2/3 Unit 1 All about the 'Real' me

Week 4/5 Unit 2 Friends Forever

Week 6/7 Unit 3 Findng a 'Special' Friend

Week 8/9 Unit 4 Shopping for Bargains

Week 10/11 Unit 5 Dreaming about Summer

Week 12/13 Unit 6 I'd better get a job

Week 14/15 Unit 7 What do you think?

評価

Grades will be based on course work, homework exercises, participation in class and an English project.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

'Face to Face' English for Today's Generation by Dale Fuller/Corey Fuller MacMillian Language House

| 科目名 | 英語 A (英会話) | |
|--------|------------------------|---------------------|
| 担当教員名 | アナ ウォーカー | |
| ナンバリング | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス 1Lクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 必修 * ,選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭- | 一種免許状/小学校教諭一種免許状 |

This course is a communicative one where students will

have a chance to speak English. Students have the chanc

e to make an English play and give a short performance.

The aim is to speak English in every lesson and become more proficient at expressing your opinions.

内容

Week 1/2 Unit 8 Rap Rock, and Reggae

Week 3/4 Unit 9 What a Character

Week 5/6 Unit 10 Money Matters

Week 7/8 Unit 11 Situations in Life

Week 9/10 Unit 12 Facing the Future

Week 11 English Play: Writing

Week 12 English Play: Script

Week 13 Making puppets

Week 14 Making backgrounds

Week 15 Presentations

評価

Grades will be based on course work, homework exercises, participation in class and an English project.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

'Face to Face' English for Today's Generation by Dale Fuller/Corey Fuller

MacMillian Language House

| 科目名 | 英語 A (英会話) |
|--------|---------------------------------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン |
| ナンバリング | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 |
| 学年 | 3 ク ラ ス 1Mクラス |
| 開講期 | 前期 必修・選択の別 選必,必修*,選択 |
| 授業形態 | 単 位 数 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 |

This course will help students with self-expression and critical thinking skills, such as forming opinions and reacting to others' opinions on a variety of topics.

内容

The course includes basic listening skills and vocabulary needed to participate in discussions. How to agree and disagree and speak up in a timely fashion will be practiced.

| u150 | riscussions. How to agree and disagree and speak up in a timery rashion will be practiced. | | | |
|------|--|--|--|--|
| 1 | Orientation, Topics 1 and 2 | | | |
| 2 | Topics 3 and 4 | | | |
| 3 | Topics 5 and 6 | | | |
| 4 | Test on 1-6, continue with Topic 7 | | | |
| 5 | Presentations on favorite topic, do Topic 8 | | | |
| 6 | Topic 9, surveys, reports | | | |
| 7 | Topic 10, comprehensive speaking test | | | |
| 8 | Topics 12 and then 11 | | | |
| 9 | Topics 13 and 14 | | | |
| 10 | Test on 11-14, do Topic 15 | | | |
| 11 | Topics 17 and 18 | | | |
| 12 | Topics 19 and 24 | | | |
| 13 | Comprehensive speaking test | | | |
| 14 | Topic 22 and presentations | | | |
| 15 | Speaking activities in groups for topic 18 and 22 | | | |
| | | | | |

評価

oral reports 30%, group participation 20%, homework 20%, quizzes and final tests 30%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Martin, David, Topic Talk, EFL Press

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|---|-------------|---------|-------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修 * ,選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資 格 関 係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | | |

The purpose of the course is to give students speaking practice.

Many topics will be discussed and students will practice question-making skills

for improving two-way exchanges.

Relevant vocabulary will be reinforced.

内容

The course will consist of 30 weeks with two weeks devo ted to each topic. Besides the textbook, students will do cultural activities and speaking/listening projects related to the topics.

Week1-3- Students will review and continue with the textbook and speaking activities.

Week 4-6 Students will study Units 2 and 9.

Week 7-10 - Cultural activities and a review test.

Week 11- 13 Students will continue with Units 6 and 8 in the textbook.

Week 14 and 15 - Students will discuss Units 5 and 6 with vocabulary review.

評価

Grades will be based on homework, in-class discussions, and tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Drayton and Gibbon, Let's Talk About It, Longman/Pearson

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|--------|---------------------------|-------------------------|-------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修 * ,選択,選必 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭 | _{前一種免許状 / 小学村} | 交教諭一種免許状 |

The purpose of the course is to give students speaking practice.

Many topics will be discussed and students will practice question-making skills

for improving two-way exchanges.

Relevant vocabulary will be reinforced.

内容

The course will consist of 30 weeks with two weeks devo ted to each topic. Besides the textbook, students will do cultural activities and speaking/listening projects related to the topics.

Week1-3- Students will review and continue with the textbook and speaking activities.

Week 4-6 Students will study Units 2 and 9.

Week 7-10 - Cultural activities and a review test.

Week 11- 13 Students will continue with Units 6 and 8 in the textbook.

Week 14 and 15 - Students will discuss Units 5 and 6 with vocabulary review.

評価

Grades will be based on homework, in-class discussions, and tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Drayton and Gibbon, Let's Talk About It, Longman/Pearson

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|---|-------------|---------|-------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 20クラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修 * ,選必,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | | |

The purpose of the course is to give students speaking practice.

Many topics will be discussed and students will practice question-making skills

for improving two-way exchanges.

Relevant vocabulary will be reinforced.

内容

The course will consist of 30 weeks with two weeks devo ted to each topic. Besides the textbook, students will do cultural activities and speaking/listening projects related to the topics.

Week1-3- Students will review and continue with the textbook and speaking activities.

Week 4-6 Students will study Units 2 and 9.

Week 7-10 - Cultural activities and a review test.

Week 11- 13 Students will continue with Units 6 and 8 in the textbook.

Week 14 and 15 - Students will discuss Units 5 and 6 with vocabulary review.

評価

Grades will be based on homework, in-class discussions, and tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Drayton and Gibbon, Let's Talk About It, Longman/Pearson

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|--|-------------|---------|-----------|
| 担当教員名 | リンダ ハウズマン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Dクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,必修*,選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | | |

This course will teach students vocabulary pertaining t

o various topics, useful expressions and grammatical structures.

Universal topics with world themes will relate to the English language and global cultures.

Students will have practice in speaking and listening as well as viewing video scenarios with follow-up activities to reinforce understanding.

内容

| 1 | Unit 7. Let's Celebrate |
|----|--------------------------------------|
| 2 | Video: Aloha everyone! |
| 3 | Unit 8. Fables and Fairy Tales |
| 4 | Video: Takeshi Presents "Cinderella" |
| 5 | Student reports |
| 6 | Student original fables continued. |
| 7 | Unit 9. The World of Work |
| 8 | Video: The Big Job Interview |
| 9 | Unit 10. Telecommunications |
| 10 | Video: Cell phones! |
| 11 | Unit 11. Technology Today |
| 12 | Video: The First Word Processor |
| 13 | Unit 12. Let's Go Somewhere! |
| 14 | Video: Mexico - here we come! |
| 15 | Student Travel reports |

評価

Consistant attendance is necessary.

Active participation and steady improvement will be monitored each lesson.

Participation in activities - 35%. Listening activities - 20%.

Written reports - 25%. Skits - 20%.

The passing mark will be a 60% evaluation score.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Stempleski,Susan. World Link. Developing English Fluency. Second Edition Book 2
Heinle Cengage Learning.

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|--|----------------------|--|--|
| 担当教員名 | リンダ ハウズマン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 ク ラ ス 2Eクラス | | |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 必修*,選必,選択 | | |
| 授業形態 | 単位数 1 | | |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | | |

This course will teach students vocabulary pertaining t

o various topics, useful expressions and grammatical structures.

Universal topics with world themes will relate to the English language and global cultures.

Students will have practice in speaking and listening as well as viewing video scenarios with follow-up activities to reinforce understanding.

内容

| 1 | Unit 7. Let's Celebrate |
|----|--------------------------------------|
| 2 | Video: Aloha everyone! |
| 3 | Unit 8. Fables and Fairy Tales |
| 4 | Video: Takeshi Presents "Cinderella" |
| 5 | Student reports |
| 6 | Student original fables continued. |
| 7 | Unit 9. The World of Work |
| 8 | Video: The Big Job Interview |
| 9 | Unit 10. Telecommunications |
| 10 | Video: Cell phones! |
| 11 | Unit 11. Technology Today |
| 12 | Video: The First Word Processor |
| 13 | Unit 12. Let's Go Somewhere! |
| 14 | Video: Mexico - here we come! |
| 15 | Student Travel reports |

評価

Consistant attendance is necessary.

Active participation and steady improvement will be monitored each lesson.

Participation in activities - 35%. Listening activities - 20%.

Written reports - 25%. Skits - 20%.

The passing mark will be a 60% evaluation score.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】Stempleski,Susan. World Link. Developing English Fluency. Second Edition Book 2
Heinle Cengage Learning.

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|--|----------------------|--|--|
| 担当教員名 | アンソニー ルファ | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 クラス 2Fクラス | | |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 選択,必修*,選必 | | |
| 授業形態 | 単 位 数 1 | | |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | | |

This course continues with the same objectives of the f

irst semester. More emphasize will be placed on individual study and expanded presentations.

内容

This class continues the student's progression in Engli

sh listening and speaking. Class handouts and group dis

cussions are emphasized as well as pair-work and interviewing techniques.

| | <u> </u> |
|----|---|
| 1 | Introductions |
| 2 | welcome back, vacations |
| 3 | travel discussions |
| 4 | family and friends |
| 5 | past tense and historical events |
| 6 | review |
| 7 | self-expression |
| 8 | presentations and work on idioms |
| 9 | presentations and work on expressions |
| 10 | presentations and pair-work |
| 11 | business English and review |
| 12 | holidays |
| 13 | group discussions on a pertinent topic- |
| 14 | review for test or class activity |
| 15 | presentation or report |
| | |

評価

The grade is based on class activity and achievement (5

0%), homework and presentations (30%), and reports and/or test (20%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Topic Talk, David Martin, EFL Press

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|--|----------------------|--|--|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | ク ラ ス 2Gクラス | | |
| 開講期 | 後期 必修・選択の別 選択,必修*,選必 | | |
| 授業形態 | 単位数 1 | | |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | | |

The purpose of this class is to improve conversation skills with a lot of practice.

Both listening and speaking are important in a two-way exchange. Students will learn some basic question-makin

g techniques as well as relevant vocabulary for extending conversations.

内容

The course will consist of two-week sessions per topic. Students will have a chance to do other topic-related activities, as well as cultural projects.

The course will continue as a speaking/listening class.

Students will learn about a variety of topics and how to build a conversation focusing on these topics.

Week 1-3- Students will review vocabulary and question

formation, to strengthen their discussuin skills. Topics 12 and 21 will be studied.

Week4-6- Topics 25 and 14, plus a group competitive information game.

Week 7-9- Review work, plus Topics 15 and 27 will be discussed.

Week 10-12- Topics 24 and 26, and reports in groups.

Week 13-15 - Culturally-related topics and current events will be discussed.

評価

Grades will be based on homework, in-class discussions, and tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

David Martin, Topic Talk, EFL Press

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|--|-------------|---------|-------------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 3 | ク ラ ス | 2Hクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 必修 * ,選必,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | | |

The purpose of this class is to improve students' conversation skills.

Many topics, vocabulary in context, and question-making skills will be the focus.

Students will learn to strengthen their ability to have longer, more in-depth two-way conversations.

内容

The course will consist of 30 weeks, with two-week sess ions per topic. There will be other activities for spea king/listening and vocabulary practice. Students will also study cultural current events to enrich their conversation.

Week 1-3 Students will review and discuss Topics 12 and 21.

Week 4-6 Students will continue with speaking activities and Topics 25 and 14.

Week 7-9 Students will review and present reports on Topic 14. Do Topic 15.

Week10-12 Students continue with Topic 15 and then Topic 27.

Week 13-15 Cultural events and current news events will be discussed.

評価

Grades will be based on homework, in-class discussions, and tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

David Martin, Topic Talk, EFL Press.

英語 B (英会話) 名 目 担当教員名 アンソニー ルファ ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2Jクラス 期 後期 必修・選択の別 必修 *,選必,選択 講 授業形態 位 資格関係 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

To develop speaking skills, students need to be exposed to English and use English as, much as possible. The o verall aim of this course is to provide students with p lenty of opportunities to listen to and to speak in Eng lish. At this level, students' development of listening skills and conversational language will be guided and lead by interesting and relevant topics - topics related to everyday life.

内容

In order to maximize the development of listening and s peaking skills, students are encouraged to actively par ticipate in the wide variety of listening tasks (listening for topics, gist, details, attitudes, etc), speaking activities (pair work, small groups, and whole class), and the development of natural conversational strategies. Students are required to use English throughout the course and it is a strong factor in determining one's grades.

| 1 L | Unit 7A: Homes and apartments |
|------|-------------------------------------|
| 2 l | Unit 7B: Homestay. |
| 3 (| Unit 8A: Keeping in touch. |
| 4 (| Unit 8B: Cool things. |
| 5 L | Unit 9A: Seasonal activities. |
| 6 L | Unit 9B: Weekend activities. |
| 7 F | Review |
| 8 L | Unit 10A: Prices. |
| 9 (| Unit 10B: Buying things in a store. |
| 10 L | Unit 11A: Things to see. |
| 11 L | Unit 11B: On vacation. |
| 12 l | Unit 12A: Childhood days. |
| 13 L | Unit 12B: Events to remember |
| 14 F | Review |
| 15 F | Review |

Performance in the class (15%): Anyone missing more than 4 classes will be given an F grade.

Effort and Participation (25%): Active participation in class is essential.

Skits and roleplays (30%): Students express their creativity and what they have learned.

Homework (15%): Minor homework assignments will be given through the course.

Quizzes and Final Test(15%): Quizzes will be given through the course as well as a final test.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Talk a Lot, David Martin, EFL Press

英語 B (英会話) 名 目 アナ ウォーカー 担当教員名 ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ラス 2Kクラス 期 後期 必修・選択の別 選択,選必,必修* 講 授業形態 位

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

This course is a communicative one where students will increase their fluency in speaking English. They will s peak about a variety of topics, for example, themselves, family and friends, sports and hobbies, music, and th

eir hopes and dreams for the future. They will have the opportunity to speak English in every lesson.

保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状

内容

資格関係

Week 1 Introductions

Week 2/3 Unit 1 All about the 'Real' me

Week 4/5 Unit 2 Friends Forever

Week 6/7 Unit 3 Findng a 'Special' Friend

Week 8/9 Unit 4 Shopping for Bargains

Week 10/11 Unit 5 Dreaming about Summer

Week 12/13 Unit 6 I'd better get a job

Week 14/15 Unit 7 What do you think?

評価

Grades will be based on course work, homework exercises, participation in class and an English project.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

'Face to Face' English for Today's Generation by Dale Fuller/Corey Fuller MacMillian Language House

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|--------|---|---------|-----------|
| 担当教員名 | アナ ウォーカー | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 2Lクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,選択,必修* |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 資 格 関 係 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状 | | |

This course is a communicative one where students will

have a chance to speak English. Students have the chanc

e to make an English play and give a short performance.

The aim is to speak English in every lesson and become more proficient at expressing your opinions.

内容

Week 1/2 Unit 8 Rap Rock, and Reggae

Week 3/4 Unit 9 What a Character

Week 5/6 Unit 10 Money Matters

Week 7/8 Unit 11 Situations in Life

Week 9/10 Unit 12 Facing the Future

Week 11 English Play: Writing

Week 12 English Play: Script

Week 13 Making puppets

Week 14 Making backgrounds

Week 15 Presentations

評価

Grades will be based on course work, homework exercises, participation in class and an English project.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

'Face to Face' English for Today's Generation by Dale Fuller/Corey Fuller

MacMillian Language House

| 科目名 | 英語 B (英会話) | | |
|--|-------------|---------|-----------|
| 担当教員名 | アリス スウェンソン | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 3 | ク ラ ス | 2Mクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選必,必修*,選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/養護教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | | |

The purpose of this class is to improve students' conversation skills.

Many topics, vocabulary in context, and question-making skills will be the focus.

Students will learn to strengthen their ability to have longer, more in-depth two-way conversations.

内容

The course will consist of 30 weeks, with two-week sess ions per topic. There will be other activities for spea king/listening and vocabulary practice. Students will also study cultural current events to enrich their conversation.

Week 1-3 Review and discussion of Topics 12 and 21

Week 4-6 Students will continue with Topics 25 and 14.

Week 7-9 Review and student reports in groups, from Topic 14.

Week 10-12 Students will continue with Topics 15 and 27.

Week 13-15 Discussions and activities related to Topic

27 and culturally-related activities will be emphasized in these classes.

評価

Grades will be based on homework, in-class discussions, and tests.

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

David Martin, Topic Talk, EFL Press.

 科目名
 英語 A (時事英語)

 担当教員名
 湊和夫

 ナンバリング
 ウラス

 学年3
 クラス

 開講期前期
 必修・選択の別選択,選必

 授業形態
 単位数1

 資格関係
 保育士資格/養護教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、新聞・放送の英語ニュースの理解力を高めることを目標とする。

教科書は、The New York Times, The Washington Post, The Jap

an Times, Kyodo News などから選んだ記事から成り立っており、2010年5月のヨーロッパの金

融危機から、7月に日本がパラグアイにPK戦で敗れるなどの、さまざまな興味深い内容を網羅している。

しかし、教科書だけでは、その後、日本や世界各地で起きた大きな事件や出来事はカバー出来ないので、これらは、教員 が英字新聞から適宜、選択し、その都度、授業で紹介し、勉強する。

授業では、毎回、ほぼ全員が発言・発表を求められる。期末テストとは別に、定期的に小テストを実施する。

内容

1回目の授業では、時事英語に特有な語法や表現について講義する。

2回目以降の授業では、この教科書の計24章のうち、前半の次の12章について、各章を1回もしくは2回で終えるようにしながら、講義を進める。

- 1.読書はネットで
- 2. 教科書が分厚くなるだけ?
- 3.新疆ウイグル自治区 半年間ネット接続できず
- 4.ヨーロッパで「マンガ」大ブーム
- 5 . 黒人か白人か? 国勢調査が選択を迫る
- 6.日本、パラグアイにPK戦負け
- 7.勉強もネットで
- 8.マグロ取引と象牙取引
- 9.「孔子」対「アバター」 中国人の心情を問う闘い
- 10.日本食品 世界中でブームに
- 11.イスラム教徒に生まれて
- 12.ヨーロッパの金融危機
- 15回目の授業で「まとめ」を行う。

評価

口頭発表と小テスト(40点)、試験(60点)、計100点満点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

高橋優身、伊藤典子、Richard Powell共著 English through the News Media--2011 Edition--

(ニュースメディアの英語ー演習と解説2011年度版ー) 朝日出版社。

 科目名
 英語 B (時事英語)

 担当教員名
 湊和夫

 ナンパリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年3
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別選択,選必

 授業形態
 単位数

 資格関係保育士資格/養護教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

この科目は、前期で学んだ「英語 A (時事英語)」の継続であり、引き続き、新聞・放送の英語ニュースの理解力を高めることを目標として行われる。教科書も、前期と同じものを使用し、その後半部分について勉強する。

ただし、教科書だけでは、その後、日本や世界各地で起きた大きな事件や出来事は網羅できない。そこで、これらは、教員が英字新聞から適宜、選択し、その都度、授業で紹介し、勉強する。このやり方も、前期の「英語 A (時事英語)」と全く同じである。

そして、前期と同じように、この授業でも、受講者は毎回、ほぼ全員が発言・発表を求められる。期末テストとは別に、 定期的に小テストを実施する。

内容

1回目の授業では、時事英語に特有な語法や表現について講義する。

2回目以降の授業では、この教科書の計24章のうち、後半の12章について、各章を1回もしくは2回で終えるようにしながら、講義を進める。

- 13.英国自民党、保守党との連立を考慮
- 14.あのドバイが地域経済の足を引っ張る?
- 15.日米比較: 謝罪の仕方
- 16. モバイル市場の決め手は若い女性
- 17.メコン川流域 水不足と相互不信
- 18.バルカン超特急に乗って
- 19.スポーツ選手とスポンサー
- 20.イスラエルはどこもロシアだらけ
- 21.英語の新教授法 サイレントウェイ
- 22.冬季五輪次回開催地に幻滅と不安が
- 23.ツイッターの普及で大統領の人気急落
- 24.バンクーバー五輪 日本人選手の活躍
- 15回目の授業で「まとめ」を行う。

評価

口頭発表と小テスト(40点)、試験(60点)、計100点満点で、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

高橋優身、伊藤典子、Richard Powell共著 English through the News Media--2011 Edition--

(ニュースメディアの英語ー演習と解説 2011年度版一) 朝日出版社。

 科目名
 フランス語A(基礎)

 担当教員名
 大原 知子

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 1Aクラス

 開講期前期 が修・選択の別選択
 選択

 授業形態
 単位数 1

 資格関係
 保育土資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

EUの公用語の一つ、フランス語を基礎から学びます。まず、教科書を通して、平易なフランス語の文章から、語彙や文法を学習し、同時にフランスの若者の日常生活を扱ったビデオ教材を通して簡単な会話表現を習得していきます。このため、日常会話に必要な最低限度の単語を覚え、口頭のテストを受けます(これは失敗しても何度も受けられる)。

また、フランスやパリを背景とした映画や教養ビデを鑑賞し、フランス文化にも触れます。ここでは現在形まで学びます。辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級の問題も扱いますので、皆ざんも、ぜひ受験してみてください

内容

- 【第1回】a I phabet /つづり字記号、フランス語の音、テスト用基本単語のプリント配布
- 【第2回】あいさつと自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業など
- 【第3回】「何が好き?」第一群規則動詞 名詞の性と数/ 最近のフランス
- 【第4回】「何が好き?」否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞 フランスの地理
- 【第5回】「紹介・家族は?」 動詞「venjr」 否定文
- 【第6回】「紹介・家族は? 家は?」 形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞
- 【第7回】「何をする?)どこに行く?」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フランスの文化1
- 【第8回】「何をする? どこに行く?」疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞 aller/venir/faire/prendre の応用
- 【第9回】「どんな授業が好き?」疑問形容詞/比較級/命令法
- 【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現;天気、月・数(序数)フランスの文化2
- 【第11回】「何時に待ち合わせ?」 疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)、最上級、/暦
- 【第12回】「何時に待ち合わせ?」 代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現
- 【第13回】「誕生日おめでとう」vouIoir/pouvoir/devoir(欲求・可能・義務を示す動詞)
- 【第14回】「誕生日おめでとう」不規則変化の動詞/フランスの社会問題
- 【第15回】復習とまとめ

評価

単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

EUの公用語の一つ、フランス語を基礎から学びます。まず、教科書を通して、平易なフランス語の文章から、語彙や文法を学習し、同時にフランスの若者の日常生活を扱ったビデオ教材を通して簡単な会話表現を習得していきます。このため、日常会話に必要な最低限度の単語を覚え、口頭のテストを受けます(これは失敗しても何度も受けられる)。

また、フランスやパリを背景とした映画や教養ビデを鑑賞し、フランス文化にも触れます。前期は現在形まで学びます。 辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級の問題も扱いますので、皆ざんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】alphabet/つづり字記号、フランス語の音、テスト用基本単語のプリント配布
- 【第2回】あいさつと自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業など
- 【第3回】「何が好き?」第一群規則動詞 名詞の性と数/ 最近のフランス
- 【第4回】「何が好き?」否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞 フランスの地理
- 【第5回】「紹介・家族は?」 動詞「venjr」 否定文
- 【第6回】「紹介・家族は? 家は?」 形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞
- 【第7回】「何をする?)どこに行く?」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フランスの文化1
- 【第8回】「何をする? どこに行く?」疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞 aller/venir/faire/prendre の応用
- 【第9回】「どんな授業が好き?」疑問形容詞/比較級/命令法
- 【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現;天気、月・数(序数)フランスの文化2
- 【第11回】「何時に待ち合わせ?」 疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)、最上級、/暦
- 【第12回】「何時に待ち合わせ?」 代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現
- 【第13回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求・可能・義務を示す動詞)
- 【第14回】「誕生日おめでとう」不規則変化の動詞/フランスの社会問題
- 【第15回】復習とまとめ

評価

単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

EUの公用語の一つ、フランス語を基礎から学びます。まず、教科書を通して、平易なフランス語の文章から、語彙や文法を学習し、同時にフランスの若者の日常生活を扱ったビデオ教材を通して簡単な会話表現を習得していきます。このため、日常会話に必要な最低限度の単語を覚え、口頭のテストを受けます(これは失敗しても何度も受けられる)。

また、フランスやパリを背景とした映画や教養ビデを鑑賞し、フランス文化にも触れます。前期は現在形まで学びます。 辞書は必ず持って出席してください。復習として仏検5級の問題も扱いますので、皆ざんも、ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】alphabet/つづり字記号、フランス語の音、テスト用基本単語のプリント配布
- 【第2回】あいさつと自己紹介 文法 動詞?treとavoir/職業など
- 【第3回】「何が好き?」第一群規則動詞 名詞の性と数/ 最近のフランス
- 【第4回】「何が好き?」否定文の作り方 不定冠詞と定冠詞 フランスの地理
- 【第5回】「紹介・家族は?」 動詞「venjr」 否定文
- 【第6回】「紹介・家族は? 家は?」 形容詞の性と数/疑問文/所有形容詞
- 【第7回】「何をする?)どこに行く?」動詞aller/faire 指示形容詞/前置詞と定冠詞の縮約形/フランスの文化1
- 【第8回】「何をする? どこに行く?」疑問詞/人称代名詞の強勢形/近接未来と近接過去 不規則動詞 aller/venir/faire/prendre の応用
- 【第9回】「どんな授業が好き?」疑問形容詞/比較級/命令法
- 【第10回】「カフェで」部分冠詞/非人称表現;天気、月・数(序数)フランスの文化2
- 【第11回】「何時に待ち合わせ?」 疑問形容詞/人称代名詞(間接目的補語)、最上級、/暦
- 【第12回】「何時に待ち合わせ?」 代名動詞、疑問形容詞、il fautの表現
- 【第13回】「誕生日おめでとう」vouloir/pouvoir/devoir(欲求・可能・義務を示す動詞)
- 【第14回】「誕生日おめでとう」不規則変化の動詞/フランスの社会問題
- 【第15回】復習とまとめ

評価

単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

 科目名
 フランス語B(文化)

 担当教員名
 大原知子

 ナンバリング
 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 2Aクラス

 開講期後期
 後期

 授業形態
 単位数 1

科目の概要

ここではフランス語の会話とフランス文化を中心に学びます。フランスの若者の学校生活を背景にしたビデオを通して、基礎的な会話表現を増やしていくことを目指します。会話や文法の学習が容易になるよう、数字、建物、天候や時間の表現に必要な単語を項目ごとに暗記し、口頭テストとします。この口頭テストは失敗しても何度も受けられ、全体の成績の30%となります。またテーマの節目に、ビデオや映画鑑賞も含めて、パリやフランスの歴史と芸術を学習します。文法はフランス詩などを通して、過去形を学びます。復習として仏検5級、4級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

資格関係

ねらい(科目の性格

- 【第1回】「昨日何をした?」過去時制1) 複合過去1(avoir+過去分詞)/フランスの社会問題1/ パリの街(芸術散歩)
- 【第2回】「昨日何をした?」過去時制1) 複合過去2(?tre+過去分詞) 洋服屋で

保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状

学修目標)

- 【第3回】複合過去時制の応用 Jacques Pr?vertの詩
- 【第4回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)
- 【第5回】「病院で」(過去時制2) 半過去時制/関係代名詞/中性代名詞1)en
- 【第6回】「食事に呼ばれる」強調構文/受動態/internet用語/中性代名詞2)v
- 【第7回】「何になりたい?」単純未来 /観光 「フランスの芸術」(音楽・美術)
- 【第8回】「何になりたい?」ジェロンディフ(~しながら)
- 【第9回】「パリの観光」ノートルダム寺院とセーヌ川/感嘆文
- 【第10回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第11回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第12回】後期の復習 Jacques Pr?vertの詩を通して
- 【第13回】平易なフランス文を読む(教科書から)
- 【第14回】フランス映画「アメリー」からよく使う表現を学ぶ
- 【第15回】後期のまとめとフランス語の叙法について(直説法・条件法・接続法など)

評価

評価 単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

 科 目 名
 フランス語 B (文化)

 担当教員名
 大原 知子

 ナンバリング
 サ 人間生活学部-共通科目

 学 年 2
 ク ラ ス 2Bクラス

 開 講 期 後期
 必修・選択の別 選択

 授業 形態
 単 位 数 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

(フランス文化B)ここではフランス語の会話とフランス文化を中心に学びます。フランスの若者の学校生活を背景にした ビデオを通して、基礎的な会話表現を増やしていくことを目指します。会話や文法の学習が容易になるよう、数字、建物、 天候や時間の表現に必要な単語を項目ごとに暗記し、口頭テストとします。この口頭テストは失敗しても何度も受けられ、 全体の成績の30%となります。またテーマの節目に、ビデオや映画鑑賞も含めて、パリやフランスの歴史と芸術を学習し ます。文法はフランス詩などを通して、過去形を学びます。復習として仏検5級、4級の問題も扱いますので、皆さんも、 ぜひ受験してみてください。

内容

- 【第1回】「昨日何をした?」過去時制1) 複合過去1(avoir+過去分詞)/フランスの社会問題1/ パリの街 (芸術散歩)
- 【第2回】「昨日何をした?」過去時制1) 複合過去2(?tre+過去分詞) 洋服屋で
- 【第3回】複合過去時制の応用 Jacques Pr?vertの詩
- 【第4回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)
- 【第5回】「病院で」(過去時制2) 半過去時制/関係代名詞/中性代名詞1)en
- 【第6回】「食事に呼ばれる」強調構文/受動態/internet用語/中性代名詞2)v
- 【第7回】「何になりたい?」単純未来 /観光 「フランスの芸術」(音楽・美術)
- 【第8回】「何になりたい?」ジェロンディフ(~しながら)
- 【第9回】「パリの観光」ノートルダム寺院とセーヌ川/感嘆文
- 【第10回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第11回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第12回】後期の復習 Jacques Pr?vertの詩を通して
- 【第13回】平易なフランス文を読む(教科書から)
- 【第14回】フランス映画「アメリー」からよく使う表現を学ぶ
- 【第15回】後期のまとめとフランス語の叙法について(直説法・条件法・接続法など)

評価

評価 単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

 科目名
 フランス語B(文化)

 担当教員名
 大原知子

 ナンバリング
 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス 20クラス

 開講期 後期
 必修・選択の別 選択

 授業形態
 単位数 1

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ここではフランス語の会話とフランス文化を中心に学びます。フランスの若者の学校生活を背景にしたビデオを通して、基礎的な会話表現を増やしていくことを目指します。会話や文法の学習が容易になるよう、数字、建物、天候や時間の表現に必要な単語を項目ごとに暗記し、口頭テストとします。この口頭テストは失敗しても何度も受けられ、全体の成績の30%となります。またテーマの節目に、ビデオや映画鑑賞も含めて、パリやフランスの歴史と芸術を学習します。文法はフランス詩などを通して、過去形を学びます。復習として仏検5級、4級の問題も扱いますので、皆さんも、ぜひ受験してみてください。

内容

資格関係

- 【第1回】「昨日何をした?」過去時制1) 複合過去1(avoir+過去分詞)/フランスの社会問題1/ パリの街(芸術散歩)
- 【第2回】「昨日何をした?」過去時制1) 複合過去2(?tre+過去分詞) 洋服屋で

保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状

- 【第3回】複合過去時制の応用 Jacques Pr?vertの詩
- 【第4回】「君が好き」補語人称代名詞(直接目的語と間接目的語)
- 【第5回】「病院で」(過去時制2) 半過去時制/関係代名詞/中性代名詞1)en
- 【第6回】「食事に呼ばれる」強調構文/受動態/internet用語/中性代名詞2)v
- 【第7回】「何になりたい?」単純未来 /観光 「フランスの芸術」(音楽・美術)
- 【第8回】「何になりたい?」ジェロンディフ(~しながら)
- 【第9回】「パリの観光」ノートルダム寺院とセーヌ川/感嘆文
- 【第10回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第11回】日本語表現からフランス語表現へ「もののけ姫」の鑑賞を通して
- 【第12回】後期の復習 Jacques Pr?vertの詩を通して
- 【第13回】平易なフランス文を読む(教科書から)
- 【第14回】フランス映画「アメリー」からよく使う表現を学ぶ
- 【第15回】後期のまとめとフランス語の叙法について(直説法・条件法・接続法など)

評価

評価 単語テスト3割、筆記テスト7割 60点以上を合格とする

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名 スペイン語A(基礎)

担当教員名

アンソニー ルファ

ナンバリング

学 科 人間生活学部-共通科目

学 年 2

ク ラ ス 1Aクラス

開 講 期 前期

必修・選択の別 選択

授業形態

単位数 1

資格関係

保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Spanish is one of the most important languages in the w orld. It now rivals English and Chinese in importance.T wenty-one countries claim it as the mother tongue. The aim of this class is to enable students to communicate by speaking and writing the language as well to develop a reading proficiency.

ay opening and according to according processing

内容

Students concentrate on the four skills of reading, writing, listening, and speaking Spanish.

Week 1-3 Introduction to the language/pronunciation/rules for accentuation/cultural information

Week 4-6 Beginning expressions/rudiments of verb conjugations/ser vs. estar

Week 7-9 Verbs-tener, hacer, querer/weather expressions

Week 10-12 Introduction to adverbs, adjectives, and pronouns

Week 13-15 Review ande presentations

評価

Students are evaluated during each class by means of or al participation (40%),quizzes (20%),and tests and/or presentations (40%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Various handouts are used along with supplementary texts

 科目名
 スペイン語A(基礎)

 担当教員名
 アンソニー ルファ

 ナンバリング
 サース

 学科
 人間生活学部-共通科目

 学年
 2

 開講期
 前期

 必修・選択の別
 選択

位

資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Spanish is one of the most important languages in the w orld. It now rivals English and Chinese in importance.T wenty-one countries claim it as the mother tongue. The aim of this class is to enable students to communicate by speaking and writing the language as well to develop a reading proficiency.

by speaking and writing the ranguage as well to develop a reading proficency

内容

授業形態

Students concentrate on the four skills of reading, writing, listening, and speaking Spanish.

Week 1-3 Introduction to the language/pronunciation/rules for accentuation/cultural information

Week 4-6 Beginning expressions/rudiments of verb conjugations/ser vs. estar

Week 7-9 Verbs-tener, hacer, querer/weather expressions

Week 10-12 Introduction to adverbs, adjectives, and pronouns

Week 13-15 Review and presentations

評価

Students are evaluated during each class by means of or al participation (40%),quizzes (20%),and tests and/or presentations (40%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Various handouts are used along with supplementary texts

科 目 名スペイン語A (基礎)担当教員名アンソニー ルファナンバリング学 科 人間生活学部-共通科目

1Cクラス

開講期前期必修・選択の別選択

授業形態 単位数 1

資格関係 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

年

Spanish is one of the most important languages in the world. It now rivals English and Chinese in importance.T wenty-one countries claim it as the mother tongue. The aim of this class is to enable students to communicate

by speaking and writing the language as well to develop a reading proficiency.

内容

Students concentrate on the four skills of reading, writing, listening, and speaking Spanish.

Week 1-3 Introduction to the language/pronunciation/rules for accentuation/cultural information

Week 4-6 Beginning expressions/rudiments of verb conjugations/ser vs. estar

Week 7-9 Verbs-tener, hacer, querer/weather expressions

Week 10-12 Introduction to adverbs, adjectives, and pronouns

Week 13-15 Review and presentations

評価

Students are evaluated during each class by means of or al participation (40%),quizzes (20%),and tests and/or presentations (40%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Various handouts are used along with supplementary texts

| 科目名 | スペイン語B(文化) | | |
|--------|-----------------------|-----------------|-------|
| 担当教員名 | アンソニー ルファ | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教 | 教諭一種免許 状 | |

Since Spanish is important in the world, it is importan

t to continue studying about the language and culture.

Students further develop skills needed for fluency. Spe

aking and listening are emphasized while students continue basic readings.

内容

Students concentrate on the four skills but emphasize is placed on speaking and listening.

Week One-Review of the first semester

Week Two-Review and introduction to some basic idioms

Week Three to Four- Lecture on Spanish speaking celebrities and important contributors such as Frida Kahlo

Week Five to Eight- Study of the geography, culture, and personalities of Spain.

Week Nine to Twelve-Further study of grammatical constructions such as commands, subjunctive

Week Thirteen to Fifteen-To be determined according to class progress and teacher's choice

評価

Students are evaluation on class performance and participation (50%), quizzes (30%), and a final test and/or project (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Class handouts, supplementary texts, and workbooks will be used

| 科目名 | スペイン語B(文化) | | |
|--------|-----------------------|--------------------|-------|
| 担当教員名 | アンソニー ルファ | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教 | 牧諭一種免許状 | |

Since Spanish is important in the world, it is importan

t to continue studying about the language and culture.

Students further develop skills needed for fluency. Spe

aking and listening are emphasized while students continue basic readings.

内容

Students concentrate on the four skills but emphasize is placed on speaking and listening.

Week One-Review of the first semester

Week Two-Review and introduction to some basic idioms

Week Three to Four- Lecture on Spanish speaking celebrities and important contributors such as Frida Kahlo

Week Five to Eight- Study of the geography, culture, and personalities of Spain.

Week Nine to Twelve-Further study of grammatical constructions such as commands, subjunctive

Week Thirteen to Fifteen-To be determined according to class progress and teacher's choice

評価

Students are evaluation on class performance and participation (50%), quizzes (30%), and a final test and/or project (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Class handouts, supplementary texts, and workbooks will be used

スペイン語B(文化) 担当教員名 アンソニー ルファ ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 2Cクラス 必修・選択の別 講 期 後期 選択 授業形態 位 資格関係 保育士資格 / 幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

Since Spanish is important in the world, it is importan

t to continue studying about the language and culture.

Students further develop skills needed for fluency. Spe

aking and listening are emphasized while students continue basic readings.

内容

Students concentrate on the four skills but emphasize is placed on speaking and listening.

Week One-Review of the first semester

Week Two-Review and introduction to some basic idioms

Week Three to Four- Lecture on Spanish speaking celebrities and important contributors such as Frida Kahlo

Week Five to Eight- Study of the geography, culture, and personalities of Spain.

Week Nine to Twelve-Further study of grammatical constructions such as commands, subjunctive

Week Thirteen to Fifteen-To be determined according to class progress and teacher's choice

評価

Students are evaluation on class performance and participation (50%), quizzes (30%), and a final test and/or project (20%).

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

Class handouts, supplementary texts, and workbooks will be used

スペイン語 C (応用) 担当教員名 アンソニー ルファ ナンバリング 科 人間生活学部-共通科目 年 ラス 必修・選択の別 選択 期 前期 講 授業形態 位 資格関係 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

This course introduces the student to the "Spanish-speaking"world with emphasizes on the culture, language, and influence. A basic introduction to the Spanish languages is given.

内容

The student studies all the Spanish speaking countries with the emphasis on Spain, Mexico, and Peru. Videos, music, and literature are discussed.

Week One-Introductions

Week Two to Five-A survey of Spanish speaking countries. A brief introduction into the Spanish language with exercises on pronunciation and accentuation.

Week Six to Ten-A brief biography of Frida Kahlo with Mexican artifacts displayed.

Spanish vocabulary studied with beginning phrases and idioms related to the weather and family

Week Eleven to Thirteen-Spanish grammar, verb synopses, and Peruvian food and geography introduced

Week Fourteen to Fifteen-Review of all topics discussed above. Presentation or report

評価

A grade is determined according to achievement and activity in class (50%), tests and quizzes (30%), and group work (20%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Hola, Que Tal?"Isano, et al., Asahi Press

 科目名
 スペイン語D(会話)

 担当教員名
 アンソニー ルファ

 ナンバリング
 学科 人間生活学部-共通科目

 学年2
 クラス

 開講期後期
 必修・選択の別選択

 授業形態
 単位数

 資格関係
 保育士資格

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

This class studies the rudiments of the Spanish language and a sampling of Spanish culture.

The Argentine legend Eva Peron, "Evita" is studied from a political and linguistic point of view. Spanish food

is introduced via locally made menus, videos and brochures.

内容

The class will have exercises and discussions on the Sp anish language to help elucidate the "Spanish-speaking" world. Role plays and pair work will be utilized.

Week One-Introductions

Week Two-The rudiments of the Spanish language:pronunciation and accentuation

Week Three to Week Seven-An overview of the Spanish language-articles, verb tenses and moods, basic vocabulary devoted to the family, relatives, and friends.

Week Eight-A study of Evita Peron and Argentina

Week Nine-Spanish numbers and oral contests such as Spanish bingo

Week Ten-Spanish pronouns and the verb ser

Week Eleven to Fourteen-Spanish idioms and verb analyses-tener, querer, haber, salir, and estar.

Week Fifteen-Report and/or presentaion

評価

The grade will be based on projects and reports (40%), class activity (40), and fluency in the languages (20%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

"Hola, Que Tal?" Isano, et al., Asahi Press

| 科目名 | 中国語A(基礎) | | |
|--------|-----------------------|-----------------|-------|
| 担当教員名 | 池間 里代子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Aクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教 | 坟諭一種免許 状 | |

科目の性格

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。言葉の学習だけではなく、背景にある歴史や文化も映像資料などによって紹介します。今後ますます重要度を増す「中国語」の基本を作っていきます。

科目の概要

毎回正しい発音が身についているかをチェックします。読む・聴く・話す・書くのバランスを取りながら、少しずつ積み重ねていきます。しかし、授業ではどうしても発音と文法理解に時間をかけますから、聴く力は積極的に時間を作ってCDを聴くようにしましょう。

学修目標

中国語の基本的な力を身につけることを目標にします。

- 1.正しく発音できること
- 2. 学んだ範囲の事を聴いて理解できること
- 3. 文法が理解できて文章が翻訳できること
- 4.簡単な自己紹介ができること。

これらを身につけることで、中国語検定試験にチャレンジする素地がととのうのです。楽しく頑張りましょう。

内容

| 1 | ガイダンス・中国語概説 |
|----|---------------|
| 2 | 発音概説 |
| 3 | 第1課 人称・「是」構文 |
| 4 | 第2課 疑問文・副詞 |
| 5 | 第3課 動詞文・助詞 |
| 6 | 中国の文化 |
| 7 | 第4課 量詞・形容詞文 |
| 8 | 第5課 完了・助動詞 |
| 9 | 第 6 課 数字関連 |
| 10 | 検定試験について |
| 11 | リーディング・リスニング |
| 12 | ライティング・スピーキング |
| 13 | 総括 |
| 14 | 確認作業 |
| 15 | まとめ |

小テスト3回(30点)と授業態度(20点)を平常点とし、試験(50点)の点数を足して評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子他 南雲堂フェニックス

| 科目名 | 中国語A(基礎) | | |
|--------|-----------------------|-----------------|-------|
| 担当教員名 | 池間 里代子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 1Bクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教 | 收諭一種免許 状 | |

科目の性格

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。言葉の学習だけではなく、背景にある歴史や文化も映像資料などによって紹介します。今後ますます重要度を増す「中国語」の基本を作っていきます。

科目の概要

毎回正しい発音が身についているかをチェックします。読む・聴く・話す・書くのバランスを取りながら、少しずつ積み重ねていきます。しかし、授業ではどうしても発音と文法理解に時間をかけますから、聴く力は積極的に時間を作ってCDを聴くようにしましょう。

学修目標

中国語の基本的な力を身につけることを目標にします。

- 1.正しく発音できること
- 2. 学んだ範囲の事を聴いて理解できること
- 3. 文法が理解できて文章が翻訳できること
- 4.簡単な自己紹介ができること。

これらを身につけることで、中国語検定試験にチャレンジする素地がととのうのです。楽しく頑張りましょう。

内容

| 1 | ガイダンス・中国語概説 |
|----|---------------|
| 2 | 発音概説 |
| 3 | 第1課 人称・「是」構文 |
| 4 | 第2課 疑問文・副詞 |
| 5 | 第3課 動詞文・助詞 |
| 6 | 中国の文化 |
| 7 | 第4課 量詞・形容詞文 |
| 8 | 第5課 完了・助動詞 |
| 9 | 第 6 課 数字関連 |
| 10 | 検定試験について |
| 11 | リーディング・リスニング |
| 12 | ライティング・スピーキング |
| 13 | 総括 |
| 14 | 確認作業 |
| 15 | まとめ |

小テスト3回(30点)と授業態度(20点)を平常点とし、試験(50点)の点数を足して評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子他 南雲堂フェニックス

| 科目名 | 中国語A(基礎) | | |
|--------|-----------------------|-----------------|-------|
| 担当教員名 | 池間 里代子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学年 | 2 | ク ラ ス | 1Cクラス |
| 開講期 | 前期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単位数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教 | 收諭一種免許 状 | |

科目の性格

中国語の特徴・発音・基本文法を学びます。言葉の学習だけではなく、背景にある歴史や文化も映像資料などによって紹介します。今後ますます重要度を増す「中国語」の基本を作っていきます。

科目の概要

毎回正しい発音が身についているかをチェックします。読む・聴く・話す・書くのバランスを取りながら、少しずつ積み重ねていきます。しかし、授業ではどうしても発音と文法理解に時間をかけますから、聴く力は積極的に時間を作ってCDを聴くようにしましょう。

学修目標

中国語の基本的な力を身につけることを目標にします。

- 1.正しく発音できること
- 2. 学んだ範囲の事を聴いて理解できること
- 3. 文法が理解できて文章が翻訳できること
- 4.簡単な自己紹介ができること。

これらを身につけることで、中国語検定試験にチャレンジする素地がととのうのです。楽しく頑張りましょう。

内容

| 1 | ガイダンス・中国語概説 |
|----|---------------|
| 2 | 発音概説 |
| 3 | 第1課 人称・「是」構文 |
| 4 | 第2課 疑問文・副詞 |
| 5 | 第3課 動詞文・助詞 |
| 6 | 中国の文化 |
| 7 | 第4課 量詞・形容詞文 |
| 8 | 第5課 完了・助動詞 |
| 9 | 第 6 課 数字関連 |
| 10 | 検定試験について |
| 11 | リーディング・リスニング |
| 12 | ライティング・スピーキング |
| 13 | 総括 |
| 14 | 確認作業 |
| 15 | まとめ |

小テスト3回(30点)と授業態度(20点)を平常点とし、試験(50点)の点数を足して評価を行ない、60点以上を合格とします。合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子他 南雲堂フェニックス

| 科目名 | 中国語 B (文化) | | |
|--------|-----------------------|----------------|-------|
| 担当教員名 | 池間 里代子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Aクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教 | 対諭一種免許状 | |

科目の性格

前期で学んだ中国語の発音・基礎文法をふまえて、中国語を通して中国が理解できるよう、学んでいきます。テキストにある「コラム」を発端として、日本との相違を意識します。

科目の概要

授業では正しい発音を常にチェックします。また、より高度な文法を学びます。さらに、語彙を増やして自分の言いたい ことを「中国語で言える」「中国語で書ける」よう、練習を積み重ねます。

学修目標

- 1.テキストを正しい発音で読めること
- 2.練習問題が完璧にできること
- 3. やや長い文章を聴いて理解できること
- 4. 言いたいことを言え、かつ書けること

さらに、希望する学生には中国語検定試験準4級・4級の情報を与えますので、ぜひともチャレンジしてみましょう。

内容

| 1 | 前期内容の復習 |
|----|-----------------|
| 2 | 第7課 前置詞・反復疑問文 |
| 3 | 第8課 助動詞・前置詞 |
| 4 | 第9課 アスペクト助詞・前置詞 |
| 5 | リーディング・リスニング |
| 6 | 第10課 助動詞・重ね型 |
| 7 | 第11課 進行形・選択疑問文 |
| 8 | 第12課 比較表現 |
| 9 | ライティング・リスニング |
| 10 | 第13課 二重目的語・助詞 |
| 11 | 「自己紹介」・スピーキング |
| 12 | 中国語検定試験過去問題解説 |
| 13 | 総括 |
| 14 | 確認作業 |
| 15 | まとめ |

評価

小テスト(30点)と授業態度(20点)、さらに試験(50点)を加えて評価を行ない、60点以上を合格とします。 合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント・検定試験過去問題などを配布します。

| 科目名 | 中国語 B (文化) | | |
|--------|-----------------------|-----------------|-------|
| 担当教員名 | 池間 里代子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Cクラス |
| 開講期 | 後期 | 必修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教 | 收諭一種免許 状 | |

科目の性格

前期で学んだ中国語の発音・基礎文法をふまえて、中国語を通して中国が理解できるよう、学んでいきます。テキストにある「コラム」を発端として、日本との相違を意識します。

科目の概要

授業では正しい発音を常にチェックします。また、より高度な文法を学びます。さらに、語彙を増やして自分の言いたい ことを「中国語で言える」「中国語で書ける」よう、練習を積み重ねます。

学修目標

- 1.テキストを正しい発音で読めること
- 2.練習問題が完璧にできること
- 3. やや長い文章を聴いて理解できること
- 4. 言いたいことを言え、かつ書けること

さらに、希望する学生には中国語検定試験準4級・4級の情報を与えますので、ぜひともチャレンジしてみましょう。

内容

| 1 | 前期内容の復習 |
|----|-----------------|
| 2 | 第7課 前置詞・反復疑問文 |
| 3 | 第8課 助動詞・前置詞 |
| 4 | 第9課 アスペクト助詞・前置詞 |
| 5 | リーディング・リスニング |
| 6 | 第10課 助動詞・重ね型 |
| 7 | 第11課 進行形・選択疑問文 |
| 8 | 第12課 比較表現 |
| 9 | ライティング・リスニング |
| 10 | 第13課 二重目的語・助詞 |
| 11 | 「自己紹介」・スピーキング |
| 12 | 中国語検定試験過去問題解説 |
| 13 | 総括 |
| 14 | 確認作業 |
| 15 | まとめ |

評価

小テスト(30点)と授業態度(20点)、さらに試験(50点)を加えて評価を行ない、60点以上を合格とします。 合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント・検定試験過去問題などを配布します。

| 科目名 | 中国語 B (文化) | | |
|--------|-----------------------------|--------|-------|
| 担当教員名 | 池間 里代子 | | |
| ナンバリング | | | |
| 学 科 | 人間生活学部-共通科目 | | |
| 学 年 | 2 | ク ラ ス | 2Bクラス |
| 開講期 | 後期 必 | 修・選択の別 | 選択 |
| 授業形態 | | 単 位 数 | 1 |
| 資格関係 | 保育士資格/幼稚園教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状 | | |

科目の性格

前期で学んだ中国語の発音・基礎文法をふまえて、中国語を通して中国が理解できるよう、学んでいきます。テキストにある「コラム」を発端として、日本との相違を意識します。

科目の概要

授業では正しい発音を常にチェックします。また、より高度な文法を学びます。さらに、語彙を増やして自分の言いたい ことを「中国語で言える」「中国語で書ける」よう、練習を積み重ねます。

学修目標

- 1.テキストを正しい発音で読めること
- 2.練習問題が完璧にできること
- 3. やや長い文章を聴いて理解できること
- 4. 言いたいことを言え、かつ書けること

さらに、希望する学生には中国語検定試験準4級・4級の情報を与えますので、ぜひともチャレンジしてみましょう。

内容

| 1 | 前期内容の復習 |
|----|-----------------|
| 2 | 第7課 前置詞・反復疑問文 |
| 3 | 第8課 助動詞・前置詞 |
| 4 | 第9課 アスペクト助詞・前置詞 |
| 5 | リーディング・リスニング |
| 6 | 第10課 助動詞・重ね型 |
| 7 | 第11課 進行形・選択疑問文 |
| 8 | 第12課 比較表現 |
| 9 | ライティング・リスニング |
| 10 | 第13課 二重目的語・助詞 |
| 11 | 「自己紹介」・スピーキング |
| 12 | 中国語検定試験過去問題解説 |
| 13 | 総括 |
| 14 | 確認作業 |
| 15 | まとめ |

評価

小テスト(30点)と授業態度(20点)、さらに試験(50点)を加えて評価を行ない、60点以上を合格とします。 合格点に満たなかった場合は「再試験」を行ないます。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】『中国語はじめの一歩』尹景春・竹島毅 白水社

【参考書】『中国語検定4級合格への手引き』池間里代子 他 南雲堂フェニックス その他、プリント・検定試験過去問題などを配布します。